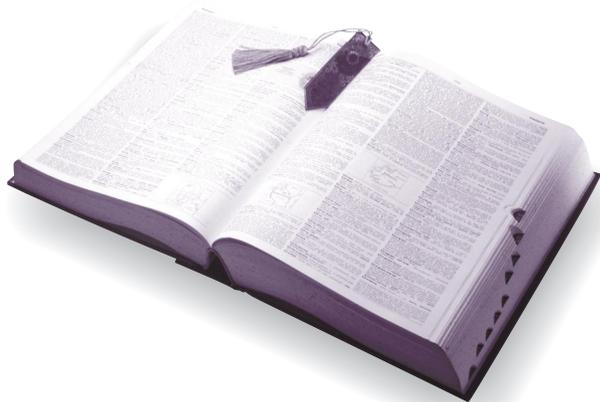




NEC

「おかしいな?」と思ったときに、この一冊!
購入時の状態に戻すには、このマニュアルで再セットアップを!
「どの本に書いてあるの?」がわかるマニュアル総索引を収録!

困ったときのQ&A



LaVie

マニュアルを活用しよう

このパソコンには次のマニュアルや練習ソフトが用意されています。
『はじめにお読みください』でセットアップを終了したら、目的に応じて次のマニュアルや練習ソフトを活用してください。



『はじめにお読み
ください』

パソコンを使っているいろいろなことをはじめたい!



『使っておぼえるパソコンの基本』

- ・ インターネットやメールをする
- ・ 文字の入力のしかた
- ・ Windowsの基本操作
- ・ BIGLOBEに入会する

パソコン初心者な
ので、基本的なこと
から覚えたい!



『パソコンのいろは』

- ・ NXパッドの使いかた
- ・ 文字の入力のしかた
- ・ Windowsの基本操作を覚える
- ・ インターネットの練習

このパソコンの機能をもっと使いこなしたい!

『もっと知りたいパソコン』

- ・ パソコンの機能を詳しく知る
- ・ 周辺機器を接続する
- ・ アプリケーションを追加 / 削除する
- ・ パソコンのメンテナンスをする
- ・ BIOSの設定を変更する



困ったなあ、どうしたらいいのかな?



『困ったときのQ&A』

- ・ トラブルを解決する
- ・ パソコンを再セットアップする
- ・ 知りたいことが、どのマニュアルに載っているかを調べる (全マニュアル用総索引)

知りたいことを画面上で調べてみよう



『サポートセンター(電子マニュアル)』

- ・ 添付のアプリケーションを使う
- ・ トラブルを解決する
- ・ アプリケーションを追加 / 削除する
- ・ サービス&サポート窓口紹介

巻末に簡単な操作方法が載っています。

はじめに

このマニュアルは、パソコンを使っていて「おかしいな?」「故障かもしれない」などと感じたときに、問題を解決するための手引き書です。まず、見出しからあなたのパソコンで起きている問題を探し、項目が見つかったら、原因や解決方法をよく読んで対処してください。

2000年 5月 初版

2000年 7月 2版

表記について

記号

 チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
 メモ	利用の参考となる補足的な情報や、用語について説明しています。
 参照	関連する情報が書かれている所を示しています。

モデル

モデルの呼びかた

LaVie C	LC700J、LC600J、LC500J、LC50H
LaVie M	LM500J、LM40H
LaVie S	LS700J、LS600J、LS50H
一太郎モデル	一太郎10・花子10パックがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2000モデル	Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
ワイヤレスインターネットモデル	本体にワイヤレス通信機能を内蔵し、ワイヤレスモデムステーションを添付したモデルのことです。
LAN内蔵モデル	LANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
携帯/PHSモデル	携帯/PHSインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
SmartVoice添付モデル	SmartVoiceを添付しているモデルのことです。
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを内蔵または添付しているモデルのことです。
CD-R/RWモデル	CD-R/RWドライブを内蔵しているモデルのことです。
DVD-ROMモデル	DVD-ROMドライブを内蔵しているモデルのことです。

対象モデル一覧

型名	表記の区分							
	モデル区分	添付アプリケーション	音声認識アプリケーション	CD-ROM・CD-R/RW・DVD-ROM	通信機能	ディスプレイ		
LS600J/35DV LS600J/35DV9	LaVie S		SmartVoice 添付モデル	DVD-ROM モデル	携帯/PHS モデル	15型モデル		
LS50H/34DV LS50H/34DV9								
LS50H/34DW LS50H/34DW9					ワイヤレスイン ターネットモデル			
LC700J/34DL LC700J/34DL9	LaVie C	Office 2000 モデル	SmartVoice 添付モデル	CD-R/RW モデル	携帯/PHSモデル LAN内蔵モデル	14.1型モデル		
LC600J/34DR LC600J/34DR9							携帯/PHS モデル	
LC500J/34DR LC500J/34DR9								
LC50H/34DA1 LC50H/34DA19		一太郎モデル	CD-ROM モデル					
LC50H/34CA1 LC50H/34CA19					ワイヤレスイン ターネットモデル			
LC50H/34DB1 LC50H/34DB19								
LC50H/33DR LC50H/33DR9			SmartVoice 添付モデル	CD-R/RW モデル			13.3型モデル	
LM500J/32D2 LM500J/32D29		LaVie M	Office 2000 モデル		CD-ROM モデル		携帯/PHS モデル	12.1型モデル
LM40H/32D1 LM40H/32D19								
LM500J/32D LM500J/32D9								
LM500J/32DW LM500J/32DW9						ワイヤレスイン ターネットモデル		
LM40H/32D6 LM40H/32D69						携帯/PHS モデル		

内蔵モデム以外の通信機能

操作方法

【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを示します。 【 】+【 】はキーを同時に押すことを表しています。
←	←はEnterキーを押すことを表しています。
「 」 「 」 「 」 「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。 [例] 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「メモ帳」 「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「プログラム」を選択し、横に現れるサブメニューから「アクセサリ」 「メモ帳」を順に選択することを示します。

コントロールパネルの開き方

コントロールパネルは次のどちらかの方法で開くことができます。

- ・「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」
- ・「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして、表示された「マイコンピュータ」画面の「コントロールパネル」アイコンをダブルクリックする

記載内容

- ・画面は、モデルによって異なることがあります。
- ・本文中に記載の画面は、実際の画面と多少異なることがあります。

ソフトウェアの正式名称

Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System 日本語版
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 3.1	Microsoft® Windows® Operating System Version3.1
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
一太郎10パック	一太郎10・花子10パック(一太郎10、花子10、三四郎9、ATOK13)
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000、 Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/ Shogakukan Bookshelf® Basic)
インターネット エクスプローラ	Microsoft® Internet Explorer 5.01
MS-IME98	Microsoft® IME98
MS-IME2000	Microsoft® IME2000
Acrobat Reader	Adobe® Acrobat™ Reader 4.0J
筆王	筆王 平成12年編
DIONかんたんイン ターネット	DIONかんたんインターネット2.1
AOL	AOL5.0 for Windows
PostPet	PostPet for Windows ver.2.0jp
So-netサインアップ	So-netオンラインサインアップソフト

KaraOK!	インターネットカラオケ KaraOK! for Windows
ThumbsStudio	ThumbsStudio(Ver2.0)
VirusScan	VirusScan Ver4.0.3a
VideoStudio	Ulead VideoStudio Version4.0
魚八景	魚八景 PC98-NX特別編集版



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

[バッテリーパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリーパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリーパック実装時は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

レーザー安全基準について

このパソコンには、レーザーに関する安全基準（JIS-C-6802、IEC825）クラス1適合のCD-ROM・CD-R/RW・DVD-ROMドライブが内蔵または添付されています。

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載れなれどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98は本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません (Intellisyncを除く。詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください)。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、NetMeeting、Outlook、Windows Media、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」「花子」「ATOK」「Voice一太郎10」「花子10パック」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎10」「花子10パック」「Shuriken」「Sasuke」は、株式会社ジャストシステムの商標です。

「Voice一太郎10」「花子10パック」「一太郎10」「花子10パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「Voice一太郎10」「花子10パック」「一太郎10」「花子10パック」にかかる著作権その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

パソコン大学は、㈱アビバ日本の商標です。

@niftyはニフティ㈱の商標です。

アメリカ・オンラインおよびAOLは、AOLの登録商標です。

VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

Puma Technology、Puma Technologyロゴ、DSX Technology、DSX Technologyロゴ、IntellisyncおよびIntellisyncロゴは、いくつかの法域で登録することができるPuma Technology, Inc.の商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。

AdaptecおよびAdaptec社のロゴは、Adaptec, Inc.の登録商標です。

Easy CD Creator、DirectCDは、Adaptec, Inc.の商標です。

「てきばき家計簿マム」は、テクニカルソフト株式会社の商標です。

ODN (Open Data Network) は日本テレコム㈱の登録商標です。

DIONは第二電電株式会社の登録商標です。

筆王は株式会社アイフォーの登録商標です。

コペルニックライト、Copernic Liteは、日本テクノラボの登録商標です。

NEWWEBはKDD㈱の商標です。

Virtual CDは、Far Stone Tech, Inc.の登録商標です。

PostPetは、ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の登録商標です。

So-net、ソネット、ソネットのロゴは、ソニー株式会社の商標または登録商標です。

VideoStudioは、Ulead Systems, Inc.の商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

「BIGLOBE」「BIGLOBEかんたん設定ナビ」「BIGLOBE電話で入会ナビ」「PCポータル」

「ThumbsStudio」「魚八景」「アクティブメニューNX」は、日本電気株式会社の商標または登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 2000

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

トラブルが起きたら	1
「サポートセンタ」を見る	2
サポートセンタを使う	2
トラブルを予防するには	5
Windows 98起動ディスクを作成する	5
定期的にハードディスクを点検する	5
データのバックアップと復元	7
コンピュータウイルスの侵入を防ぐ	11
VirusScanを使ってウイルスを駆除する	13
アプリケーションの動作に必要な環境を確保する	14
トラブルを解決するには	17
トラブル解決の近道	17
問い合わせ方法について	18
ヘルプツールを使う	19
「追加情報(READMEファイル)」を見る	23
インターネットで解決方法を探す	23
スキャンディスクを使う	24
SafeモードでWindowsを起動する	27
システムファイルチェッカーを使う	29
Windows 98起動ディスクからパソコンを起動する	30
CyberTrio-NXのモードを変更する	32
コントロールパネルを開く	33
デバイスマネージャを表示する	34
パソコンの情報を表示する	35
パソコンを再起動する	35

トラブル解決Q & A	37
パソコンが動かない	38
Windows 98が起動しない	38
使用中にパソコンが動かなくなった	39
初めて電源を入れたら	41
セットアップの画面が表示されない	41
セットアップの途中で電源を切ってしまった	42
セットアップの途中でパソコンが動かなくなった	43
電源を入れたが / 切ろうとしたが	44

電源ランプが点灯しているのに画面が表示されない	44
電源を入れても電源ランプが点灯せず、パソコンが起動しない	45
Windows 98が起動しない	45
パソコンを起動したら画面にカーソルが表示された	46
「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性が あります」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった	46
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示された	47
「Invalid system disk Replace the disk,...」と表示された	47
「Non-system disk or disk error」と表示された	48
「Operating System not found」または「Please Insert Another Disk...」 と表示された	48
起動時に「Invalid HIBERNATION xxxx/file...RUN HDPREPEZ...」 または「Your hibernation file is either missing or corrupt,...」と表示された	49
その他のメッセージが表示された、またはピーツというエラー音がした	50
省電力機能	51
スタンバイ状態(サスペンド)にできない	51
自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にすることができない	51
休止状態(ハイバネーション)にしようとしたらメッセージが表示された	52
「ハイバネーション設定ユーティリティ」でエラーメッセージが表示された	52
休止状態(ハイバネーション)にしようするとスタンバイ状態(サ スペンド)になってしまう	53
復帰(レジューム)できない	53
パスワード	55
「入力されたパスワードが間違っています」と表示された	55
パスワードを忘れてしまった	55
バッテリー	57
充電できない	57
フル充電したのにバッテリー充電ランプが点灯する	57
バッテリー充電ランプが点滅する	57
インジケータ領域(タスクトレイ)に電源アイコンが表示されない	58
ディスプレイ	59
ディスプレイに何も表示されない	59
画面が真っ暗になった	60
表示や色がおかしい	60
解像度や表示色を変更できない	61
NXパッド	62

何も反応しない、または反応が鈍い	62
NXパッドやマウスの誤操作を防ぎたい	64
キーボード	66
キーボードのキーを押しても、何も反応しない	66
キーボードで押したキーと違う文字が表示される	67
サウンド機能	68
光デジタルオーディオ出力からの音が鳴らない	68
周辺機器	70
周辺機器を取り付けたらパソコンが正常に動かなくなった	70
別売の周辺機器を取り付けたが正しく動作しない	71
「Windows 98 CD-ROMラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。」と表示された	72
新しい周辺機器を接続したときに「ドライバが見つかりません」と表示されてドライバのインストールができない	72
接続していないCD-ROMドライブが表示され、アクセスしようとするとエラーになる	73
アプリケーション	74
アプリケーションの動作が遅い、起動しない	74
ワンタッチスタートボタンを押してもアプリケーションが起動しない	74
「サポートセンタ」が表示されない、起動しない	75
MS-DOSモード / MS-DOS プロンプト	76
MS-DOSモードを終了し、Windows 98に戻りたい	76
フルスクリーンになったMS-DOSプロンプトを元に戻したい	76
MS-DOSプロンプト画面で、Windows 98のスクリーンセーバーが起動した	76
ローカルエリアネットワーク (LAN) に接続しようとしたら (LaVie Cのみ)	78
ネットワークへの接続方法が分からない	78
ネットワークに接続できない	78
共有ドライブやフォルダが使えない	79
その他	80
通信しようとしてもダイヤルできない (ワイヤレスインターネットモデルの場合)	80
インターネット / パソコン通信 / FAXが使えない	81
スキャンディスクが中断される	81
コンピュータウイルスが検出された	82
日付と時刻が正しく表示されない	82

再セットアップ	85
再セットアップする前に	86
こんなときは再セットアップ	86
再セットアップの種類	88
再セットアップの準備をする	89
操作の流れ	89
データのバックアップをとる	89
パソコンの使用環境の設定を控える	90
BIOSの設定を初期値に戻す	91
必要なものをそろえる	92
本体の準備をする	92
再セットアップ時の注意	93
購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)	94
操作の流れ	94
1 システムを再セットアップする	94
2 Windows 98の設定をする	98
3 アプリケーションを再セットアップする	101
4 各種の設定をする	109
全領域を1パーティションにして再セットアップする(カスタム再セットアップ)	110
操作の流れ	110
1 システムを再セットアップする	110
2 Windows 98の設定をする	112
3 アプリケーションを再セットアップする	112
4 各種の設定をする	112
Cドライブのみを再セットアップする(カスタム再セットアップ)	113
操作の流れ	113
1 システムを再セットアップする	113
2 Windows 98の設定をする	115
3 アプリケーションを再セットアップする	115
4 各種の設定をする	115
ハードディスクの領域を自由に設定する(カスタム再セットアップ)	116
操作の流れ	116
基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域	117
FAT32ファイルシステムとFAT16ファイルシステム	118

1 領域を削除する	118
2 新しい領域を作成する	124
3 ドライブを初期化(フォーマット)する	129
4 システムを再セットアップする	130
5 Windows 98の設定をする	131
6 アプリケーションを再セットアップする	131
7 ハードディスクを5つ以上に分割した場合	132
8 各種の設定をする	132
付録	133
アフターケアについて	134
保守サービスについて	134
消耗品 / 消耗部品について	134
補修性能部品について	134
譲渡 / 廃棄について	135
このパソコンを譲渡するには	135
このパソコンを廃棄するには	136
索引	137
この本の索引	138
やりたいこと別総索引	141
トラブルチェックシート	167
お問い合わせの前に	167

P A R T

1

トラブルが起きたら

トラブル解決のコツや、便利なツールについて説明
しています。

「サポートセンタ」を見る

「サポートセンタ」にはこの本にはない項目がたくさんあります。探している項目がこの本で見つからなかった場合は、「サポートセンタ」をご覧ください。「困ったときのQ&A」は、この本と「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」で構成されています。

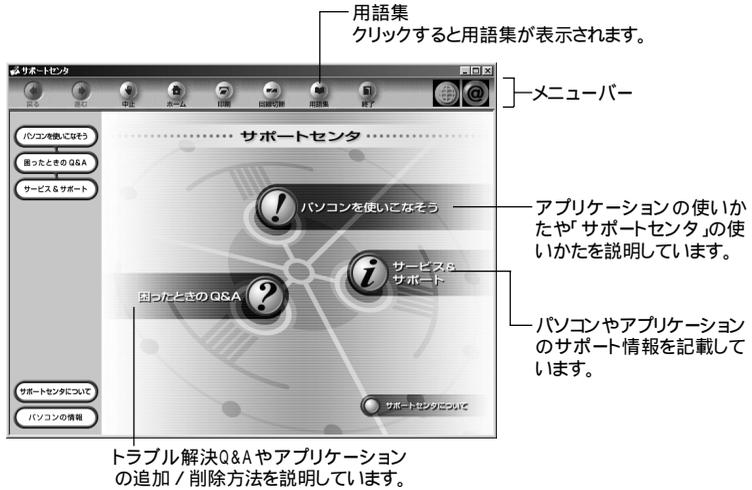
サポートセンタを使う

1 ショットメニューの「サポートセンタ」をクリックする



モデルにより画面が異なります。

「サポートセンタ」の画面が表示されます。



チェック

サポートセンタの項目の中には、クリックすると「ダイヤルアップの接続」ウィンドウが表示されるものがあります。これは、インターネットへ接続しようとしていることを表します。インターネットへ接続すると、インターネット接続サービス料金やアクセスポイントまでの電話料金（どちらもお客様負担）がかかります。説明を見終わったら、必ず、「回線切断」ボタンをクリックして、回線を切断してください。一度インターネットに接続されると、自分で回線を切断しない限り、サポートセンタを終了するまで、回線が接続されたままになり、料金がかかり続けます。ご注意ください。

参照

詳しい使いかた 「サポートセンタ」-「サポートセンタについて」-「ヘルプ」

サポートセンターの内容を印刷する

- 1 パソコンにプリンタを接続し、印刷できるように設定する



参照

印刷する 『もっと知りたいパソコン』PART4の「プリンタ」

- 2 サポートセンターで、印刷したい画面を表示させる
- 3 メニューバーの「印刷」ボタンをクリックする
「印刷」の画面が表示されます。
- 4 内容を確認し、「OK」ボタンをクリックする
表示されている画面が印刷されます。

トラブルを予防するには

重大なトラブルに陥らないためには、日頃からのメンテナンスが大切です。快適なパソコン環境を保つには、次のようなポイントを確認してください。

Windows 98起動ディスクを作成する

ハードディスクからWindowsが正しく起動できないときに「Windows 98起動ディスク」を使うと、フロッピーディスクからパソコンを起動することができます。次の手順で、あらかじめWindows 98起動ディスクを作っておいてください（フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です）。

- 1 「コントロールパネル」を開く
- 2 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 3 「起動ディスク」タブをクリックする
- 4 フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを入れる
- 5 「ディスクの作成」ボタンをクリックする

Windows 98起動ディスクの作成がはじまります。

作成したWindows 98起動ディスクは、ライトプロテクトをかけて大切に保管しておいてください。



参照

- ・Windows 98起動ディスクを使う このPARTの「トラブルを解決するには」の「Windows 98起動ディスクからパソコンを起動する」（ p.30 ）
- ・ライトプロテクト 「サポートセンター」 「困ったときのQ&A」 「フロッピーディスク」 「フロッピーディスクの書き込みができない」

定期的にハードディスクを点検する

ハードディスクは精密機械です。ハードディスクやハードディスクに記録されているデータの障害の防止や発見、効率的な利用のために、検査や整備をするように心がけてください。

このパソコンにはこれらの検査や整備のためのツールがあらかじめインストールされています。

ハードディスクを検査 / 修復する

「スキャンディスク」を使うことで、ハードディスクやハードディスクに記録されているデータに障害がないかどうかを検査することができます。

「スキャンディスク」は、ハードディスクドライブ上のFAT(ファイルアロケーションテーブル)や、クラスタ、ディレクトリツリー構造、ドライブの物理表面の不良セクタなどをチェックします。定期的にはスキャンディスクを行って、ハードディスクに障害がないか検査してください。もし障害があった場合は、修復するようにしてください。



参照

「スキャンディスク」の使いかた 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「スキャンディスク」

ハードディスクのデータを整理する

「デフラグ」を使うことで、ハードディスク上のデータのフラグメンテーション(断片化)を解消し、データの並びを連続した状態に最適化することができます。



メモ

フラグメンテーション(断片化)とは、データがディスクの空いている場所に、バラバラに保存されている状態をいいます。この状態になると、データが連続していないため、データの読み書きに時間がかかるようになります。



参照

「デフラグ」の使いかた 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「デフラグ」

使用していないファイルを削除する

「ディスククリーンアップ」を使うことで、知らないうちにハードディスクにたまった unnecessary ファイルを削除して、ディスクの空き容量を増やすことができます。



メモ

unnecessary ファイルには、インターネットを利用したときやソフトウェアのインストール時、ソフトウェアを使用したときにソフトウェアが作成する一時ファイルなどがあります。



参照

「ディスククリーンアップ」の使いかた 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「ディスククリーンアップ」

メンテナンスを定期的に行う

ハードディスクのトラブルを予防するためには、定期的にメンテナンスをすることが重要です。「メンテナンスウィザード」を使うことで、ハードディスクのメンテナンスを決められた時間に自動的に実行するように設定することができます。



参照

「メンテナンスウィザード」の使いかた 「サポートセンタ」「困ったときのQ&A」「トラブルの予防」「予防のためのツール」「メンテナンスウィザード」

データのバックアップと復元

バックアップとは

パソコンに何か異常な事態が起きた場合、Windows 98やアプリケーションはバックアップCD-ROMなどから復元できます。この作業を「再セットアップ」といいます。

ただし、再セットアップを行うと、購入後にインストールしたアプリケーションや、自分で作成した文書やデータ、保存してある電子メールなどはすべて失われます（パスワードを除く）。ハードディスクに保存したファイルやフォルダを、誤って消した場合も同様です。このような万一の事態に備えて、フロッピーディスクや外付けハードディスクなどに作成データの複製を作ることを「バックアップをとる」といいます。大切なデータを保護するために、定期的にバックアップをとることをおすすめします。

バックアップが必要なデータ

再セットアップを行うと失われるデータと元に戻せるデータには、以下のようなものがあります。

	データの一例
再セットアップを行うと失われるデータ	<ul style="list-style-type: none"> ・ワープロの文章 ・入力した伝票のデータ ・購入後にインストールしたアプリケーション ・送受信したメール ・メールのアドレス帳 ・インターネットの設定 ・BIOSセットアップメニューの設定
再セットアップを行うと元に戻せるデータ	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows 98(OS) ・添付の「アプリケーションCD-ROM」にはいっているアプリケーション(ただし、再セットアップ完了後に再追加が必要)

インストールに必要なCD-ROMなどをお持ちの場合には、再セットアップ完了後に再インストールすると使えるようになります。



再セットアップ 『PART3 再セットアップ』

バックアップを取るタイミング

誤ってデータを消してしまったり、パソコンのシステムが故障するなどの事態はいつ起こるかわからないので、特に大切なデータは、作成したり更新したりするたびにバックアップを取ってください。

また、日時や曜日を決めて、定期的に必要なデータのバックアップを取ることも有効です。

バックアップ先について

データをバックアップするには、データを保存するための記憶媒体(バックアップ先)が必要です。

次の表を参考にバックアップ先となる記憶媒体を選択してください。

バックアップ先	メリット	デメリット
内蔵ハードディスクのDドライブ	<ul style="list-style-type: none"> 記録スピードが速い 追加の機器が必要ない 容量が非常に大きい(数Gバイト程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ハードディスク自体が故障した場合には、データが失われる
外付けハードディスク	<ul style="list-style-type: none"> 記録スピードが速い 容量が非常に大きい(数Gバイト程度) 内蔵ハードディスクが故障しても影響がない 	<ul style="list-style-type: none"> 別売の外付けハードディスクやPCカードが必要
CD-RやCD-RW	<ul style="list-style-type: none"> 持ち運びが可能 記録スピードが比較的速い 容量が大きい(数百Mバイト程度) 内蔵ハードディスクが故障しても影響がない 	<ul style="list-style-type: none"> 別売のCD-RやCD-RWが必要 お使いの機種によっては、CD-RやCD-RWを扱えるドライブやPCカードが必要
フロッピーディスク	<ul style="list-style-type: none"> 持ち運びが可能 他の媒体に比べて安い 内蔵ハードディスクが故障しても影響がない 	<ul style="list-style-type: none"> 容量が小さい(約1.4Mバイト) 記録スピードが遅い 別売のフロッピーディスクが必要

バックアップの手順

内蔵ハードディスクのDドライブにバックアップを取る

内蔵のハードディスクは購入時の状態では、Windowsなどのシステムが保存されている「Cドライブ」と、何もデータが入っていない「Dドライブ」に分けられています。

このDドライブにバックアップを取ります。

ハードディスク自体は故障していなくても、誤って重要なシステムファイルを削除してしまったり、本機では正常に動作しないアプリケーションをインストールすると、Windows 98が起動しなくなる場合があります。

このような場合に「Cドライブのみを再セットアップする」方法で再セットアップを行うと、トラブルを解決できます。この方法では、Cドライブのデータはすべて失われますが(パスワードを除く)、Dドライブのデータは残ります。

そのため、システムの調子がおかしくなった場合には、Dドライブへのバックアップが有効です。また、新しい機器を購入する必要がないため、購入直後からバックアップを取ることができます。



参照

Cドライブのみを再セットアップする 『PART3 再セットアップ』の「Cドライブのみを再セットアップする(カスタム再セットアップ)」

フロッピーディスクなどにバックアップを取る

Dドライブにバックアップを取った後、フロッピーディスクや外付けハードディスク、CD-RWなど、Dドライブとは別の記憶媒体にもバックアップを取っておくと安全です。

万一ハードディスクが故障しても、これらの記憶媒体にバックアップを取っていると、ハードディスクを修理した後で、データを復旧することができます。



チェック

お使いのモデルによっては、これらの記憶媒体にバックアップを取るために、別売の機器を購入する必要があります。



参照

バックアップをとる媒体 このPARTの「データのバックアップと復元」の「バックアップ先について」(p.8)

バックアップ-NXを使う

「バックアップ-NX」を使うことで比較的簡単にデータのバックアップを作成することができます。



「バックアップ-NX」へのアプリケーションの登録 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「バックアップ-NX」

バックアップできるアプリケーション

このパソコンに添付されている次のアプリケーションは、バックアップ-NXを使用してデータのバックアップをとることができます。

- ・ 10円メールマスター
- ・ Excel 2000(Office 2000モデルのみ)
- ・ FAX-NX
- ・ IEのお気に入り
- ・ Intellisync
- ・ Outlook 2000(Office 2000モデルのみ)
- ・ Outlook Express 5
- ・ ThumbsStudio
- ・ Virtual CD 2
- ・ Word 2000(Office 2000モデルのみ)
- ・ いま、いくら? その2
- ・ イメージング
- ・ 一太郎10パック(一太郎10モデルのみ)
- ・ てきばき家計簿マム 2 Plus
- ・ ペイント
- ・ 筆王
- ・ ホームページスクラップブックEX
- ・ メモ帳
- ・ ランチ-NX
- ・ ワイヤレスフォン(ワイヤレスインターネットモデルのみ)
- ・ ワードパッド

インターネットの設定をバックアップする

「インターネット接続のバックアップ」を使うと、インターネットに関する情報のバックアップをとることができます。詳しくは、「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「インターネット接続のバックアップ」をご覧ください。

また、BIGLOBE会員の方は、「スタート」ボタン 「プログラム」 「BIGLOBEツール」 「インターネット接続ツール」の「BIGLOBEかんたん設定ナビ」で「接続環境のバックアップと再設定」を実行し、インターネット接続に必要な情報をフロッピーディスク等にバックアップすることもできます。

一覧にないアプリケーションのバックアップ

一覧にないアプリケーションも、バックアップ-NXに登録することができます。登録すれば、はじめから登録されているアプリケーションと同様の操作でバックアップや復元を行うことができます。



参照

「バックアップ-NX」へのアプリケーションの登録 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「バックアップ-NX」

コンピュータウイルスの侵入を防ぐ

コンピュータウイルスとはプログラムの一種です。ユーザ（使用者）が気づかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

コンピュータウイルスの種類

コンピュータウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

ファイル感染型ウイルス

一般に、実行ファイル（拡張子が .EXE や .COM ）に感染するタイプのウイルスです。ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウイルスプログラム本体であるウイルスコードを付着させます。

マクロ感染型ウイルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能とは、ワープロや表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

ブートセクタ型ウイルス

パソコンの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ（IPL）といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

コンピュータウイルスの感染を防ぐために

ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・フロッピーディスクのマスター（オリジナル）は、ライトプロテクト（書き込み防止）をして保管する
- ・出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない
- ・マクロ感染型ウイルスのおそれがあるので、出所が不明なワープロや表計算のファイルを開かない

- ・ インターネットからプログラムをダウンロードするときは、直接実行せずいったんディスクに保存し、チェックしてから使用する
- ・ 入手したプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
- ・ ウイルス検査を定期的に行う

このパソコンにはウイルスチェック用プログラムとして「VirusScan」がインストールされています。

また、定期的にバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。



参照

バックアップの取りかた このPARTの「データのバックアップと復元」(p.7)

ウイルスを発見したら

ウイルスを駆除するには、該当ファイルを削除して、アプリケーションを再インストールすることが一番安全で確実な方法です。ただし、発見されたウイルスがブートセクタ型の場合、ブートセクタがウイルスに感染した可能性のある段階ではこの方法は使えません。

また、2次感染を防ぐため、ウイルスが発見されたパソコンで使用した媒体(フロッピーディスクやハードディスクなど)をすべて検査する必要があります。

ウイルスの被害届について

日本では、ウイルスを発見した場合、所定の機関への届出が義務付けられています。届出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況の把握のためにも積極的な報告をお願いします。

届け出先: 情報処理振興事業協会(通称IPA)

本部 〒113-6591
東京都文京区本駒込2-28-8
文京グリーンコート センターオフィス16階
IPAセキュリティセンターウイルス対策室

電話 03-5978-7509

FAX 03-5978-7518

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>

VirusScanを使ってウイルスを駆除する

VirusScanは、パソコンがウイルスに感染していないかを検査し、万一感染していたときには、それを駆除することができます。

ウイルスの検査には次の4通りの方法があります。

- ・ VShield
常にファイルのアクセスを監視し、ウイルスが感染しないように検査します。
- ・ ScreenScan
スクリーンセーバーの実行中に、ウイルスが感染していないかを検査します。
- ・ VirusScanスケジューラ
あらかじめ設定した時間に自動的にウイルスが感染していないかをチェックします。
- ・ VirusScan
その場でウイルスに感染していないかを検査します。



チェック

- ・ このパソコンにインストールされているVirusScanでは新種のウイルスを検出できない場合があります。新種のウイルスに対応するため、DATファイルを更新する必要があります。
- ・ インターネットに接続できる環境(プロバイダに入会済みの場合)は、「VirusScanセントラル」で「アップデート」ボタンを押すことにより最新版のDATファイルをダウンロードすることができます。ただし、「VirusScanセントラル」の「アップデート」機能で「インターネットアクセス可能ですか」の「いいえ」を選んだ場合は、日本国外に電話をかけることがありますので十分に注意してください。
- ・ パソコンの電源を入れたあとにDATファイルのアップデートを促す画面が表示されることがあります。インターネットに接続できない環境で、「アップデート」または「更新」ボタンをクリックして先に進むと、日本国外に電話をかけることがありますので十分に注意してください。なお、アップデートを中止する場合は、「キャンセル」ボタンまたは「OK」ボタンをクリックしてください。
- ・ DATファイルの更新だけでは検出できないウイルスが発生する場合があります。その場合は、VirusScanを別途購入し、バージョンアップしてください。
- ・ 「VirusScan」でエマージェンシーディスクを作成する場合、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。

常に検査する

「VShield」を使うことで、ファイルのアクセス、コピー、実行などを常に監視し、リアルタイムでウイルスの感染を検査することができます。



参照

「VShield」の使いかた 「サポートセンタ」 「困ったときのQ&A」 「トラブルの予防」 「予防のためのツール」 「VirusScan」

定期的に検査する

「VirusScanスケジューラ」で1回、毎時、毎日、毎週、毎月と期間を指定して、自動的にウイルス感染の検査を実行することができます。



参照

「VirusScanスケジューラ」の使いかた 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「VirusScan」

すぐに検査する

「VirusScan」は、その場でファイルがウイルスに感染していないかを検査することができます。

外部からファイルを受け取ったときには「VirusScan」を実行して、受け取ったファイルがウイルスに感染していないことを確認してください。



参照

「VirusScan」の使いかた 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「VirusScan」

ウイルスを駆除する

ウイルスが発見されたときは、「駆除」をクリックしてウイルスを駆除してください。詳しい説明は、VirusScanセントラルのオンラインヘルプを参照してください。

アプリケーションの動作に必要な環境を確保する

アプリケーションを使うには、リソース(動作に必要な作業領域)が必要です。複数のアプリケーションを同時に起動すると、リソースが少なくなり、アプリケーションの動きが遅くなったり、パソコンが動かなくなってしまうことがあります。このような現象を防ぐためには、使わないアプリケーションをこまめに終了するようにしましょう。

また、ファイルサイズの大きい壁紙を使用している場合にも、パソコンの動きが遅くなることがあります。この場合には、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。



参照

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「画面」-「壁紙(背景)を変えたい」

リソースを確認する

- 1 「マイコンピュータ」を右クリックする

- 2 「プロパティ」をクリックする
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「パフォーマンス」タブをクリックする
「システムリソース」に現在のリソースが表示されます。

起動中のアプリケーション / 常駐プログラムを終了させる

起動中のアプリケーションを終了させる

このパソコン添付のアプリケーションの終了方法については、「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」をご覧ください。その他のアプリケーションについては、各アプリケーションの終了方法にしたがって終了させてください。

終了したいアプリケーションが選択できないとき

作業中に「リソースが足りません」というようなメッセージが表示された場合で、終了したいアプリケーションが選択できないようなときには、次の手順でアプリケーションを終了させてください。

- 1 【Alt】を押しながら【Tab】を押す
ウィンドウが表示されます。
- 2 【Alt】を押したまま【Tab】を押してアプリケーションを選択し、【Alt】をはなす
- 3 タスクバーに表示されているアプリケーション名を右クリックする
メニューが表示されます。
- 4 「閉じる」をクリックする
これでアプリケーションを終了させることができます。
作成中のデータなどがある場合は、保存の確認をするメッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。

常駐プログラムを終了させる

アプリケーションの中には、パソコンを起動するたびに、自動的に起動するように設定されているものがあります(これをアプリケーションの常駐といいます)。画面右下のインジケータ領域(タスクトレイ)に表示されているアプリケーションのうち、使っていない常駐アプリケーションのアイコンを右クリックし、アプリケーションを終了させる項目(アプリケーションによって異なりますが、「終了」「終了する」などが一般的です)をクリックしてアプリケーションを終了させてください。

上記の操作を行っても改善されないとき

上記の操作を行ってもアプリケーションの動きが遅いままのときや、パソコンが動かなくなってしまう場合には、次のように操作してください。

アプリケーション終了後、Windowsを再起動する

アプリケーションの中には、終了させてもリソースを解放しないものがあります。アプリケーションを終了させてもリソースが解放されない場合は、Windowsを再起動してください(p.35)

インジケータ領域(タスクトレイ)の常駐アプリケーションを非常駐にする

常駐の必要がないアプリケーションは、次の手順で常駐の設定を解除します。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「スタートアップ」で、常駐を解除したいアプリケーションを右クリックする
- 2 「削除」をクリックする
メッセージが表示されます。
- 3 「はい」をクリックする
- 4 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 5 「再起動する」を☉にし、「OK」ボタンをクリックする
パソコンが自動的に再起動し、アプリケーションの常駐が解除されます。

トラブルを解決するには

パソコンを操作していてわからないことや困ったことが起きたときには、まずここで、解決方法や、実際にトラブルが起きたときに役立つ機能をさがしてみよう。

トラブル解決の近道

パソコンが動かなくなった

- ⇒「PART2 トラブル解決Q&A」の「パソコンが動かない」、「電源を入れたが / 切ろうとしたが」を見る(p.38, 44)



チェック

パソコンから煙や異臭、異常な音が出たり、コード類が破損したときには、すぐに電源を切り、ご購入元、または『NEC PC あんしんサポートガイド』に記載のサポート窓口にご連絡ください。

アプリケーションの操作方法がわからない

- ⇒アプリケーションの「ヘルプ」を見る(p.19)
- ⇒「サポートセンタ」、「添付ソフトの使い方」または「サポートセンタ」、「困ったときのQ&A」、「トラブル解決Q&A」で関連する項目を探す(p.2)
- ⇒『添付ソフトウェアサポート窓口一覧』または「サポートセンタ」、「サービス&サポート」、「アプリケーションのサービス&サポート窓口」を見て、アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせ

エラーメッセージが表示された

- ⇒まず、表示されたエラーメッセージを書き留める
- ⇒このマニュアルの「索引」からエラーメッセージを検索して、対処法を探す(p.138)
- ⇒「サポートセンタ」、「困ったときのQ&A」、「トラブル解決Q&A」で関連する項目を探す(p.2)

パソコン本体に関する問題が起こった

- ⇒「PART2 トラブル解決Q&A」の中から当てはまる項目を探す
- ⇒「サポートセンタ」、「困ったときのQ&A」、「トラブル解決Q&A」で関連する項目を探す(p.2)

その他のトラブル

- ⇒「PART2 トラブル解決Q&A」の中から関連する項目を探す
- ⇒「サポートセンタ」「困ったときのQ&A」「トラブル解決Q&A」で関連する項目を探す(p.2)
- ⇒「追加情報(READMEファイル)」を見る(p.23)
- ⇒インターネットで解決方法を探す(p.23)

知りたいことがどこに記載されているのか探したい

- ⇒「やりたいこと別総索引」で探す(p.142)

問い合わせ方法について

トラブルが解決しなかったら

トラブルの解決方法が見つからなかった場合には、次のようにしてサポート窓口にお問い合わせください。

巻末の「トラブルチェックシート」にトラブルの内容を記入してください

パソコン本体に関しては

『NEC PC あんしんサポートガイド』に記載のサポート窓口にお問い合わせください。

添付アプリケーションに関しては

『添付ソフトウェアサポート窓口一覧』に記載のサポート窓口にお問い合わせください。



参照

問い合わせ先について 「サポートセンタ」「サービス&サポート」

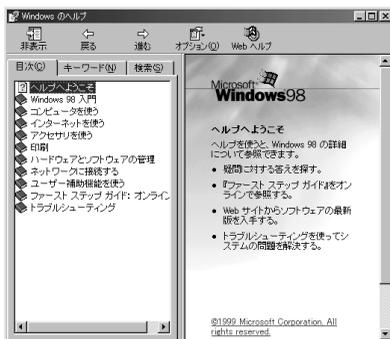
ヘルプツールを使う

このパソコンでは、次のようなヘルプ情報を見ることができます。

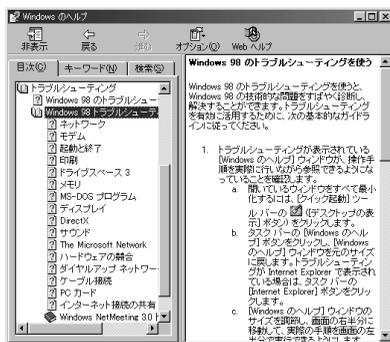
Windowsのヘルプ

Windowsのトラブルが起こったときには、Windowsのヘルプで解決策を探してみましょう。

「スタート」ボタン「ヘルプ」をクリックすると「Windowsのヘルプ」が表示されます。



トラブルシューティングで探す

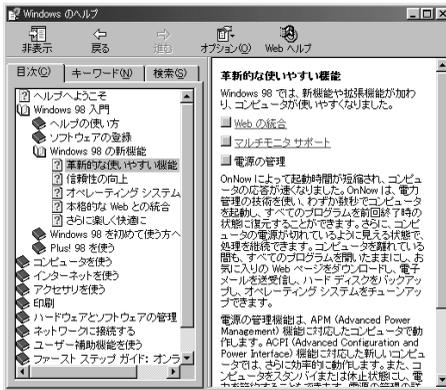


「トラブルシューティング」では、状況に応じた問題解決のヒントが表示されます。次のように操作してください。

- 1 「Windowsヘルプ」の画面で「目次」タブをクリックする
- 2 「トラブルシューティング」「Windows 98のトラブルシューティング」の順にクリックする
トピックが表示されます。

- 3 トピックから見たい項目をクリックする
右側のウィンドウに詳細項目が表示されます。
- 4 項目の中から、あてはまる状況を選び◎にする
- 5 右側のウィンドウの一番下の「次へ」ボタンをクリックする
右側のウィンドウに、トラブルの原因や解決方法が表示されます。画面の指示にしたがって操作してください。

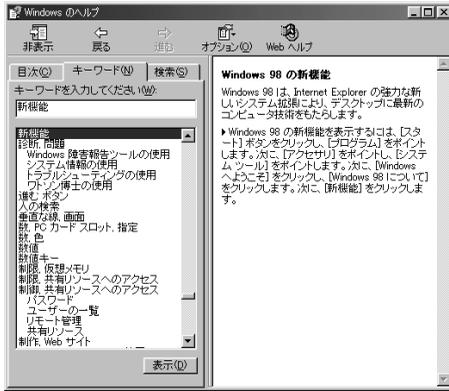
目次で探す



調べたい項目を目次から選ぶことができます。次のように操作してください。

- 1 「Windowsヘルプ」の画面で「目次」タブをクリックする
- 2 調べたい項目をクリックする
関連する内容が右側のウィンドウに表示されます。

キーワードで探す



調べたい項目のキーワードを指定して探すことができます。次のように操作してください。

1 「Windowsヘルプ」の画面で「キーワード」タブをクリックする

2 調べたいキーワードを入力する

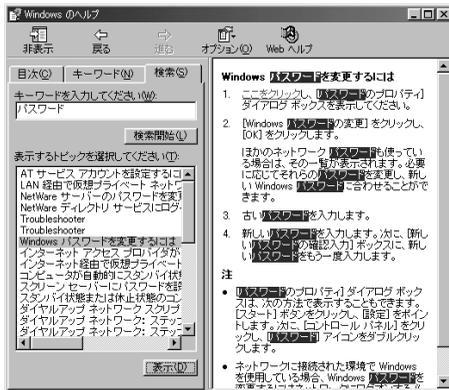
キーワードは、下に表示されているリストから選ぶこともできます。

3 「表示」ボタンをクリックする

関連する内容が右側のウィンドウに表示されます。

なお、手順3のあとに更に詳細なピックの画面が表示される場合もあります。その場合は、調べたいピックを選んで「表示」ボタンをクリックすると、関連する内容が右側のウィンドウに表示されます。

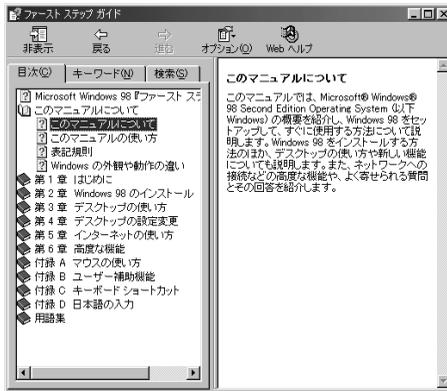
関連するキーワードで探す



調べたい項目に関連するキーワードを指定し、項目を探することができます。次のように操作してください。

- 1 「Windowsヘルプ」の画面で「検索」タブをクリックする
- 2 調べたい項目に関連するキーワードを入力する
- 3 「検索開始」ボタンをクリックする
詳細なトピックの一覧が表示されます。
- 4 見たいトピックをクリックする
- 5 「表示」ボタンをクリックする
関連する内容が右側のウィンドウに表示されます。

Windows 98ファーストステップガイド:オンライン版



「Windows 98ファーストステップガイド オンライン版」は、Windows 98の概要や基本的な操作、用語などについて説明しています。次のように操作してください。

- 1 「Windowsヘルプ」の画面で「目次」タブをクリックする
- 2 「ファーストステップガイド:オンライン版」「オンライン形式の『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』」の順にクリックする
- 3 右側のウィンドウの「ここをクリック」をクリックする
「ファーストステップガイド」の画面が表示されます。

4 トピックから見たい項目をクリックする 説明の画面が表示されます。

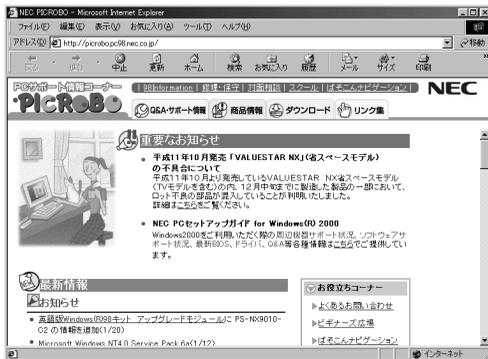
「追加情報(READMEファイル)」を見る

このパソコンに関する補足情報などを、パソコンの画面上で見ることができます。「追加情報」には、マニュアルやヘルプなどに記載されていない重要な情報が記載されていることがありますので、一度目を通しておくことをおすすめします。「追加情報」は、「スタート」ボタン「サポートセンタ」「追加情報」をクリックすると見ることができます。

インターネットで解決方法を探す

インターネットでトラブル対策を探すのも有効な方法です。ここでは、Q&A情報を提供している主なホームページを紹介します。

NECパソコンインフォメーションセンター「PICROBO」



画面は2000年3月現在のものです

NECパソコンインフォメーションセンターでは、NECのパソコンや周辺機器、Windows製品を含むソフトウェアについて、電話によるサポートを行っています。ホームページのサポート情報には、Q&A検索、商品別サポート情報、ビギナー向けQ&A集、よくあるお問い合わせなどが用意されています。また、サポート情報のほかには、商品情報やダウンロードサービスなどもあります。

「PICROBO」に接続するには

「スタート」ボタン「お気に入り」「NEC」の順にポイントし、「PICROBO」をクリックする

[ホームページアドレス]
<http://www.nec.co.jp/picrobo/>



メモ

NECパソコンインフォメーションセンターについて 『NEC PC あんしんサポートガイド』

マイクロソフトサポート技術情報

このホームページでは、Windows 98や、Windows 98の関連製品のQ&Aや、最新情報を参照することができます。

「マイクロソフトサポート技術情報」に接続するには

- 1 Internet Explorerの「ヘルプ」をクリックする
- 2 「オンラインサポート」をクリックする
マイクロソフトサポート技術情報のホームページが表示されます。

[ホームページアドレス]
<http://www.microsoft.com/japan/support/>

スキャンディスクを使う

スキャンディスクを使うと、Windows 98やアプリケーションの動作不良、または強制終了によるデータの書き損じなどのトラブルを検査、修復することができます。また、パソコンが異常終了した直後の再起動時には、自動的にスキャンディスクが実行され、ハードディスクを修復します。トラブルを予防するためには、毎日または週に1回など、定期的にはスキャンディスクを実行することをおすすめします。



参照

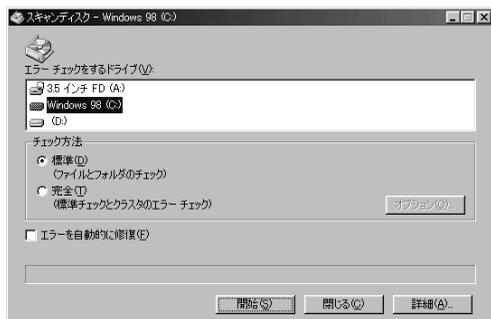
スキャンディスクについて 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」

Windows 98が起動するとき

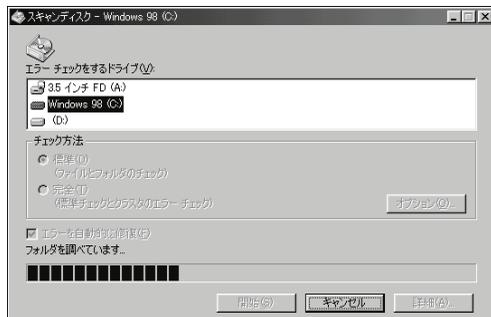
Windows 98が起動するときには、次の手順でWindows 98のスキャンディスクを実行してください。

- 1 起動中のアプリケーションや、常駐しているソフトウェアを終了させる

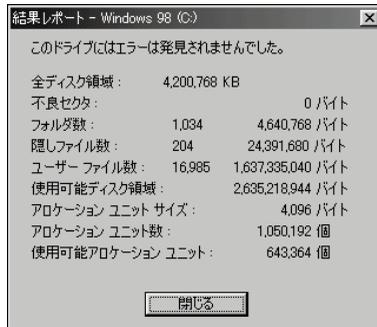
- 2 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」で、「スキャンディスク」をクリックする
「スキャンディスク」の画面が表示されます。



- 3 「エラーチェックするドライブ」からチェックしたいドライブをクリックする
- 4 「チェック方法」の「標準」をⒶにする
- 5 「エラーを自動的に修復」をⒷにする
- 6 「開始」ボタンをクリックする
ハードディスクのチェックが始まります。



ハードディスクのチェックが終わると、次のような「結果レポート」が表示されます。



画面は一例です

- 7 「結果レポート」の画面の「閉じる」ボタンをクリックする
「スキャンディスク」の画面に戻ります。
- 8 「スキャンディスク」の画面の「閉じる」ボタンをクリックする



メモ

「結果レポート」で重大な問題が発見されたというメッセージが表示された場合は、もう一度スキャンディスクを実行してください。このとき、手順4で「チェック方法」の「完全」を  にしてください。また、「オプション」ボタンをクリックすると、より詳細な設定を行うことができます。なお、完全チェックは、標準チェックよりも時間がかかることがあります。

Windows 98が起動しないとき

Windows 98が起動しないときは、次の手順でスキャンディスクを実行してください。

- 1 パソコンの電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴが表示されたら【Ctrl】キーを押し続ける
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。
- 3 【 X 】を使って「5.Command Prompt Only」を選び、【Enter】を押す
- 4 次のように入力する

SCANDISK 

ハードディスクのチェックが始まります。エラーが発見された場合にはメッセージが表示されるので、修復を実行してください。破損したファイルの修復のために「ファイルを変換する」などを選びます。チェックが進むと、「クラスタスキャンを実行しますか?」と表示されます。

5 【 X 】を使って「いいえ」を選び、【Enter】を押す

6 【X】を押す

スキャンディスクの操作はこれで終わりです。電源スイッチで電源を切り、5秒以上待ってからもう一度電源を入れてください。



チェック

スキャンディスクを行っても問題が解決されないときは、システムに障害が発生している可能性があります。次のようなときには再セットアップを行ってください。

- ・システムファイルに異常が発見されたとき
- ・異常は発見されなかったが、Windowsが起動しないとき
- ・動作が不安定なとき
- ・画面が正しく表示されないとき

SafeモードでWindowsを起動する

Safeモードは、トラブルが発生したときに最小限のシステム環境でパソコンを起動できるWindowsのモードです。

一度Safeモードでパソコンを起動し、スキャンディスクなどのシステムツールでトラブルを解決してパソコンを再起動すると、正常な状態のWindowsに戻れることがあります。



メモ

- ・Safeモードでは、最小限の機能しか使えません。CD-ROM・CD-R/RW・DVD-ROMドライブ、プリンタなどは使えません。
- ・Safeモードでは、配色や解像度が通常のWindowsとは異なります。

Safeモードで起動する

1 パソコンの電源を入れる

2 「NEC」のロゴが表示されたら【Ctrl】を押し続ける

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。

- 3【 **X** 】を使って「 3. Safe mode 」を選び、【Enter】を押す
「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。
- 4【半角 / 全角】を押す
「WindowsはSafeモードで実行されています。」と表示されます。
- 5「OK」ボタンをクリックする
これで、SafeモードでWindowsが起動しました。

Safeモードでスキャンディスクを実行する

トラブルを解決したいときには、さらに、次の手順でスキャンディスクを実行してください。

- 1「スキャンディスクを使う」の「Windows 98が起動するとき (p.24)にしたがって、スキャンディスクを実行する
- 2 スキャンディスクが終了したら、「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 3「再起動する」をにする
- 4「OK」ボタンをクリックする
パソコンが再起動し、問題がなければ、正常な状態に戻ります。

CyberTrio-NXが「アドバンスモード」以外の場合

CyberTrio-NXがアドバンスモード以外の状態でSafeモードを起動した場合、デバイスマネージャによるハードウェアの設定を変更できません。設定変更できるようにするためには、次の手順で操作してください。

- 1「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2 次のように入力する

```
c: ¥cybertrio¥sascript c: ¥cybertrio¥script ¥normal .sas
```

- 3「OK」ボタンをクリックする

 チェック

スキャンディスクを行っても問題が解決されないときは、システムに障害が発生している可能性があります。次のようなときには再セットアップを行ってください。

- ・システムファイルに異常が発見されたとき
- ・異常は発見されなかったが、Windowsが起動しないとき
- ・動作が不安定なとき
- ・画面が正しく表示されないとき

システムファイルチェッカーを使う

Windows 98の動作が不安定になったときは、システムファイルにトラブルが起きていることが考えられます。システムファイルチェッカーはシステムファイルの問題を調べ、異常のあるファイルを修復することができます。

システムファイルチェッカーを実行するには

- 1 起動中のアプリケーションをすべて終了する
- 2 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」 「システム情報」をクリックする
- 3 メニューの「ツール」をクリックし、表示されたメニューから「システムファイルチェッカー」をクリックする
「システムファイルチェッカー」ウィンドウが表示されます。

以降は画面にしたがって設定します。

 チェック

ご購入直後の状態であっても、システムファイルチェッカーを実行すると、「「USER.EXE」ファイルが壊れている可能性があります。」というメッセージが表示されることがありますが、実際には壊れていません。この場合は、以下の操作を行ってください。

- 1 「ファイルを復元をする」を選んで「OK」ボタンをクリックする
- 2 「復元元」に「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」と入力する

- 3 「ファイルの保存先」が「C:¥WINDOWS¥SYSTEM」になっていることを確認して、「OK」ボタンをクリックする
「バックアップ ファイル」ウィンドウが表示されます。
- 4 バックアップファイルを作る場合は、ファイルの保存先を指定して「OK」ボタンをクリックする
バックアップファイルを作らない場合は、「スキップ」ボタンをクリックする
「システム ファイルのスキャンが終了しました」と表示されます。
- 5 「OK」ボタンをクリックする
再起動を促すメッセージが表示されます。
- 6 「はい」をクリックする
Windows 98が再起動します。

Windows 98起動ディスクからパソコンを起動する

ハードディスクからWindowsが正しく起動できないときには、「Windows 98起動ディスク」を使ってフロッピーディスクからパソコンを起動することができます。



参照

Windows 98起動ディスクの作りかた このPARTの「トラブルを予防するには」の「Windows 98起動ディスクを作成する」(p.5)

Windows 98起動ディスクを使った起動方法

- 1 パソコンの電源を入れる
- 2 すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows 98起動ディスク1」をセットする
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。



メモ

「Windows 98起動ディスク1」のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクを取り出し、電源を切ってから、もう一度手順1からやり直してください。

- 3 「Start computer with CD-ROM support.」が選択されていることを確認する
- 4 【Enter】を押す
「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。

5【半角/全角】を押す

「Windows 98起動ディスク2を挿入してください」と表示されます。

6 フロッピーディスクドライブから「Windows 98起動ディスク1」を取り出し、「Windows 98起動ディスク2」をセットする

7【Enter】などのキーを押す

しばらくすると「A: ¥ > _」と表示されます。これで、パソコンが起動できました。

スキャンディスクの起動と終了

Windows 98起動ディスクを使ってパソコンを起動している状態でスキャンディスクを実行したいときには、次のように操作してください。

1 次のように入力する



スキャンディスクが実行され、ハードディスクのチェックがはじまります。エラーが発見されたときはメッセージが表示されますので、「ファイルに変換する」を選んで修復を実行してください。「クラスタスキャンを実行しますか?」とメッセージが表示されます。

2【 I 】で<いいえ(N)>を選んで【Enter】を押す

3【X】を押す

これでスキャンディスクの操作は終了です。

ハードディスクからパソコンを再起動したい場合は、Windows 98起動ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出してから電源を切り、5秒以上待ってからもう一度電源を入れてください。

チェック

スキャンディスクを行っても問題が解決されないときは、システムに障害が発生している可能性があります。次のようなときには再セットアップを行ってください。

- ・システムファイルに異常が発見されたとき
- ・異常は発見されなかったが、Windowsが起動しないとき
- ・動作が不安定なとき
- ・画面が正しく表示されないとき

CyberTrio-NXのモードを変更する

CyberTrio-NXのモードがアドバンスモード以外になっている場合には、使える機能が制限されます。トラブルを解決するためには、パソコンの設定を変更しなければならない場合がありますので、このような場合は次の手順でCyberTrio-NXのモードをアドバンスモードにしてください。

モードの種類

「CyberTrio-NX」で設定できるモードには次の3つがあり、購入時は「ベーシックモード」に設定されています。

- ・ベーシックモード
システムへ影響を与える機能の動作を制限し、パソコンやアプリケーションへの予期せぬダメージを防ぎます
- ・アドバンスモード
Windows 98へのフルアクセスが可能になります。利用環境を制限しません。システムの設定が必要な場合にこのモードに切り替えてから設定を行います。
- ・キッズモード
「マイプログラム」または「キッズモードのデスクトップ」に登録しているアプリケーションのみを使用できます。子供が使用してもよいアプリケーションだけを登録しておくことができます。また、キッズモードから他のモードに簡単に変更できないようにパスワードを設定することができます。



参照

「CyberTrio-NX」の使いかた 「サポートセンタ」 「添付ソフトの使い方」 「CyberTrio-NX」

アドバンスモードにする

ベーシックモードからアドバンスモードにする場合

「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberTrio-NX」 「Go to アドバンスモード」 をクリックしてください。

キッズモードからアドバンスモードにする場合

「スタート」ボタン 「プログラム」 「Go to アドバンスモード」 をクリックしてください。

パスワードが設定されている場合は、「パスワード入力」ウィンドウが表示されるので、パスワードを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

パスワードを忘れてしまった場合は、次の「緊急用パスワード」を入力して、一度他のモードに変更してから、パスワードをもう一度設定しなおしてください。

「緊急用パスワード」: 71709981

Safeモードでアドバンスモードにする場合
次のように操作してください。

1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする

2 次のように入力する

```
c: ¥ cybertrio ¥ sascript c: ¥ cybertrio ¥ script ¥ normal .sas
```

3 「OK」ボタンをクリックする

CyberWarner-NXでWindows 98の動作を監視する

「CyberWarner-NX」を使うと、Windows 98の動作に影響を与えるファイルを監視して、ユーザが操作中にそれらのファイルの削除や変更をしようとする、警告を表示させることができます。また、ログファイルを収集して、保守時に利用することもできます。

CyberWarner-NXは、システムの変更を行うときや、アプリケーションの追加や削除、ファイルの削除や変更をするときに起動して使用してください。



参照

「CyberWarner-NX」の使いかた 「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「CyberWarner-NX」

コントロールパネルを開く

トラブルを解決するために「コントロールパネル」を使うことがあります。
次のようにして表示させてください。

1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリックする
「コントロールパネル」の画面が表示されます。



メモ

CyberTrio-NXがアドバンスモード以外になっているときには、コントロールパネルで使える機能が制限されることがあります。すべての機能を使いたい場合には、アドバンスモードに変更してください(p.32)。

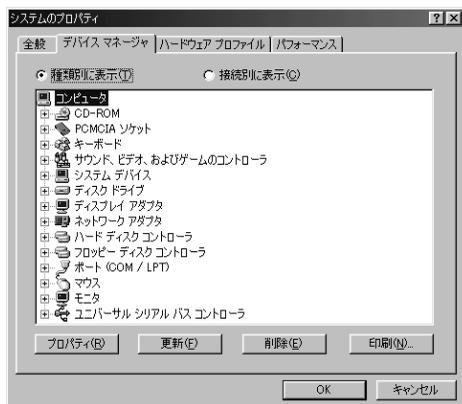
デバイスマネージャを表示する

周辺機器の状態やIRQ(割り込みレベル)の設定を確認するためには、「デバイスマネージャ」を使うことがあります。次のようにして表示させてください。

メモ

CyberTrio-NXがアドバンスモード以外になっているときには、デバイスマネージャが使えません。あらかじめアドバンスモードにしておいてください(p.32)。

- 1 「コントロールパネル」を開く
「コントロールパネル」の画面が表示されます。
- 2 「システム」アイコンをダブルクリックする
「システムのプロパティ」の画面が表示されます。
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
「デバイスマネージャ」の画面が表示されます。



パソコンの情報を表示する

型番や製造番号、メモリ容量などのパソコン情報を、画面で確認することができます。

- 1 「サポートセンター」を開く(p.2)
- 2 「パソコンの情報」ボタンをクリックする

パソコンを再起動する

各種の設定の変更を有効にするには、パソコンの再起動が必要なことがあります。再起動とは、一度パソコンの電源を切り、再びパソコンの電源を入れることです。

「再起動しますか?」と表示された場合

「はい」ボタン(または「OK」ボタン)をクリックすると、自動的にパソコンが再起動します。

自分で再起動する場合

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
「Windowsの終了」の画面が表示されます。
- 2 「再起動する」を \odot にして「OK」ボタンをクリックする
パソコンが再起動します。

P A R T

2

トラブル解決Q & A

トラブルの解決方法をQ&A形式で具体的に説明しています。

「サポートセンタ」の「困ったときのQ & A」やWindowsのヘルプなどとあわせてご覧ください。

パソコンが動かない



Windows 98が起動しない



BIOSセットアップメニューの設定が正しくない

次の方法でBIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻してから、もう一度電源を入れ直してください。

- 1 PCカードをセットしているときは、取り外す
- 2 パソコンの電源を入れる
- 3 「NEC」のロゴが表示されたらすぐに【F2】を押す
- 4 BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されたら、【 】を押して「デフォルト値をロード」を選び、【Enter】を押す
「すべての設定項目にデフォルト値を書き込みますか? はい いいえ」と表示されます。
- 5 「はい」を選び、【Enter】を押す
- 6 【 】を押して「変更を保存して終了」を選ぶか、【F10】を押す
- 7 【Enter】を押す
「現在の状態を保存して設定を終了しますか? はい いいえ」と表示されます。
- 8 「はい」を選び、【Enter】を押す
BIOSセットアップメニューの設定が初期値となり、自動的にパソコンが再起動します。



使用中にパソコンが動かなくなった

A

フリーズ(ハングアップ)している

アプリケーションや周辺機器に異常が発生すると、どんな操作をしてもパソコンやアプリケーションが反応しなくなることがあります。このことをフリーズ(または「ハングアップ」「ストール」といいます。このようなときには、次のようにして異常のあるアプリケーションを終了させるか、パソコンを再起動させてください。

異常のあるアプリケーションを終了させるには



チェック

この方法でアプリケーションを終了させたときには、保存していないデータは消えてしまいます。

1 【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押す

「プログラムの強制終了」の画面が表示されます。

2 「応答なし」と表示されているプログラムをクリックし、「終了」をクリックする

異常を起こしているアプリケーションが強制的に終了します。

上記の方法でアプリケーションが終了できなかった場合は、次のようにして強制的にWindowsを終了させてください。

強制的にWindowsを終了する



チェック

この方法で電源を切ったときには、保存していないデータは消えてしまいます。

1 【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押す

「プログラムの強制終了」の画面が表示されます。

2 「シャットダウン」ボタンをクリックする

しばらくすると自動的にWindowsが終了し、パソコンの電源が切れます。

上記の方法でも電源が切れなかった場合は、次のようにして強制的にパソコンの電源を切ってください。

強制的にパソコンの電源を切る

チェック

この方法で電源を切ったときには、保存していないデータは消えてしまいます。

- 1 電源スイッチ(⏻)を約4秒以上操作し続ける
電源ランプ(🔌)が消え、パソコンの電源が切れます。

チェック

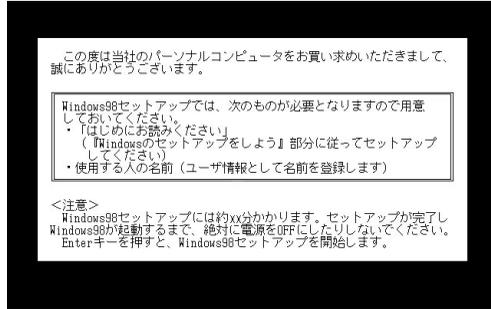
「コントロールパネル」の「電源の管理」で、電源スイッチでスリープになる設定をしていると、この操作をするとスリープ状態になってしまうことがあります。このようなときには、一度電源スイッチから手を離し、もう一度電源スイッチを約4秒以上操作し続けてください。

初めて電源を入れたら

Q セットアップの画面が表示されない

A 「Press F1 to Run SETUP」と表示された場合は、次の操作を行ってください

- 1 **【F1】**を押す
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 2 **【 】**を押して「デフォルト値をロード」を選ぶ
- 3 **【Enter】**を押す
「すべての設定項目にデフォルト値を書き込みますか? はい いいえ」と表示されます。
- 4 「はい」を選ぶ
- 5 **【Enter】**を押す
- 6 **【 】**を押して「変更を保存して終了」を選ぶか、**【F10】**を押す
- 7 **【Enter】**を押す
「現在の状態を保存して設定を終了しますか? はい いいえ」と表示されます。
- 8 「はい」を選ぶ
- 9 **【Enter】**を押す
BIOSセットアップメニューが終了し、パソコンが再起動して次の画面が表示されます。



このあと、『はじめにお読みください』の手順にしたがって、パソコンをセットアップしてください。

A メッセージが表示された

機種によっては、はじめて電源を入れたときに「Invailed HIBERNATION xxxx /file...RUN HDPREEREZ...」または「Your hibernation file is either missing or corrupt,...」で始まるメッセージが表示されますが、異常ではありません。しばらくするとセットアップの画面が表示されます。『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを続けてください。

Q セットアップの途中で電源を切ってしまった

A 約5秒待ってからもう一度電源を入れ直してください 名前を入力する画面が表示された場合



この画面が表示された場合は、『はじめにお読みください』の手順にしたがって、セットアップを続けてください。

スキャンディスクがはじまった場合

スキャンディスクのあと前ページの画面が表示された場合には、『はじめにお読みください』の手順にしたがって、セットアップを続けてください。

スキャンディスクのあと何かメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがってください。問題が解決すると前ページの画面が表示されるので、『はじめにお読みください』の手順にしたがって、セットアップを続けてください。

 チェック

システムに重大な問題が発見された場合には、再セットアップが必要です。



セットアップの途中でパソコンが動かなくなった



パソコンの処理に時間がかかっている

セットアップ中には、さまざまな情報の入力や設定が行われるため、正常に処理が行われているときでも、数分～数十分間画面が止まったようになることがあります。NXパッドやキーボードの操作ができなくなっても、あわてて電源スイッチを操作したりしないでください。

電源を入れたが / 切ろうとしたが



電源ランプが点灯しているのに画面が表示されない

A

ディスプレイの輝度(明るさ)が適切でない

ディスプレイの輝度を調整してください。

明るくするには

LaVie Mの場合

【Fn】+【F7】を押す

上記以外のモデルの場合

【Fn】+【F8】を押す

暗くするには

LaVie Mの場合

【Fn】+【F8】を押す

上記以外のモデルの場合

【Fn】+【F9】を押す

A

液晶ディスプレイが表示できない解像度に設定されている

強制的にパソコンの電源を切ったあと、SafeモードでWindowsを起動し、解像度を設定しなおしてください。



参照

- ・強制的に電源を切る方法 このPARTの「強制的にパソコンの電源を切る」(p.40)
- ・SafeモードでWindowsを起動する方法 PART1の「トラブルを解決するには」の「SafeモードでWindowsを起動する」(p.27)
- ・解像度を設定する方法 『もっと知りたいパソコン』PART1の「液晶ディスプレイ」

A

別売のディスプレイが接続されている

別売のディスプレイを接続し、画面の出力先が「外部モニタ」になっているときは、液晶ディスプレイには画面が表示されません。接続しているディスプレイの電源が入っていることを確認してください。



【Fn】+【F3】で画面の出力先を切り替えることができます。

これらのチェックを行っても画面に何も表示されないときは、故障が考えられます。『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。ご購入元、NECフィールドイングの各支店、営業所などにご相談ください。



電源を入れても電源ランプが点灯せず、パソコンが起動しない



A バッテリーパックやACアダプタが正しく接続されていない

『はじめにお読みください』をご覧ください。バッテリーパックやACアダプタの接続を確認してください。



A バッテリーが充電されていない

ACアダプタを接続して使用するか、バッテリーを充電してから使用してください。ACアダプタを正しく接続して電源を入れても電源ランプ(①)が点灯しないときは、本機の故障が考えられます。『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。ご購入元、NECフィールドイングの各支店、営業所などにご相談ください。



Windows 98が起動しない



A BIOSセットアップメニューの設定が正しくない

次の方法でBIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻してから、もう一度電源を入れ直してください。

- 1 PCカードをセットしているときは、取り外す
- 2 パソコンの電源を入れる
- 3 「NEC」のロゴが表示されたらすぐに【F2】を押す
- 4 BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されたら、【】を押して「デフォルト値をロード」を選び、【Enter】を押す
「すべての設定項目にデフォルト値を書き込みますか? はい いいえ」と表示されます。

5 「はい」を選び、【Enter】を押す

6 【 】を押して「変更を保存して終了」を選ぶか、【F10】を押す

7 【Enter】を押す

「現在の状態を保存して設定を終了しますか? はい いいえ」と表示されます。

8 「はい」を選び、【Enter】を押す

BIOSセットアップメニューの設定が初期値となり、自動的にパソコンが再起動します。



パソコンを起動したら画面にカーソルが表示された



システムの入っていないフロッピーディスクがセットされている

ハードディスクからWindowsを起動したい場合

フロッピーディスクを取り出してパソコンを再起動してください。ハードディスクからWindows 98が起動します。

フロッピーディスクからパソコンを起動したい場合

フロッピーディスクを取り出してください。その後、PC98-NXシリーズ用のWindows 98でフォーマットされ、Windows 98のシステムが入ったフロッピーディスクをセットし、何かキーを押してください。



メモ

PC-9800シリーズで作られたシステムディスクは使用できません。



「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった



前回正しく電源を切らなかったか、スタンバイ状態(サスペンド)にした内容が何らかの原因で失われてしまった

スキャンディスクの結果異常がなければ、そのままWindows 98が起動します。Windowsが正常に起動せず、メッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがってください。メッセージが表示されず、Windows 98も正常に起動しない場合には、再セットアップしてください。



再セットアップするには「PART3 再セットアップ」



「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示された



Windows起動時に何らかの問題が発生した

「Enter a choice:」に「3」(3. Safe mode)が表示されている場合は、次の手順でSafeモードを起動してください。

1【Enter】を押す

「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。

2【半角 / 全角】を押す

3 しばらくして表示された画面で「OK」ボタンをクリックする

Windows 98がSafeモードで起動します。問題が解決できたら、もう一度Windowsを起動しなおしてください。



Safeモードについて PART1の「トラブルを解決するには」の「SafeモードでWindowsを起動する」(p.27)



「Invalid system disk Replace the disk,...」と表示された



システムの入っていないフロッピーディスクがセットされている

ハードディスクからWindowsを起動したい場合

フロッピーディスクを取り出してパソコンを再起動してください。ハードディスクからWindows 98が起動します。

フロッピーディスクからパソコンを起動したい場合

フロッピーディスクを取り出してください。その後、PC98-NXシリーズ用のWindows 98でフォーマットされ、Windows 98のシステムが入ったフロッピーディスクをセットし、何かキーを押してください。



PC-9800シリーズで作られたシステムディスクは使用できません。

A

ハードディスクがフォーマット(初期化)されてしまったか、システムが壊れている

Windows 98起動ディスクからパソコンを起動して、ハードディスクにスキャンディスクを実行し、ハードディスクの状態を調べてください。問題が発見されたときは画面の指示にしたがってください。スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたときは、再セットアップしてください。また、ハードディスクがフォーマットされただけでWindows 98がインストールされていないときも、再セットアップしてください。



参照

- ・Windows 98起動ディスクからWindowsを起動する PART1の「トラブルを解決するには」の「Windows 98起動ディスクからパソコンを起動する」(p.30)
- ・再セットアップするには 「PART3 再セットアップ」

Q

「Non-system disk or disk error」と表示された

A

MS-DOSでフォーマットのみされたフロッピーディスクがセットされている

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、パソコンを再起動してください。ハードディスクからWindows 98が起動します。フロッピーディスクドライブからパソコンを起動したい場合は、PC98-NXシリーズ用のWindows 98でフォーマットされ、Windows 98のシステムの入っているフロッピーディスクをセットし、何かキーを押してください。

Q

「Operating System not found」または「Please Insert Another Disk...」と表示された

A

フロッピーディスクがセットされている

このパソコンで使用できないフロッピーディスクがセットされていると、このようなメッセージが表示されます。

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、パソコンを再起動してください。ハードディスクからWindows 98が起動します。フロッピーディスクドライブからパソコンを起動したい場合は、PC98-NXシリーズ用のWindows 98でフォーマットされ、Windows 98のシステムの入っているフロッピーディスクをセットし、何かキーを押してください。

A ハードディスクに問題がある

Windows 98起動ディスクからパソコンを起動してFDISKコマンドを実行し、Cドライブの状態を調べてください。



Windows 98起動ディスクからWindowsを起動する PART1の「トラブルを解決するには」の「Windows 98起動ディスクからパソコンを起動する」(p.30)

Cドライブの「状態」のところに「A」が付いていない場合

FDISKオプションの「4.領域情報を表示」で「領域C」の「状態」の所に「A」が付いていないときは、Cドライブが使えません(アクティブではありません)。「FDISKオプション」の画面で「2.アクティブな領域を設定」を選び、Cドライブをアクティブな状態にしてください。

「領域」の欄に何も表示されていない、または、「システム」の欄の下に「FAT32」「FAT16」以外のものが表示されている場合

ハードディスクがWindows 98で使える形式にフォーマットされていません。「PART3 再セットアップ」をご覧になり、再セットアップしてください。



起動時に「Invalid HIBERNATION xxxx/file...RUN HDPREPEZ...」

または「Your hibernation file is either missing or corrupt,...」と表示された



メモリの取り付け / 取り外しやCドライブの圧縮 / 圧縮解除 / Cドライブに対するドライブコンバータ (FAT32) の実行などをした

メモリの取り付け / 取り外しやCドライブの圧縮 / 圧縮解除 / Cドライブに対するドライブコンバータ (FAT32) の実行などをしたときは、休止状態 (ハイバネーション) をもう一度設定しなおしてください。



休止状態の設定 『もっと知りたいパソコン』PART1の「省電力機能」



休止状態 (ハイバネーション) を使用しない設定にした

休止状態 (ハイバネーション) を使用しない設定にした場合、Windows 98起動時には必ずこのメッセージが表示されます。

A

休止状態(ハイバネーション)のときに機器構成を変えた

休止状態(ハイバネーション)の設定をして電源を切ったときに、接続している周辺機器などの構成を変えると、休止状態(ハイバネーション)が正しく働かないことがあります。このようなときは、一度電源を切り、機器構成を元に戻してから、もう一度電源を入れてください。

Q

その他のメッセージが表示された、またはピーツというエラー音がした

A

フロッピーディスクがセットされている

セットされているフロッピーディスクの種類によっては、このマニュアルに書かれていないメッセージが表示されたり、ピーツというエラー音がしたりします。フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、パソコンを再起動してください。ハードディスクからWindows 98が起動します。フロッピーディスクドライブからパソコンを起動したい場合は、PC98-NXシリーズ用のWindows 98でフォーマットされ、Windows 98のシステムの入っているフロッピーディスクをセットし、何かキーを押してください。

A

ハードディスクに問題がある

メッセージや症状を書きとめて、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧の上、ご購入元、NECフィールドイングの各支店、営業所などにご相談ください。

省電力機能

Q スタンバイ状態(サスペンド)にできない

A アプリケーションや周辺機器がスタンバイ機能に対応していない

アプリケーションや周辺機器によっては、スタンバイ機能を使うとパソコンが正常に動作しなくなることがあります。このようなときはパソコンを再起動してください(p.35)。

また、このようなアプリケーションや周辺機器を使用中には、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

A 電話回線やネットワークに接続中にスタンバイ機能を使おうとした

電話回線やネットワークに接続しているときにはスタンバイ状態(サスペンド)にすることはできません。回線を切断してからスタンバイ状態(サスペンド)にしてください。

A 「コントロールパネル」の「電源の管理」の設定が正しくない

「コントロールパネル」の「電源の管理」で「電源設定」タブの「常にオンの電源の設定」欄の設定を確認してください。

Q 自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にすることができない

A 一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器や機能を使っている

双方向通信するプリンタなど、一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器や機能を使っているときには、自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にできないことがあります。周辺機器や機能を使わないようにするか、自動スタンバイの設定時間を変更してください。



休止状態(ハイバネーション)にしようとしたらメッセージが表示された

A

Windows 98起動直前に「Invalid HIBERNATION xxxx/file...RUN HDPREPEZ...」または「Your hibernation file is either missing or corrupt, ...」と表示された場合は、休止状態(ハイバネーション)の機能を使うことはできません

休止状態(ハイバネーション)の設定をしたあとで次のいずれかの操作をすると、休止状態の機能が使えなくなり、スタンバイ状態になります。

- ・メモリの取り付け / 取り外し
- ・CDドライブの圧縮 / 圧縮解除
- ・CDドライブにドライブコンバータ FAT32 を実行した

このような場合は、もう一度休止状態の設定を行ってください。



参照

休止状態(ハイバネーション)の設定 『もっと知りたいパソコン』PART1の「省電力機能」



「ハイバネーション設定ユーティリティ」でエラーメッセージが表示された

A

ハードディスクに連続した空き領域が足りない

休止状態(ハイバネーション)の設定をするには、ハードディスクに連続した空き領域が必要です。ハードディスクから不要なファイルを削除し、デフラグを実行して必要な空き領域を確保してください。



参照

デフラグについて「サポートセンタ」「添付ソフトの使い方」「デフラグ」



メモ

搭載しているメモリ容量によって、休止状態用ファイルの大きさが変わります。必要なハードディスクの空き容量の目安は、パソコンに搭載されているメモリ容量 + 8Mバイトです。



休止状態(ハイバネーション)にしようとするとスタンバイ状態(サスペンド)になってしま



スタンバイ機能が設定されている

「コントロールパネル」の「電源の管理」で、休止状態(ハイバネーション)の設定が正しく行われているかどうか確認してください。



参照

休止状態(ハイバネーション)機能の設定 『もっと知りたいパソコン』PART1の「省電力機能」



復帰(レジューム)できない



バッテリーの残量が足りない

ACアダプタを接続し、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると、データが復帰(レジューム)します。



アプリケーションや周辺機器がスタンバイ機能に対応していない

アプリケーションや周辺機器によっては、スタンバイ機能を使うとパソコンが正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使用中には、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。



パソコンがWindowsの終了処理を行っている途中で次のいずれかの操作をした

- ・ディスプレイを閉めた
- ・スリープ状態にした
- ・電源を切った

このような操作をすると、データを正常に復帰(レジューム)できなくなることがあります。電源スイッチ(⏻)で電源を入れたあとメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。



休止状態(ハイバネーション)中に機器の構成を変えた

一度パソコンの電源を切り、機器構成を元どおりに戻してからもう一度パソコンの電源を入れてください。

A**パスワードが設定されている**

LaVie Sの場合

復帰(レジューム)時にキャップスロックキーランプ()とスクロールロックキーランプ()が同時に点滅している場合は、パスワードが設定されています。パソコンの電源を入れたときに入力したパスワードを入力し、【Enter】を押してください。

その他のモデルの場合

復帰(レジューム)時にキャップスロックキーランプ()とスクロールロックキーランプ()が交互に点灯している場合は、パスワードが設定されています。パソコンの電源を入れたときに入力したパスワードをもう一度入力し、【Enter】を押してください。

パスワード

Q 「入力されたパスワードが間違っています」と表示された

A パスワードが正しく入力されていない

パスワードをもう一度確認して、正しく入力しなおしてください。

A キーがロックされている

キャップスロックキーランプ()またはニューメリックロックキーランプ()が点灯している場合は、【Caps Lock】や【Num Lock】がロックされています。キーのロック状態がパスワード設定時と異なっていると、パスワードが正しく入力できないことがあります。ロックの状態を確認し、パスワードを設定したときと同じ状態にしてから、もう一度パスワードを入力しなおしてください。

キーのロック / 解除方法

【Caps Lock】のロックと解除

【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押す

【Num Lock】のロックと解除

【Fn】を押しながら【F12】を押す(LaVie M)

【Num Lock】を押す(上記以外のモデル)

Q パスワードを忘れてしまった

A Windows 98のパスワードを忘れた場合

Windows 98のパスワードを忘れてしまったときは、「Windowsログオン」の画面で、新しいユーザー名でログオンを行うか、Windows 98を再セットアップしてください。

「Windowsログオン」でパスワードの入力をせずに「キャンセル」ボタンをクリックすると、ネットワーク上の「パスワードの保存」などの機能が使えなくなります。



購入時の設定では、「Windowsログオン」の画面は表示されません。ネットワークの設定などを行うと表示されるようになります。

A

ユーザパスワードやスーパーバイザパスワードを忘れた場合

ユーザパスワードを忘れてしまった場合は、『もっと知りたいパソコン』PART1の「セキュリティ機能」の手順にしたがって新しいユーザパスワードを設定してください。スーパーバイザパスワードを忘れてしまったときには、解除処置が必要です。『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧の上、NECフィールドイングの各支店、営業所などにご連絡ください。

 メモ

- ・パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り、処置をお受けいたします。
- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。
 1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 2. 身分証明書(お客様ご自身を証明できるもの)
 3. 印鑑
- ・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身より専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

バッテリー

Q 充電できない

A バッテリーがフル充電されている

既にバッテリーがフル充電されていたりフル充電に近い状態だと、充電されないことがあります。バッテリーがフル充電されている場合はACアダプタを接続してもバッテリー充電ランプ()が消灯しています。

A バッテリーパックが接触不良を起こしている

バッテリーパックが接触不良のときには、バッテリー充電ランプ()が点滅します。一度バッテリーパックを取り外してから取り付けなおしてください。

Q フル充電したのにバッテリー充電ランプが点灯する

A 異常ではありません

バッテリーは少しずつ自然放電しているため、それを補充するため、ACアダプタが接続されているときは自動的に充電が始まる場合があります。故障ではありません。

Q バッテリー充電ランプが点滅する

A バッテリーが正しく取り付けられていない

電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取り外してからもう一度正しく取り付けなおしてください。

バッテリーパックを取り付けなおしても直らないときは、『もっと知りたいパソコン』PART1の「バッテリー」をご覧ください。バッテリーリフレッシュを行ってください。バッテリーリフレッシュを行っても直らないときは、バッテリーパックの寿命ですので、別売のバッテリーパックと交換してください。



インジケータ領域(タスクトレイ)に電源アイコンが表示されない

A

バッテリーパックが取り付けられていない

バッテリーパックでパソコンを使っている場合は、が表示されます。ACアダプタを使用してACコンセントからパソコンを駆動している場合は、が表示されます。

A

電源アイコンを表示しない設定になっている

次の手順を行ってください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックする
- 2 「詳細」タブをクリックする
- 3 「電源メーターをタスクバーに表示する」をにする

ディスプレイ

Q ディスプレイに何も表示されない

A ディスプレイの輝度(明るさ)が適切でない

ディスプレイの輝度を調整してください。

明るくするには

LaVie Mの場合

【Fn】+【F7】を押す

上記以外のモデルの場合

【Fn】+【F8】を押す

暗くするには

LaVie Mの場合

【Fn】+【F8】を押す

上記以外のモデルの場合

【Fn】+【F9】を押す

A 液晶ディスプレイに表示できない解像度に設定されている

強制的に本機の電源を切ったあと、SafeモードでWindowsを起動して、解像度を設定しなおしてください。



参照

- ・強制的に電源を切る方法 このPARTの「強制的にパソコンの電源を切る」(p.40)
- ・SafeモードでWindowsを起動する方法 PART1の「トラブルを解決するには」の「SafeモードでWindowsを起動する」(p.27)
- ・解像度を設定する方法 『もっと知りたいパソコン』PART1の「液晶ディスプレイ」

A 別売のディスプレイが接続されている

別売のディスプレイを接続し、画面の出力先が「CRT」になっているときは、液晶ディスプレイには画面が表示されません。接続しているディスプレイの電源が入っていることを確認してください。



メモ

【Fn】+【F3】で画面の出力先を切り替えることができます。

A DirectXに対応したアプリケーションを実行した

DirectXに対応した一部のゲームなどのアプリケーションを実行すると、画面が表示されなくなることがあります。アプリケーションの添付マニュアルを参照し、表示解像度を320×200ドット、640×400ドット以外に変更すると、障害を回避できることがあります。



メモ

320×200ドット、640×400ドットの解像度でしか使えないアプリケーションは、このパソコンでは正常に動作しない場合があります。

これらのチェックを行っても画面に何も表示されないときは、故障が考えられます。『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧の上、ご購入元、NECフィールドインギングの各支店、営業所などにご相談ください。

Q 画面が真っ暗になった

A 「コントロールパネル」の「電源の管理」で「モニタの電源を切る」を設定している

NXパッドかキーボードを操作すると元の画面が表示されます。元に戻らない場合は、スタンバイ状態(サスペンド)になっていることが考えられます。スタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)させてください。

Q 表示や色がおかしい

A Windows 98の表示色を256色にしている

アプリケーションによっては、表示色を256色にしていると、画面の色が正しく表示されない場合があります。次の操作をすると正しく表示されるようになります。

- 1 デスクトップ上のウィンドウやアイコン、タスクバー以外の部分を右クリックする
- 2 表示されたメニューから「アクティブデスクトップ」をポイントする
- 3 「Webページで表示」がになっている場合は、にする



解像度や表示色を変更できない



「互換性の警告」の画面からパソコンを再起動しようとした

インジケータ領域(タスクバー)の右側の「画面変更」で解像度や表示色の設定を変えたときに、「互換性の警告」ウィンドウが表示されませんでしたか? 「互換性の警告」ウィンドウで「新しい設定でコンピュータを再起動する」を選んで「OK」ボタンをクリックすると、パソコンを正常に再起動できない場合があります。一度強制的にパソコンの電源を切った後、もう一度電源を入れてください。



参照

再起動する PART1の「トラブルを解決するには」の「パソコンを再起動する」(p.35)

「互換性の警告」の画面が表示されている場合は次のように対処してください。

- 1 「再起動せずに設定を適用する」を選んで「OK」ボタンをクリックする
- 2 「スタート」ボタンをクリックして、「Windowsの終了」をクリックする
- 3 「再起動する」をにして、「OK」ボタンをクリックする
パソコンが再起動します。

NXパッド

Q 何も反応しない、または反応が鈍い

A スクロール領域で操作している

購入時の設定では、NXパッドのスクロール機能が有効になっています。この場合、パッドのスクロール領域(右端、下)でポインタの移動やドラッグなどの操作をすることはできません。

パッドの右端や下でもポインタの移動やドラッグなどの操作をできるようにするには、次の手順でスクロール機能をオフにしてください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ジェスチャー」タブをクリックする
- 3 「スクロール機能を使う」を にする
- 4 「OK」ボタンをクリックする

A 指先やNXパッドが汚れている

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れを拭き取ってから操作してください。

A NXパッドの2カ所以上に同時に触れている

NXパッドの2カ所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。1カ所だけに触れるようにしてください。

A NXパッドを使用しない設定になっている

キー入力しながらパッドで操作しようとしたとき

購入時の設定では、誤動作防止のため、キー入力時のパッド操作ができないようになっています。キー入力がおわってからNXパッドを操作するか、または次の手順で設定を変更してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
「マウスのプロパティ」が表示されます。

2 「タッピング」タブの「キー入力時タップ・ポインタ移動しない」を にする

BIOSセットアップメニューの設定が正しくないとき

BIOSセットアップメニューで「拡張セットアップ」の「NXパッド」を「使用する」に設定してください。



BIOSセットアップメニューの設定 『もっと知りたいパソコン』PART6の「BIOSセットアップメニュー」

A パソコンの処理に時間がかかっている

ポインタが になっているときは、プログラムの処理が行われているので、M パッドの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。しばらく待ってもNXパッドの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強制終了してください。



強制終了をする このPARTの「異常のあるアプリケーションを終了させるには」(p.39)

A 「マウスのプロパティ」で「ボタン設定」が変更されている

次の手順にしたがって設定を変更してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
「マウスのプロパティ」が表示されます。
- 2 「ボタン」タブの「ボタン設定」の「左ボタン」「右ボタン」「左右ボタン」の設定を使いやすいように変更する
必ずどれか1つに「クリック」を設定してください。
- 3 「OK」をクリックする

A ポインタの速度が遅くなっている

「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックして表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの「動作」タブでポインタの速度を調整してください。



NXパッドやマウスの誤操作を防ぎたい

A

別売のマウス使用時に、NXパッドからの入力を無効にする

別売のマウス使用時には、NXパッドの誤操作を防ぐため、NXパッドからの入力を無効にすることができます。

LaVie S、LaVie C、LaVie Mの場合

1 パソコンの電源を入れる

2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐに【F2】を押す
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

3 【】を押して「拡張セットアップ」を選ぶ

4 【Enter】を押す

5 「NXパッド」の項目を次のように設定する

LaVie Cの場合

USBマウス使用時

「使用しない」に設定する

PS/2マウス使用時

「自動」に設定する

LaVie S、LaVie Mの場合

「使用しない」に設定する

6 【Esc】を押す

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

7 【】を押して「変更を保存して終了」を選ぶか、【F10】を押す

8 【Enter】を押す

「現在の状態を保存して設定を終了しますか？ はい いいえ」と表示されます。

- 9 「はい」を選び、【Enter】を押す
自動的にパソコンが再起動します。
これで、マウス使用時のNXパッドの入力が無効になります。

 チェック

LaVie Mで別売のPS/2マウスを使用する場合は、別売のUSBポートバー (PK-UP012/PK-UP012N)が必要です。

キーボード



キーボードのキーを押しても、何も反応しない

A

パソコンの処理に時間がかかっている

マウスポインタが  になっているときは、プログラムの処理が行われているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。しばらく待ってもキーボードの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強制終了してください。



参照

強制終了をする このPARTの「異常のあるアプリケーションを終了させるには」(p.39)

A

キーボードの設定が正しくない

別売のキーボードを使う場合には、設定が必要です。次の方法でキーボードの設定を行ってください。



メモ

この方法で設定すると別売のキーボードが使えますが、キーによっては使えなくなるものがあります。

- 1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックする
「システムのプロパティ」の画面が表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「キーボード」の左の  をクリックする
- 3 表示されたキーボード名をダブルクリックする
- 4 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」ボタンをクリックする
デバイスドライバの更新ウィザードが表示されます。
- 5 「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「現在使用しているデバイスよりさらに適したデバイスを検索する(推奨)」を  にする

7 「次へ」ボタンをクリックする

8 「検索場所の指定」を にし、キーボードのマニュアルなどに記載されているフォルダを指定する

9 「次へ」ボタンをクリックする

これ以降は画面の指示にしたがって設定してください。



キーボードで押したキーと違う文字が表示される



キーがロックされている

キャップスロックキーランプ()またはニューメリックロックキーランプ()が点灯している場合は、【Caps Lock】や【Num Lock】がロックされています。キーのロック状態を確認してください。

キーのロック / 解除

【Caps Lock】のロックと解除

【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押す

【Num Lock】のロックと解除

【Fn】を押しながら【F12】を押す(LaVie M)

【Num Lock】を押す(上記以外のモデル)



入力したいモードになっていない

日本語入力とアルファベット入力を切り替えたいときは、【Alt】を押したまま【半角 / 全角】を押します。



参照

日本語入力のモードについて 『もっと知りたいパソコン』PART1の「キーボード」



別売の98配列USBキーボード(バスパワーハブ付き)を使っている

別売の98配列USBキーボード(バスパワーハブ付き) PK-KB011 を使っているときは、本機のキーボードは使えません。

サウンド機能



光デジタルオーディオ出力からの音が鳴らない



オーディオ機器と正しく接続されていない

パソコンの光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子と、デジタルオーディオ機器の光デジタル入力端子が、市販のデジタルケーブルで正しく接続されているか確認してください。



光デジタルオーディオ出力が使えない設定になっている

次の手順で光デジタル出力を使えるように設定してください。

LaVie Sの場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「ヤマハ DS-XG設定」アイコンをダブルクリックする
- 2 「デジタル出力」タブをクリックする
- 3 「OFF」以外のいずれかを  にする
- 4 「OK」ボタンをクリックする

LaVie Mの場合

まずは、以下の手順で内蔵サウンドの種類を確かめてください。

- 1 「スタート」ボタン 「サポートセンタ」 「サポートセンタ」をクリックする
- 2 画面左下の「パソコンの情報」ボタンをクリックする
- 3 画面右下の「詳細」ボタンをクリックする
「デバイス情報」の「サウンド」にあるデバイス名を確認します。

Creative SB AudioPC(WDM)の場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする

3 「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」をダブルクリックし、「Creative SB AudioPC(WDM)」をダブルクリックする

4 「設定」タブをクリックする

5 「設定」の「アウトプットモード」で「オートセンス」もしくは「デジタル」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
ESS Allegro PCI Audio(WDM)の場合

1 インジケータ領域(タスクトレイ)の「スピーカーアイコン」()をダブルクリックする

2 「オプション」メニューから、トーン調整を選択する

3 「ボリュームコントロール」画面の「トーン」ボタンをクリックする

4 「Enable S/PDIF(1)」を にし、「OK」ボタンをクリックする



参照

光デジタルオーディオの設定をする 『もっと知りたいパソコン』PART1の「サウンド機能」

A

オーディオ機器のサンプリングレートがこのパソコンに対応していない
このパソコンの光デジタルオーディオ出力のサンプリングレートは48kHzです。接続先のオーディオ機器が48kHzのサンプリングレート入力に対応しているか確認してください。

周辺機器



周辺機器を取り付けたらパソコンが正常に動かなくなった



周辺機器のドライバが原因でパソコンが起動しなくなっている

SafeモードでWindows 98を起動してドライバを設定してください。

- 1 Safeモードでパソコンを起動する(p.27)
- 2 「デバイスマネージャ」を表示して、追加した周辺機器のアイコンをダブルクリックする
「周辺機器のプロパティ」が表示されます。
- 3 「全般」タブをクリックする
- 4 「すべてのハードウェア プロファイルを使用する」を☐にする
新しく取りつけた周辺機器のドライバが無効になります。
- 5 「OK」ボタンをクリックする
新しく取りつけた周辺機器のドライバが無効になり、通常モードでWindows 98が起動します。

この操作を行ってもパソコンが起動しないときは、パソコンの電源を切ってから新しく取りつけた周辺機器を取り外し、周辺機器のドライバを更新します。この場合、使いたい周辺機器の最新のドライバが必要です。



メモ

最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateでも周辺機器のドライバを更新することができます。Windows Updateを利用するには「スタート」ボタンをクリックし、「Windows Update」をクリックしてください。

Windowsが起動したら、次のようにしてドライバを更新してください。

- 1 「デバイスマネージャ」を表示して、追加した周辺機器のアイコンをダブルクリックする
「周辺機器のプロパティ」が表示されます。
- 2 「ドライバ」タブをクリックする

- 3 「ドライバの更新」ボタンをクリックする
以降は画面の指示にしたがってください。

A 割り込みレベルの設定が正しくない

周辺機器の中には、使用する際、割り込みレベルやDMAチャンネルの設定が必要なものがあります。周辺機器の使用に必要な割り込みレベルがすでに使用済みの場合、パソコンが起動しなくなったり、動作が不安定になったりすることがあります。割り込みレベルが重ならないよう、次の手順で設定を変更してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
「システムのプロパティ」の画面が表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
表示された割り込みを確認し、必要に応じて設定を変更してください。



参照

リソースの変更 『もっと知りたいパソコン』PART4の「周辺機器を接続する前に」



別売の周辺機器を取り付けたが正しく動作しない

A 電源を入れる順序が正しくない

パソコンが起動してから周辺機器の電源を入れても、パソコン側で周辺機器が正しく認識されません。最初に周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れてください。



メモ

USB対応の周辺機器は、パソコンが起動した後から電源を入れても正しく認識されません。



A 周辺機器がパソコンに正しく接続されていない。または、取り付けた周辺機器の設定が正しくない

周辺機器によっては、設定スイッチの変更やドライバなどのインストールが必要な場合があります。周辺機器のマニュアルをご覧ください。設定を確認してください。

A 周辺機器が正常に動作していない

デバイスマネージャの周辺機器のところに赤いXや黄色い!がついている場合、その周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。赤いXや黄色い!がつかないように設定しなおしてください。



参照

周辺機器の設定 『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」



「Windows 98 CD-ROMラベルの付いたディスクを挿入してOKをクリックしてください。」と表示された

A 次の手順にしたがってください

1 「OK」ボタンをクリックする
「ファイルのコピー元」を入力する画面が表示されます。

2 次のように入力する

C : ¥WINDOWS ¥OPTIONS ¥CABS

3 「OK」ボタンをクリックする
これ以降は画面の指示にしたがってドライバをインストールしてください。



新しい周辺機器を接続したときに「ドライバが見つかりません」と表示されてドライバのインストールができない

A デバイスマネージャでドライバを更新する必要がある

次の手順でドライバを更新してください。

1 「デバイスドライバウィザード」の「場所の指定」ダイアログボックスで
「完了」ボタンをクリックする
「デバイスマネージャ」の画面が表示されます。

2 「その他のデバイス」の左の+をクリックする

3 該当するデバイス名をクリックする

4 「プロパティ」ボタンをクリックする

- 5 「ドライバ」タブをクリックする
- 6 「ドライバの更新」ボタンをクリックする
「デバイス ドライバの更新ウィザード」の画面が表示されます。
- 7 「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)」が選ばれていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックする
「デバイス ドライバの更新ウィザード」の画面が表示されます。
- 9 「検索場所の指定」をにして、周辺機器のマニュアルなどに記載されているフォルダを指定する
- 10 「次へ」ボタンをクリックする
以降は画面の指示にしたがって、ドライバをインストールしてください。



接続していないCD-ROMドライブが表示され、アクセスしようとするとエラーになる



Virtual CD 2がインストールされている

このドライブはVirtual CD 2によって作成された仮想CD-ROMドライブです。詳しくは、『もっと知りたいパソコン』PART1の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ」DVD-ROMドライブ』のいずれかの「Virtual CD 2を使う」をご覧ください。

アプリケーション



アプリケーションの動作が遅い、起動しない



アプリケーションを起動するのに必要なメモリが足りない

複数のアプリケーションを同時に起動している場合

複数のアプリケーションを同時に起動していると、メモリが不足して新たなアプリケーションを起動できなくなることがあります。すでに複数のアプリケーションが起動しているときには、使わないアプリケーションを終了してから新しいアプリケーションを起動してください。それでもアプリケーションが起動しない場合は、パソコンを再起動してください。



参照

アプリケーションの終了方法 / システムリソースの確認 PART1の「トラブルを予防するには」の「アプリケーションの動作に必要な環境を確保する」(p.14)

ファイルサイズの大きい壁紙を使用している場合

ファイルサイズの大きい壁紙を使用していると、メモリが不足してアプリケーションを起動できなくなることがあります。お使いの壁紙のファイルのサイズを確認し、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。



参照

壁紙を変更する 「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「画面」-「壁紙(背景)を変えたい」



ワンタッチスタートボタンを押してもアプリケーションが起動しない



「ワンタッチスタートボタン」の設定が変更されている

インジケータ領域(タスクトレイ)の「ワンタッチスタートボタン」() をダブルクリックし、表示されたユーティリティ画面で設定を確認してください。



参照

ワンタッチスタートボタンを設定する 「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「ワンタッチスタートボタンの設定」

Q 「サポートセンタ」が表示されない、起動しない

A CyberTrio-NXがキッズモードになっている

CyberTrio-NXがキッズモードになっているときには、「マイプログラム または「キッズモードのデスクトップ」に登録しているアプリケーション以外は使えなくなります。p.32の手順でCyberTrio-NXを他のモードに切り替えてからサポートセンタを起動してください。

A サポートセンタが正しい方法でインストールされていない

購入後に「サポートセンタ」を削除 / 再追加する場合には、必ず「インストーラ-NX」を使う必要があります。（「コントロールパネル」は使わないでください）

「サポートセンタ」が正しく表示されなかったり起動しなかったりするときには、インストールが正しく行われていない可能性があります。「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「アプリケーションの追加と削除」をご覧になり、「インストーラ-NX」で再インストールしてください。

MS-DOSモード / MS-DOSプロンプト

Q MS-DOSモードを終了し、Windows 98に戻りたい

A 次のように入力してください

EXIT 

Windows 98 が起動します。

Q フルスクリーンになったMS-DOSプロンプトを元に戻したい

A 【Alt】+【Enter】を押すと元の画面サイズに戻ります

Q MS-DOSプロンプト画面で、Windows 98のスクリーンセーバーが起動した

A 次の手順で設定を変更すると、スクリーンセーバーが動作しないようになります

Windows 98のスクリーンセーバーを設定し、フルスクリーン表示のMS-DOSプロンプトでポインティングデバイスの操作のみを行っている場合、Windows 98のスクリーンセーバーが動作する場合があります。

- 1 【Alt】+【Enter】を押す
MS-DOSプロンプトの画面がフルスクリーン表示からウィンドウ表示に切り替わります。
- 2 【Alt】+【スペース】を押す
MS-DOSプロンプトのメニューが表示されます。
- 3 メニューから「プロパティ」を選択する
「MS-DOSプロンプトのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 「その他」タブをクリックする

- 5 「ウィンドウがアクティブな場合」の「スクリーンセーバーを使用する」を にする
- 6 「OK」ボタンをクリックする
- 7 **【Alt】+【Enter】**を押す
MS-DOSプロンプトの画面がウィンドウ表示からフルスクリーン表示に切り替わります。

ローカルエリアネットワーク(LAN)に接続しようとしたら(LaVie Cのみ)

Q ネットワークへの接続方法が分からない

LAN内蔵モデルをご使用の方は、『もっと知りたいパソコン』PART2の「LAN (ローカルエリアネットワーク)」をご覧ください。リンクケーブルを接続してください。また、必要なネットワークソフトウェアを正しくセットアップしてください。

Q ネットワークに接続できない

A 接続は正しくできていますか？

ネットワーク管理者に相談して、パソコンとHUB(ハブ)がリンクケーブルで正しく接続されているかを確認してください。

A 設定が間違っていないですか？

プロトコルやドメインワークグループなどの設定が間違っているか、またはコンピュータアカウントがプライマリドメインコントローラ上にありません。詳しくはネットワーク管理者に相談してください。

ネットワークコンピュータに「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されないネットワークコンピュータに表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の状態で更新」をクリックしてください。

それでも表示されない場合は、ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。

ネットワークコンピュータに自分のコンピュータしか表示されない

ネットワークコンピュータに表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の状態で更新」をクリックしてください。

それでも表示されない場合は、接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンで調べることができます。

A アダプタアドレス(MACアドレス)等の設定が間違っていますか?

ネットワークを使用するには、このパソコンのアダプタアドレス(MACアドレス)が必要な場合があります。サーバー等の設定を確認してください。



参照

MACアドレスの調べかた(LaVie Cの場合) 「もっと知りたいパソコン」PART2 の「LAN(ローカルエリアネットワーク)」



共有ドライブやフォルダが使えない

A 「Microsoftネットワーク共有サービス」は組み込まれていますか?

「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして表示される「ネットワーク」ウィンドウの「ネットワークの設定」タブをクリックして確認してください。

「Microsoftネットワーク共有サービス」が組み込まれていない場合は、共有ファイルやフォルダを使うことはできません。このサービスは、「ネットワークの設定」タブの「ファイルとプリンタの共有」ボタンをクリックして設定すると使えるようになります。



A お客様のコンピュータが共有を行う設定になっていますか?

共有するドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続された他のコンピュータからお客様のコンピュータを利用するには、「共有する」の設定が必要です。

利用したいドライブ、フォルダを右クリックし、表示されたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。



A 共有ドライブやフォルダにアクセス権が設定されていますか?

共有ドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、全く利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りも書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。

お客様が共有を設定した当初は「読み取り専用」の設定になっています。他のユーザから読み取りはできますが、書き込みはできません。

その他



通信しようとしてもダイヤルできない(ワイヤレスインターネットモデルの場合)

A

モデムの選択を変更する必要がある

ワイヤレスインターネットモデルでワイヤレスモデムステーションを使用する場合には、購入時のモデムの設定を変更する必要があります。詳しくは、『もっと知りたいパソコン』PART2の「ワイヤレス通信機能」をご覧ください。

A

ワイヤレスモデムステーションの通信圏外でダイヤルしようとしている

ワイヤレスモデムステーション使用時の有効通信圏は最大約100m以内です。有効通信圏内でダイヤルしなおしてください。



メモ

BIOSセットアップメニューで設定すると、圏内 / 圏外の状況をメール着信ランプ(✉)で確認することができます。詳しくは、『もっと知りたいパソコン』PART2の「ワイヤレス通信機能」をご覧ください。

A

ワイヤレスモデムステーションの設定が正しくない

購入時の状態では、ワイヤレスモデムステーションと電話回線との間のダイヤル方法は「パルス(20pps)」に設定されています。ご利用の電話回線のダイヤル方法が「トーン(プッシュ信号)」や「パルス(10pps)」の場合、ワイヤレスモデムステーションの設定を変更する必要があります。



参照

添付のワイヤレスモデムステーションのマニュアル『はじめにお読みください』の「インターネットに接続する」

A

BIOSセットアップメニューの設定が正しくない(LaVie Cの場合)

ワイヤレスモデムステーションを使用する場合は、BIOSセットアップメニューの「周辺機器セットアップ」の「オンボードシリアルポート2」を「自動」に設定してください。



インターネット / パソコン通信 / FAXが使えない

A

分岐アダプタを使用している

電話機を使用中の場合

分岐アダプタを使って1つの電話回線を電話機とパソコンの両方に接続している場合、電話機の使用中にはパソコンでは通信はできません。電話を切るとパソコンで通信できるようになります。

電話機を使用していない場合

分岐アダプタが壊れている可能性があります。分岐アダプタを取り外し、モジュラーコンセントとパソコンのモデムを直接接続してから再度通信してみてください。

A

モデムの選択を変更する必要がある

ワイヤレスインターネットモデルでワイヤレスモデムステーションを使用する場合には、購入時のモデムの設定を変更する必要があります。詳しくは、『もっと知りたいパソコン』PART2の「ワイヤレス通信機能」をご覧ください。



スキャンディスクが中断される

A

ファイルに頻繁にアクセスするプログラムが実行されている

プリンタ監視ソフトなどの常駐ソフトが起動していると、常駐ソフトが頻繁にファイルにアクセスするため、このような現象が起こることがあります。このような場合には、スキャンディスクを実行する前にこれらの常駐ソフトを終了するか、削除してください。

A

Windows 98がインストールされているドライブに対し、完全チェックを実行した

Windows 98がインストールされているドライブに対して完全チェックを行うと、「Windowsまたはほかのアプリケーションがこのドライブに書き込みを行っているため、再試行回数が10回に達しました。実行中のほかのアプリケーションを終了するとチェックが早く行われます。今後もこの警告メッセージを表示しますか?」と表示され、スキャンディスクが中断される場合があります。このメッセージが表示された場合は、実行中のほかのアプリケーションを終了して、「はい」ボタンをクリックしてください。引き続きスキャンディスクが実行されます。

Q コンピュータウイルスが検出された

A すぐにウイルスを駆除し、被害を届け出てください

パソコンがウイルスに感染していることがわかったら、すぐにウイルスを駆除し、二次感染を防ぐようにしてください。



ウイルスの感染予防と駆除 PART1の「トラブルを予防するには」の「コンピュータウイルスの侵入を防ぐ」(p.11) または「サポートセンター」・「困ったときのQ&A」・「トラブルの予防」・「コンピュータウイルスに感染しないために」

Q 日付と時刻が正しく表示されない

A 内蔵のリチウム電池が十分に充電されているかを確認してから設定してください。

このパソコンの内蔵時計はリチウム電池で動いています。内蔵のリチウム電池の充電が不十分だと、日付や時刻が正しく表示されないことがあります。日付や時刻が合っていないと、保存したファイルの時間や、電子メールを送信した日付がおかしくなったりします。

このパソコンの購入直後や、パソコンを2ヶ月以上使っていなかったときなどには、パソコンの電源を約40時間以上入れたままにしてリチウム電池を充電したあと、次の手順で日付と時刻を設定しなおしてください。

1 「コントロールパネル」を開き、「日付と時刻」アイコンをダブルクリックする

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
正しい日付と時刻を設定します。



2 設定が終了したら「OK」ボタンをクリックする

「OK」ボタンをクリックせずに画面を閉じると、設定は変更されません。

上記の方法で日付や時刻を合わせても設定が合わなくなる場合は、内蔵のリチウム電池が消耗していることが考えられます。『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧の上、NECフィールドイングの各支店、営業所などにご相談ください。

3

再セットアップ

パソコンを起動できなくなったときやシステムの構成を変えたいときなどには、パソコンを再セットアップしてください。再セットアップは、手順をよく確認してから行ってください。

再セットアップする前に

再セットアップをすると、壊れてしまったパソコンのシステムを復旧したり、システムの構成を変えたりすることができます。ただし、購入後にハードディスクに保存したファイルはすべて消えてしまいます。時間もかかる作業なので、再セットアップが必要かどうかをよく確認してからはじめてください。



メモ

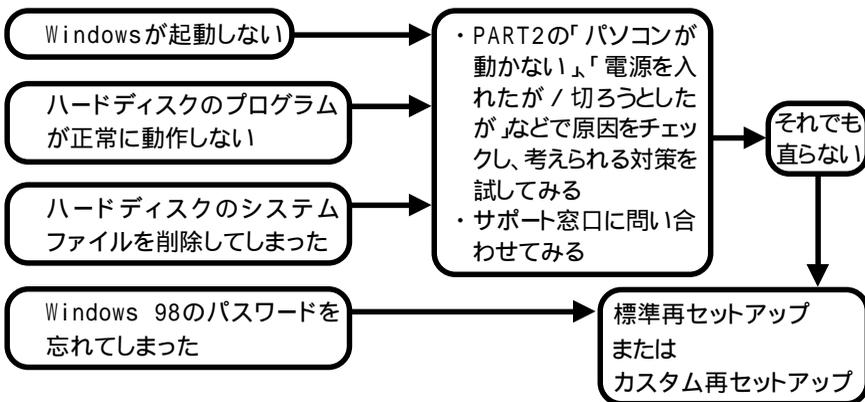
再セットアップ

添付の「バックアップCD-ROM」に入っているデータを使って、システムを購入時と同じ状態に戻す作業のことです。Windowsの再インストールも再セットアップに含まれます。

こんなときは再セットアップ

次のようなときには、パソコンの再セットアップが必要です。

トラブルが起こったとき



Windows 98の設定を変えたいとき

Windowsセットアップ時に登録した名前や会社名を変えたい
Windows 98を購入時の状態に戻したい

標準再セットアップ
または
カスタム再セットアップ

ハードディスクの構成を変えたいとき

ハードディスクを1つのパーティションにしたい

カスタム再セットアップ
・全領域を1パーティションにする

Cドライブ以外のデータを残したまま再セットアップしたい

カスタム再セットアップ
・Cドライブのみを再セットアップする

Cドライブの容量を変えたい
FAT16を利用したい

カスタム再セットアップ
・ハードディスクの領域を自由に設定する



チェック

購入時の状態では、FAT32に設定されています。他のOSを使いたいときや、FAT16でのみ動作するソフトウェアを使いたいときは、カスタム再セットアップをして基本MS-DOS領域以外の領域をFAT16に設定してください。

再セットアップの種類

再セットアップには、「標準再セットアップ」と「カスタム再セットアップ」の2種類があります。

標準再セットアップ

購入したときと同じ状態にする

ハードディスクを購入したときと同じ状態に戻します。

初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方には、この方法での再セットアップをおすすめします。

カスタム再セットアップ

全領域を1パーティションにして再セットアップする

Dドライブを作成しないですべての領域をCドライブにして再セットアップします。

Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。

Cドライブのみを再セットアップする

Cドライブの容量を変更しないで、Cドライブのみを再セットアップするときに、この方法で再セットアップします。Cドライブ以外のハードディスクのデータを残しておくことができます。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(ユーザ設定)

FDISKコマンドを使って、ハードディスクの領域を変更して再セットアップすることができます。Cドライブのハードディスク容量を変更したいときは、この方法で再セットアップします。

初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法では再セットアップしないでください。

再セットアップの準備をする

操作の流れ

再セットアップの前に、次の手順で準備をしてください。

1 データのバックアップをとる

2 パソコンの設定を控える

3 BIOSの設定を初期値に戻す

4 必要なものをそろえる

5 本体の準備をする

3

再
セ
ッ
ト
ア
ッ
プ

データのバックアップをとる

「バックアップCD-ROM」で再セットアップできるのは、購入時から入っていたソフトウェアだけです。購入後に保存したファイルや、インストールしたアプリケーションは復元されません。また、内蔵のハードディスクに保存されていたデータも消えてしまいます。パソコン購入後に作成した大切なデータは、必ずMOやフロッピーディスクなどにバックアップしてください。

このパソコンには、データのバックアップと復元に便利な「バックアップ-NX」というアプリケーションがあります。「バックアップ-NX」を使うと、このパソコンに添付されているアプリケーションで作成したデータのバックアップが簡単に行えます。また、購入して追加したアプリケーションで作成したデータのバックアップをとることもできます。



参照

バックアップ-NXについて 「サポートセンタ」、「添付ソフトの使い方」、「バックアップ-NX」

パソコンの使用環境の設定を控える

再セットアップすると、インターネットやBIOSセットアップメニューなどの設定は、すべて初期値に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

インターネットの設定を控える

再セットアップしても、インターネットのIDなどは有効です。必ず書き留めて、再セットアップ後に設定しなおしてください。インターネットの接続に必要な情報のうち、アクセスポイント以外の情報は会員証に記載されています。プロバイダの会員証があるときは、会員証を用意してください。プロバイダに入会したばかりでまだ会員証が手元に届いていないときなどには、『使っておぼえるパソコンの基本』の「付録 BIGLOBE入会案内」を参考にして、次の項目をメモしておいてください。

- ・ ユーザID
- ・ 仮パスワード、または正式パスワード
- ・ 電子メールアドレス
- ・ メールパスワード
- ・ プライマリDNS
- ・ セカンダリDNS
- ・ インターネットメールサーバ
- ・ ニュースサーバ
- ・ 設定したアクセスポイントの電話番号



メモ

「インターネット接続のバックアップ」を使うと、インターネットに関する情報のバックアップをとることができます。詳しくは、「サポートセンタ」、「添付ソフトの使い方」、「インターネット接続のバックアップ」をご覧ください。

また、BIGLOBE会員の方は、「スタート」ボタン 「プログラム」 「BIGLOBE ツール」 「インターネット接続ツール」の「BIGLOBEかんたん設定ナビ」で「接続環境のバックアップと再設定」を実行し、インターネット接続に必要な情報をフロッピーディスク等にバックアップすることもできます。

なお、受信したメールや「お気に入り」に登録したURLは、再セットアップを行うと消えてしまいます。これらのデータをとっておきたい場合には、メールやURLファイルのバックアップをとっておいてください。

BIOSセットアップメニューの設定を控える

BIOSセットアップメニューを起動して、現在の設定を控えてください。



メモ

再セットアップしても、パスワードの設定は有効です。

BIOSの設定を初期値に戻す



メモ

BIOSの設定を初期値に戻しても、パスワードの設定は解除されません。

- 1 パソコンの電源を入れる
「NEC」のロゴが表示されます。
- 2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐに【F2】を押す
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 3 【**↑**】を押して「デフォルト値をロード」を選ぶ
- 4 【Enter】を押す
「すべての設定項目にデフォルト値を書き込みますか? はい いいえ」と表示されます。
- 5 「はい」を選ぶ
- 6 【Enter】を押す
セットアップ確認の画面が表示されます。
- 7 【**↓**】を押して「変更を保存して終了」を選ぶか、【F10】を押す
- 8 【Enter】を押す
「現在の状態を保存して設定を終了しますか? はい いいえ」と表示されます。
- 9 「はい」を選ぶ
- 10 【Enter】を押す
これでBIOSの設定が初期値に戻りました。

必要なものをそろえる

再セットアップの作業に入る前に、このパソコンに添付されている次のCD-ROM、フロッピーディスク、マニュアルを準備してください。

- ・「バックアップCD-ROM」
- ・「システムインストールディスク」
- ・Office 2000モデルは、「Office 2000 Personal」CD-ROM
- ・一太郎モデルは、「一太郎10・花子10パック」CD-ROM



メモ

- ・モデルによっては、添付されているフロッピーディスクの枚数が異なります。添付されているすべてのフロッピーディスクを用意してください。
- ・パソコン購入後に自分でインストールしたアプリケーションを再セットアップ後にも使いたい場合は、そのアプリケーションのインストール用のディスクを準備してください。

本体の準備をする

パソコンの電源を切る

スタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)になっている場合には、一度データをバックアップし、電源を切ってください。

CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブを取り付ける

LaVie Mでは、パソコンにCD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブを取り付け、CD-ROMとフロッピーディスクを使えるようにしておいてください。

周辺機器を取り外す

CD-ROMドライブ(またはCD-R/RWドライブ / DVD-ROMドライブ)とフロッピーディスクドライブ以外の周辺機器を取り外してください。

ACアダプタを接続する

バッテリー駆動では再セットアップすることはできません。必ずACアダプタを接続しておいてください。

再セットアップ時の注意



メモ

再セットアップの途中で警告音が鳴る場合がありますが、故障ではありません。

手順どおりに行う

必ずマニュアルの手順どおりに操作してください。手順を省略したりすると、正しく再セットアップすることができません。

途中でやめない

再セットアップは途中でやめないでください。途中でやめてしまったときは、もう一度最初からやり直してください。

CD-R/RWモデルやDVD-ROMモデルをご使用の方へ

これ以降の本文中では、CD-ROMドライブを使用した場合の説明を記載しています。本文中の「CD-ROMドライブ」の部分で「CD-R/RWドライブ」または「DVD-ROMドライブ」に読み替えてください。

再セットアップ時にインストールされないアプリケーションについて

再セットアップを行うと、ご購入時にインストールされていた下記のアプリケーションはインストールされません。

- ・ Video Studio(Video Studio添付モデルのみ)
- ・ Easy CD Creator/DirectCD(CD-R/RWモデルのみ)

「アプリケーションの追加と削除」をご覧ください。添付のCD-ROMからインストールを行ってください。

購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)

操作の流れ

1 システムを再セットアップする

2 Windows 98の設定をする

3 アプリケーションを再セットアップする

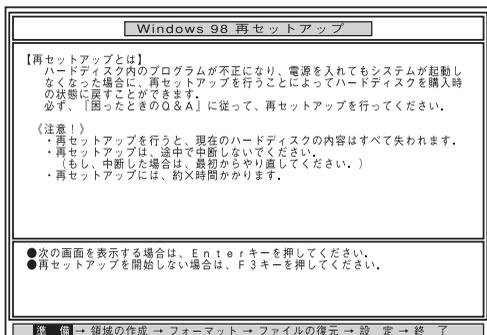
Office 2000モデルの場合は、「Office 2000 Personal」を再セットアップする
一太郎モデルの場合は、「一太郎10パック」を再セットアップする

4 各種の設定をする

1 システムを再セットアップする

1 パソコンの電源を入れる

2 電源ランプ(①)が点灯したら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
次の画面が表示されます。



メモ

- ・「システムインストールディスク(起動用)」のセットが違い、この画面が表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。
- ・「Invalid system disk...」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットしなおして、【Enter】などのキーを押してください。

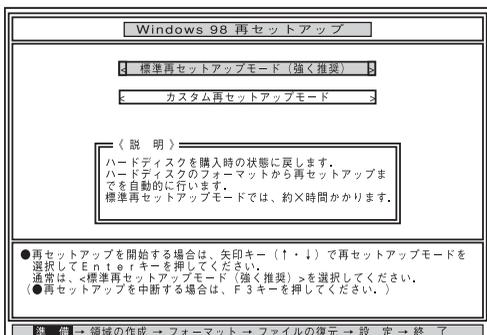
3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4 【Enter】を押す

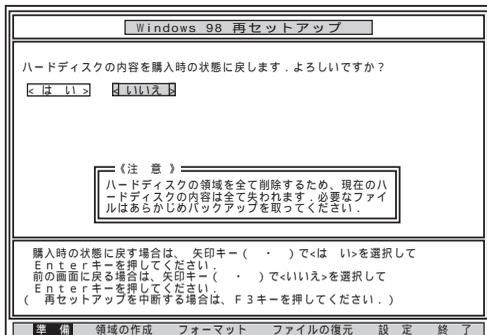
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 【Enter】を押す

次の画面が表示されます。



- 6 「標準再セットアップモード(強く推奨)」が黄色になっていることを確認し、そのまま【Enter】を押す
「標準再セットアップモード(強く推奨)」が黄色になっていないときは、【 】を押して黄色にしてから【Enter】を押してください。
次の画面が表示されます。



④ チェック

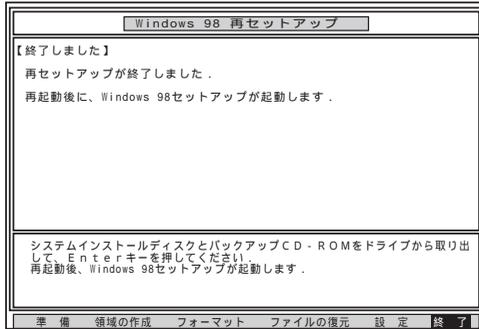
バックアップ-NXを使ってDドライブにデータをバックアップした場合、ここで「はい」を選択するとバックアップしたデータが消えてしまいます。Dドライブにバックアップしたデータがある場合は、「いいえ」を選択して一度再セットアップを中止し、「Dドライブのみを再セットアップする」(p.113)の手順で再セットアップしてください。

- 7 【 】を押して「はい」を黄色にする

- 8 【Enter】を押す

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップがはじまります。途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるようメッセージが表示されたら、指示にしたがってフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えてください。

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



④ チェック

この画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。はじめからやり直してください。

9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

11 【Enter】を押す

システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98 へようこそ」の画面が表示されます。

④ チェック

- ・「今すぐ再起動しますか?」の画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。
- ・「ネットワークパスワード入力」画面が表示された場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

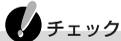




機種によっては、再起動直後にメッセージが表示されますが、故障ではありません。Windows 98のセットアップが完了すると表示されなくなります。

2 Windows 98の設定をする

1 このパソコンを使う人の名前を入力する

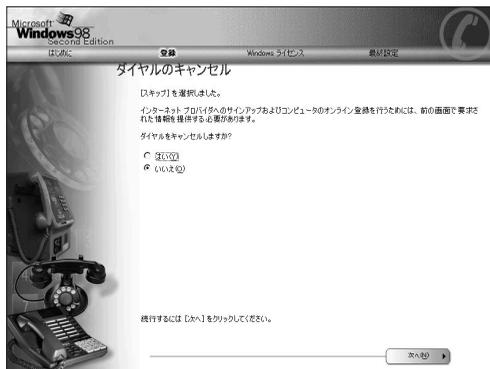


- ・名前を入力しないと、Windows 98の設定を完了できません。
- ・ふりがなの入力省略することができます。
- ・ここで入力した名前、ふりがなを変えたい場合は、再セットアップが必要になります。

2 入力が終わったら「次へ」ボタンをクリックする 次の画面が表示されます。



3 「スキップ」ボタンをクリックする 次の画面が表示されます。



4 「はい」を⓪にし、「次へ」ボタンをクリックする 次の画面が表示されます。



5 「使用許諾契約書」の内容を確認する ▼をクリックする、または【PgDn】を押すと続きを読むことができます

6 「同意する」を⓪にし、「次へ」ボタンをクリックする



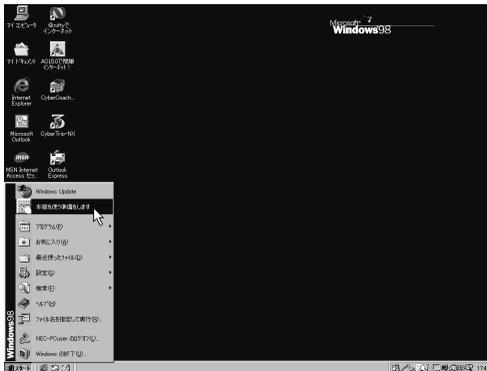
「同意しない」をクリックすると、再セットアップが中止されるメッセージが表示されます。中止したときは、もう一度最初から再セットアップしなおしてください。

次の画面が表示されます。



7 「完了」ボタンをクリックする
しばらくするとWindowsが起動します。

8 「スタート」ボタン 「本機を使う準備をします」をクリックする



モデルにより画面が異なります

「本機を使う準備をしています。」と表示されたあと、次の画面が表示されます。



9 「OK」をクリックする
パソコンが自動的に再起動します。

なお、「NECオンラインお客様登録」アイコンを削除したい場合は、次の「「NECお客様登録」アイコンを削除する」の手順を行ってください。

「NECお客様登録」アイコンを削除する

- 1 デスクトップ画面の「NECお客様登録」アイコンの「登録」をクリックする
- 2 「NECオンラインお客様登録」画面の下の方にあるをクリックしてにして、「次へ」ボタンをクリックする

この後は、表示される画面にしたがって操作してください。



もう一度「NECオンラインお客様登録」アイコンを表示するには、再セットアップを行う必要があります。

以降は、ご使用のモデルにより手順が異なります

- ・ Office 2000モデル 「Office 2000モデルの再セットアップ」(p.101)へ
- ・ 一太郎モデル 「一太郎モデルの再セットアップ」(p.105)へ

3 アプリケーションを再セットアップする

Office 2000モデルの再セットアップ

この作業は、Office 2000モデルにのみ必要です。

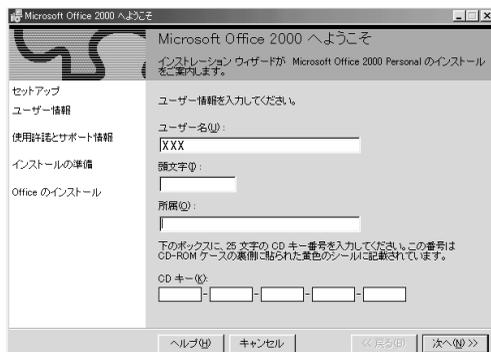
- ・ Office 2000 Personalを再セットアップする
- ・ MS-IME 2000を再セットアップする
- ・ IMEツールバーを削除する



Office 2000 Personalを再セットアップした場合、「スタート」メニューに登録される場所は購入時と異なります。

Office 2000 Personalを再セットアップする

- 1 「Office 2000 Personal」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
自動的にセットアッププログラムが起動して、しばらくすると次の画面が表示されます。「画面が表示されない場合は、「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、「CD-ROM」アイコンをダブルクリックしてください。

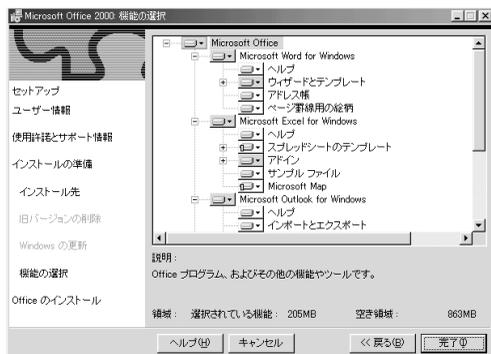


メモ

ここではユーザー情報の登録は行いません。ユーザー情報の登録は、Office 2000 Personalのセットアップ終了後、Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000のいずれかを始めて起動した時に行います。

- 2 「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft Office 2000 使用許諾とサポート情報」が表示されます。
- 3 内容を確認して、「使用許諾契約書」の条項に同意します」を☑にし、「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft Office 2000 インストールの準備」の画面が表示されます。
- 4  (カスタマイズ) をクリックする
「Microsoft Office 2000インストール先」の画面が表示されます。
- 5 インストール先が「C:¥Program Files¥Microsoft Office¥」と表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックする

「Microsoft Office 2000:機能の選択」の画面が表示されます。



3

再
セ
ッ
ト
ア
ッ
プ

6 「Microsoft Office」の左側に表示されているアイコン  をクリックし、表示されたメニューから「マイコンピュータからすべて実行」をクリックする灰色で表示されたアイコンがないことを確認してください。

7 「完了」ボタンをクリックする
インストールが始まります。

8 「インストーラ情報」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
パソコンが再起動します。

続いて、MS-IME2000の再セットアップを行います。

MS-IME2000を再セットアップする

1 「IMEのセットアップ」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
しばらくすると次の画面が表示されます。



- 2 「次へ」ボタンをクリックする
使用許諾に関する画面が表示されます。
- 3 内容を確認して「使用許諾契約書」に同意します」を☉にし、「次へ」ボタンをクリックする
「ユーザー情報の登録」の画面が表示されます。
- 4 表示されているユーザー情報を確認し、「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft IME2000 インストールの準備が整いました」と表示されます。
- 5 「標準」が選択されているのを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
「インストールしますか?」と表示されます。
- 6 「インストール」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
しばらくすると、「セットアップが完了しました。」と表示されます。
- 7 「OK」ボタンをクリックする
再起動を促すメッセージが表示されます。
- 8 「はい」ボタンをクリックする
パソコンが再起動し、「Microsoft IME2000 へのユーザー情報の登録」の画面が表示されます。
- 9 内容を確認し、「OK」ボタンまたは「登録しない」ボタンをクリックする
「Microsoft IME2000 日本語入力システム」が表示されます。
- 10 画面右上のをクリックし、プログラムを終了する
- 11 「Office 2000 Personal」CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す
- 12 パソコンを再起動する
以上でMS-IME2000の再セットアップは完了です。

「IMEツールバー」を非表示にする

- 1 「IMEツールバー」の  をクリックする
- 2 「MS-IME2000のプロパティ」が表示されたら「ツールバー」タブをクリックする
- 3 「IMEツールバーの表示方法」で「直接入力のとときにIMEツールバーを隠す」をチェックして、「OK」ボタンをクリックする

スタートアップに登録されているショートカットを削除する

- 1 「スタート」ボタン「設定」「タスクバーと[スタート]メニュー」をクリックする
- 2 「タスクバーのプロパティ」画面で「[スタート]メニューの設定」タブをクリックする
- 3 「削除」ボタンをクリックする
- 4 「スタートアップ」をダブルクリックし、「Microsoft Office」をクリックし「削除」ボタンをクリックする
- 5 「閉じる」をクリックする
- 6 「タスクバーのプロパティ」画面で「OK」をクリックする

次に「4 各種の設定をする」(p.109)に進んでください。

一太郎モデルの再セットアップ

この作業は一太郎モデルにのみ必要です。

- ・一太郎10パックをセットアップする
- ・ショートカットやATOKパレットを削除する



メモ

- ・一太郎10パックをセットアップした場合、「スタート」メニューに登録される場所は、購入時と異なります。
- ・Voice機能はSmartVoice添付モデルでご利用になれます。

一太郎10パックをセットアップする

- 1 CD-ROMドライブに「一太郎10・花子10パック」CD-ROMをセットする
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。
自動表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。
- 2 「一太郎10・花子10パックのセットアップ」をクリックする
「Voice一太郎10・花子10パックのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

3 「セットアップ開始」をクリックする



- ・「使用許諾契約の確認」の画面が表示された場合は、「確認」ボタンをクリックしてください。
- ・「更新の確認」が表示された場合は、「セットアップ続行」をクリックしてください。

「Voice一太郎10・花子10パックのセットアップ開始」ウィンドウが表示されます。

4 「次へ」ボタンをクリックする

「使用者名・法人名の登録」画面が表示されます。
法人名は省略することができます。

5 「次へ」ボタンをクリックする

「シリアルナンバー・User IDの登録」画面が表示されます。

6 J-Sheetをご覧のうえ、必要項目を入力して「次へ」ボタンをクリックする



User IDはユーザ登録後に入手できます。詳しくは「一太郎10・花子10パック」に添付のマニュアルをご覧ください。

「使用者名・シリアルナンバーの確認」の画面が表示されます。

7 「登録する」をクリックする

「セットアップ方法の選択」画面が表示されます。

8 「標準」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

「標準モードでセットアップすると…」と表示されます。

9 「次へ」ボタンをクリックする

「セットアップするフォルダの設定」画面が表示されます。

10 セットアップ先のフォルダを確認し、「次へ」ボタンをクリックする

空き容量がチェックされたあと、「ファイルのコピーを開始します」と表示されます。



Cドライブの残り領域が少ない場合、セットアップするフォルダとして自動的に「D: ¥JUST」が選択されている場合があります。その場合は、そのままDドライブにインストールすることをおすすめします。

- 11** 「コピー開始」をクリックする
一太郎10パックのインストールが始まります。
しばらくすると「インターネット接続方法の選択」画面が表示されます。
- 12** お使いの環境にあわせて「はい」または「いいえ」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
「ユーザー登録のご案内」の画面が表示されます。
- 13** 「確認」をクリックする
- 14** 再起動を促すメッセージが表示されたら「再起動」をクリックする
ここで「一太郎10・花子10パック」の画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。



メモ

「再起動」ボタンをクリックしたあと、MS-IME98を通常使用する言語に設定するかどうかを確認するメッセージが表示される場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

Windowsが再起動し、「ATOK13 環境移行支援ツール」ウィンドウが表示されます。このあとは、画面の指示にしたがって操作してください。ご購入時の状態に戻すには「終了」をクリックしてください。

ショートカットを削除する / ATOKパレットを非表示にする

一太郎10パックを購入時と同じ状態にするには、一太郎10パックをインストールした後、さらに次の設定が必要です。必要に応じて、設定の変更を行ってください。

- ・デスクトップにある「一太郎10」_Ⓜ「花子10」_Ⓜ「花子フォトタッチ2」_Ⓜ「三四郎9」_Ⓜ「Shuriken 2.1」_Ⓜ「Sasuke 2.0」_Ⓜ「JSユーザー登録」_Ⓜ「JustNet一発接続セットアップ」のショートカットを削除する
- ・クイック起動バーのクイック起動のショートカットを削除する
- ・ATOKパレットを非表示にする
- ・スタートアップに登録されているショートカットを削除する

デスクトップにある「一太郎10」のショートカットを削除する

- 1** デスクトップの「一太郎10」のショートカットを右クリックする
- 2** 表示されたメニューから「削除」をクリックする
- 3** 「ファイルの削除の確認」で、「はい」をクリックする
- 4** 1～3と同様の手順で「花子10」_Ⓜ「花子フォトタッチ2」_Ⓜ「三四郎9」_Ⓜ「Shuriken 2.1」_Ⓜ「Sasuke 2.0」_Ⓜ「JSユーザー登録」_Ⓜ「JustNet一発接続セットアップ」のショートカットを削除する

クイック起動バーのクイック起動のショートカットを削除する

- 1 クイック起動バー上の「一太郎10」のショートカットを右クリックする
- 2 表示されたメニューから「削除」をクリックする
- 3 「ファイルの削除の確認」で「はい」をクリックする
- 4 1～3と同様の手順で「花子10」、「花子フォトタッチ2」、「三四郎9」、「Shuriken 2.1」、「Sasuke 2.0」のショートカットを削除する

「ATOKパレット」を非表示にする

- 1 「ATOKパレット」のをクリックする
- 2 表示されたメニューから「プロパティ」をクリックする
- 3 「ATOK13プロパティ」画面で「パレット」タブをクリックする
- 4 「日本語入力-オフで表示」の項目を「しない」に変更し、「OK」ボタンをクリックする

スタートアップに登録されているショートカットを削除する

- 1 「スタート」ボタン「設定」「タスクバーとスタート」メニューをクリックする
- 2 「タスクバーのプロパティ」画面で「スタート」メニューの設定」タブをクリックする
- 3 「削除」ボタンをクリックする
- 4 「スタートアップ」をダブルクリックし、「JSクイックサーチファイル自動更新」をクリックし「削除」ボタンをクリックする
- 5 「JSクイックランチ」をクリックし「削除」ボタンをクリックする
- 6 「閉じる」をクリックする
- 7 「タスクバーのプロパティ」画面で「OK」をクリックする

次の「4 各種の設定をする」に進んでください。

4 各種の設定をする

機器を取り付けて設定する

再セットアップ前に取り外した周辺機器を元どおりに取り付け、機器の設定を行ってください。



参照

周辺機器を設定する 『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」

パソコンの設定を元に戻す

購入後に設定した内容はすべて購入時の状態に戻っています。インターネットやBIOSなどのパソコンの設定をお使いの環境に合わせて設定し直してください。



メモ

- ・再セットアップ前にユーザパスワードやスーパーバイザパスワードが設定されていた場合は、その設定が引き続き有効になっています。新たに設定しなおす必要はありません。
- ・プロバイダに加入している場合、すでに取得しているIDやパスワードをそのまま使うことができます。新たにサインアップをやり直す必要はありません。

別売のアプリケーションをインストールしなおす

パソコン購入後にインストールしたアプリケーションは再セットアップ後には消去されています。インストールしなおしてください。

全領域を1パーティションにして再セットアップする(カスタム再セットアップ)

操作の流れ

1 システムを再セットアップする

2 Windows 98の設定をする

3 アプリケーションを再セットアップする

Office 2000モデルの場合、「Office 2000 Personal」を再セットアップする
一太郎モデルの場合、「一太郎10パック」を再セットアップする

4 各種の設定をする

1 システムを再セットアップする

1 パソコンの電源を入れる

2 電源ランプ (①) が点灯したら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
「再セットアップとは」の画面が表示されます。



- ・「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切ってから、もう一度手順1からやり直してください。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。「再セットアップとは」の画面で確認してください。

3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4 【Enter】を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 【Enter】を押す

再セットアップのモードを選ぶ画面が表示されます。

6 【】を1回押して、「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら

【Enter】を押す

カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。



メモ

カスタム再セットアップを中断して標準再セットアップを行うときは、【F3】を押し、画面のメッセージにしたがって最初からやり直してください。

7 「全領域を1パーティションにして再セットアップ」が黄色になっていることを

を確認し、そのまま【Enter】を押す

「ハードディスクの領域を下記のように設定し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。

8 【】を1回押して、「はい」が黄色になったら【Enter】を押す

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップがはじまります。

途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるようメッセージが表示されたら、指示にしたがってフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えてください。システムの再セットアップまで終わると「終了しました」の画面が表示されます。



チェック

この画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。初めからやり直してください。

9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

LaVie Mの場合は、外付けのフロッピーディスクドライブを取り外してください。

10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

11 【Enter】を押す

システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」の画面が表示されます。



メモ

モデルによっては、再起動後にメッセージが表示されますが、故障ではありません。Windows 98のセットアップが完了すると表示されなくなります。

2 Windows 98の設定をする

p.98の手順にしたがってWindows 98の設定をしてください。

3 アプリケーションを再セットアップする

Office 2000モデルの場合は、p.101の手順にしたがって「Office 2000 Personal」を再セットアップしてください。

一太郎モデルの場合は、p.105の手順にしたがって「一太郎10パック」を再セットアップしてください。

4 各種の設定をする

p.109の手順にしたがって設定をしてください。

Cドライブのみを再セットアップする (カスタム再セットアップ)

操作の流れ

1 システムを再セットアップする

2 Windows 98の設定をする

3 アプリケーションを再セットアップする

Office 2000モデルの場合、「Office 2000 Personal」を再セットアップする
一太郎モデルの場合、「一太郎10パック」を再セットアップする

4 各種の設定をする

チェック

Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションの再インストールが必要な場合があります。アプリケーションがうまく動作しなくなった場合には、再セットアップ後にアプリケーションをインストールしなおしてください。

1 システムを再セットアップする

1 パソコンの電源を入れる

2 電源ランプ(①)が点灯したら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
「再セットアップとは」の画面が表示されます。



メモ

- ・「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切ってから、もう一度手順1からやり直してください。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。「再セットアップとは」の画面で確認してください。

3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4 【Enter】を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 【Enter】を押す

再セットアップのモードを選ぶ画面が表示されます。

6 【】を1回押して、「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら

【Enter】を押す

カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。



メモ

カスタム再セットアップを中断して標準再セットアップを行うときは、【F3】を押し、画面のメッセージにしたがって最初からやり直してください。

7 【】を1回押して、「Cドライブのみ再セットアップ」が黄色になったら

【Enter】を押す

「Cドライブの内容を消去し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。

8 【】を1回押して、「はい」が黄色になったら【Enter】を押す

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップがはじまります。

途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるようメッセージが表示されたら、指示にしたがってフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えてください。

システムの再セットアップが終わると「終了しました」の画面が表示されます。



チェック

この画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。初めからやり直してください。

9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

LaVie Mの場合は、外付けのフロッピーディスクドライブを取り外してください。

10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

11 【Enter】を押す

システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」の画面が表示されます。



メモ

機種によっては、再起動直後にメッセージが表示されますが、故障ではありません。Windows 98のセットアップが完了すると表示されなくなります。

2 Windows 98の設定をする

p.98の順にしたがってWindows 98の設定をしてください。

3 アプリケーションを再セットアップする

Office 2000モデルの場合は、p.101の順にしたがって「Office 2000 Personal」を再セットアップしてください。

一太郎モデルの場合は、p.105の順にしたがって「一太郎10パック」を再セットアップしてください。

4 各種の設定をする

p.109の順にしたがって設定をしてください。

ハードディスクの領域を自由に設定する (カスタム再セットアップ)

操作の流れ

1 領域を削除する

論理MS-DOSドライブを削除する
拡張MS-DOS領域を削除する
基本MS-DOS領域を削除する

2 新しい領域を作成する

基本MS-DOS領域を作成する
拡張MS-DOS領域を作成する
論理MS-DOSドライブを作成する

3 ドライブを初期化(フォーマット)する

4 システムを再セットアップする

5 Windows 98の設定をする

6 アプリケーションを再セットアップする

Office 2000モデルの場合、「Office 2000 Personal」を再セットアップする
一太郎モデルの場合、「一太郎10パック」を再セットアップする

7 ハードディスクを5つ以上に分割した場合

8 各種の設定をする

基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域

カスタム再セットアップでは、カスタム再セットアップの画面からFDISKというコマンドを実行して、まずハードディスクの領域を削除し、あらたに領域を作り直します。ハードディスクを基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域に分け、さらに、拡張MS-DOS領域を論理MS-DOSドライブに分けます。このうち、基本MS-DOS領域がCドライブ(Windows 98を起動するドライブ)になり、論理MS-DOSドライブがDドライブ以降のドライブになります。



メモ

・基本MS-DOS領域

システムを起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、ここにWindows 98をインストールします。1つのハードディスクに1つしか作成できません。

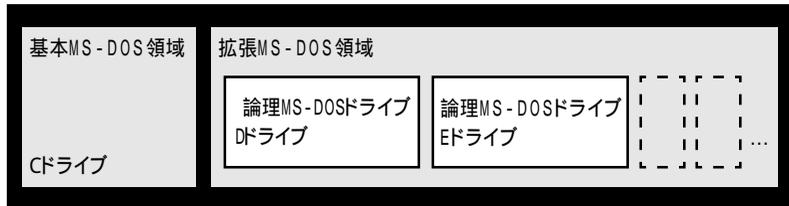
・拡張MS-DOS領域

基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここからシステムを起動することはできません。1つのハードディスクに1つしか作成できません。この中に論理MS-DOSドライブ(Dドライブ以降のドライブ)を割り当てます。

・論理MS-DOSドライブ

拡張MS-DOS領域の中に作ります。Dドライブ以降の複数のドライブを作成することができます。

ハードディスクの領域



領域を削除するときは、論理MS-DOSドライブ 拡張MS-DOS領域 基本MS-DOS領域の順に削除してください。領域を作成するときは、基本MS-DOS領域 拡張MS-DOS領域 論理MS-DOSドライブの順に作成してください。領域を作成したあと、カスタム再セットアップの画面からFORMATコマンドを実行し、それぞれのドライブをフォーマットします。



メモ

ハードディスクのボリュームラベルが全角文字または半角カタカナで入力されているときは、領域の削除ができません。「マイコンピュータ」でハードディスクのアイコンを右クリックして「プロパティ」で半角英数字を入力しなおすか、ボリュームラベルを削除してください。

FAT32ファイルシステムとFAT16ファイルシステム

このパソコンは、購入時、ハードディスク全容量の75%がCDドライブ、残りの25%がDドライブに割り当てられており、次のように領域が作成されています。

例)ハードディスクの全容量が「12Gバイト」の場合

CDドライブ...約9Gバイト(FAT32)

Dドライブ...約3Gバイト(FAT32)

ハードディスクの管理方法には、FAT32ファイルシステムとFAT16ファイルシステムの2種類があります。

Windows 98ではどちらでも利用できますが、FAT16ファイルシステムのハードディスクの最大領域は2,047Mバイトまでですので、このパソコンでは、基本MS-DOS領域をFAT16にしてご購入時の状態に再セットアップすることはできません。



メモ

- ・FAT16で領域確保するとき「2,047Mバイト」と入力すると、実際に領域確保されるサイズが「2,052Mバイト」などの値になり、FAT16では領域確保できない場合があります。その場合には、2,045Mバイトなど2,047Mバイトより小さい値を入力してください。
- ・CDドライブ以外のドライブに「一太郎10パック」や「Office 2000 Personal」をインストールした場合は、ランチ-NXに自動登録されません。ランチ-NXに登録する場合は、「サポートセンター」「パソコンを使いこなそう」「添付ソフトの使い方」「ランチ-NX」をご覧ください。



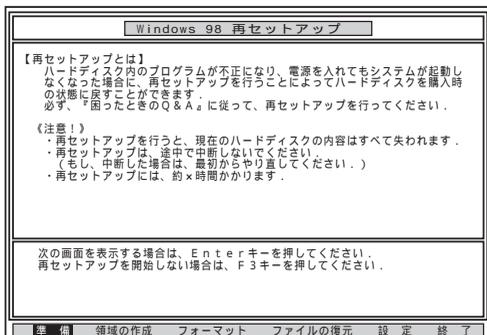
参照

FAT32とFAT16について 『もっと知りたいパソコン』PART1の「ハードディスク」

1 領域を削除する

1 パソコンの電源を入れる

2 電源ランプ(🔌)が点灯したら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
次の画面が表示されます。



メモ

- ・「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切ってもう一度手順1からやり直してください。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。「再セットアップ」とは、この画面で確認してください。

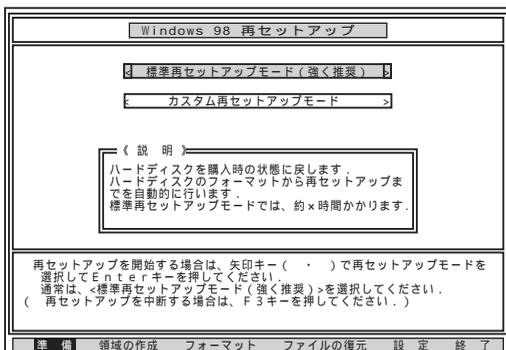
3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4 【Enter】を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

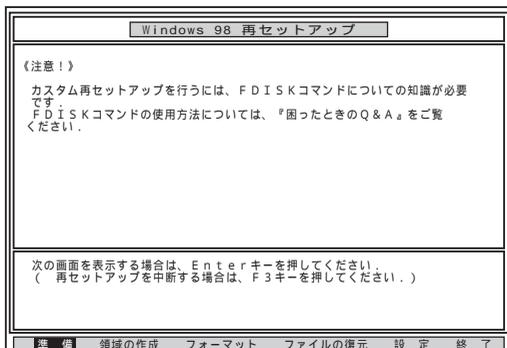
5 【Enter】を押す

次の画面が表示されます。



6【**F3**】を1回押して「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら、**【Enter】**を押す
カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。

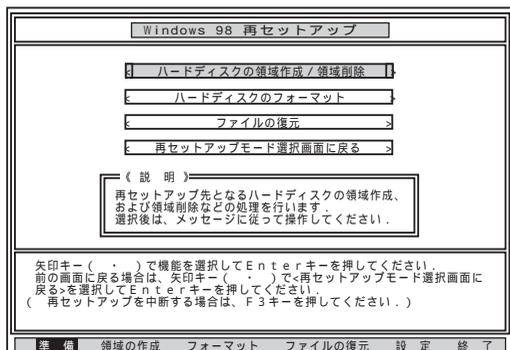
7【**F3**】を2回押して「ユーザ設定」が黄色になったら**【Enter】**を押す
「注意!」の画面が表示されます。



メモ

カスタム再セットアップを中断して、標準再セットアップを行うときは、**【F3】**を押して、画面のメッセージにしたがって最初からやり直してください。

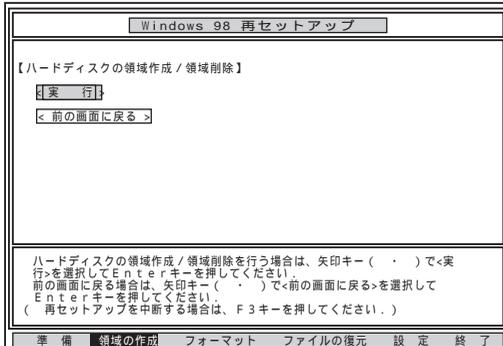
8**【Enter】**を押す
次の画面が表示されます。



9 「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」が黄色になっていることを確認し、【Enter】を押す

「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」が黄色になっていないときは、【>】を押して、黄色にしてから【Enter】を押してください。

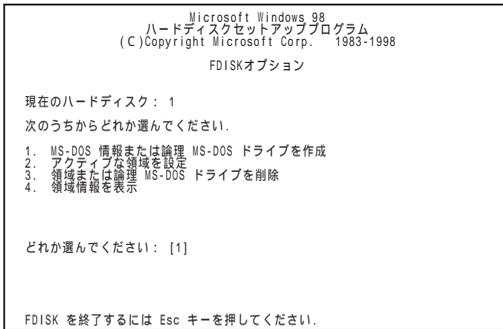
「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」画面が表示されます。



10 「実行」が黄色になっていることを確認し、【Enter】を押す

「実行」が黄色になっていないときは、【>】を押して、黄色にしてから【Enter】を押してください。

「FDISKオプション」の画面が表示されます。



ハードディスクに基本MS-DOS領域しかないときは、「基本MS-DOS領域を削除する」(p.123)へ進んでください。論理MS-DOSドライブおよび拡張MS-DOS領域があるときは、「論理MS-DOSドライブを削除する」(p.122)へ進んでください。

論理MS-DOSドライブを削除する

- 11 「FDISKオプション」の画面で、【3】領域または論理 MS-DOS ドライブを削除)を押して、【Enter】を押す
- 12 【3】拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブを削除)を押して、【Enter】を押す
ドライブ一覧とともに、「どのドライブを削除しますか」と表示されます。
- 13 削除するドライブを選び(Dドライブの場合は【D】を押す)【Enter】を押す
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。
- 14 削除する領域にボリュームラベル(ドライブの名前)がつけられているときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】を押す
削除する領域にボリュームラベルがつけられていないときは、そのまま【Enter】を押します。
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。
- 15 【Y】を押して【Enter】を押す
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました」と表示されます。
- 16 残りのドライブがある場合は、同様に13～15の手順ですべて削除する
すべてのドライブが削除されると「拡張 MS-DOS 領域の論理ドライブはすべて削除されました」と表示されます。
- 17 【Esc】を押す
「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除されました」と表示されます。
- 18 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

拡張MS-DOS領域を削除する

- 19 「FDISKオプション」の画面で、【3】領域または論理 MS-DOS ドライブを削除)を押して、【Enter】を押す
- 20 【2】拡張 MS-DOS 領域を削除)を押して、【Enter】を押す
「削除した拡張 MS-DOS 領域のデータはなくなります。続けますか(Y/N)」と表示されます。

21 【Y】を押して【Enter】を押す
「拡張 MS-DOS 領域を削除しました」と表示されます。

22 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

基本MS-DOS領域を削除する

23 「FDISKオプション」の画面で、【3】領域または論理 MS-DOS ドライブを削除)を押して、【Enter】を押す

24 【1】基本 MS-DOS 領域を削除)を押して、【Enter】を押す
現在のハードディスクの状態とともに、「削除した基本 MS-DOS 領域のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示されます。

25 【1】を押して、【Enter】を押す
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

26 「WINDOWS98」と入力して【Enter】を押す
別のボリュームラベルがつけられているときはその名前を入力します。ボリュームラベルがつけられていないときは、何も入力せずにそのまま【Enter】を押します。
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。

27 【Y】を押して【Enter】を押す
「基本 MS-DOS 領域を削除しました」と表示されます。

28 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次の「2 新しい領域を作成する」(p.124)に進んでください。

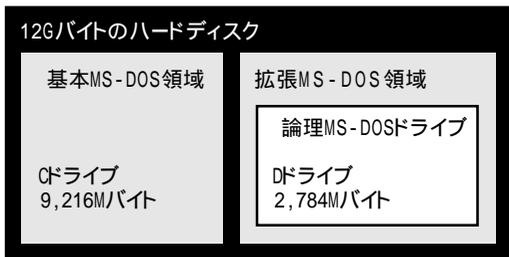
2 新しい領域を作成する

削除した領域の容量を合計した範囲のなかで、新しい領域を分けます。

[例] ハードディスクの容量が12Gバイトある場合

領域の分け方の例(1)

基本MS-DOS領域を9,216Mバイトにして、残りの拡張MS-DOS領域をすべて論理MS-DOSドライブにする



領域の分け方の例(2)

12Gバイトのハードディスクで、基本MS-DOS領域を9,216Mバイトにして、残りの拡張MS-DOS領域を1,500Mバイト、1,000Mバイトの論理MS-DOSドライブにする



メモ

確保される領域は、入力した領域のサイズより大きくなる場合があります。

基本MS-DOS領域を作成する



チェック

カスタム再セットアップでは、基本MS-DOS領域(Cドライブ)にWindows 98のシステムやアプリケーションがインストールされます。領域のサイズを指定して作成するときには、「2,260Mバイト + 本機に搭載されているメモリ容量」よりも大きい値を指定してください。

1 「FDISKオプション」の画面で、【1】MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成)を押して、【Enter】を押す
「どれか選んでください」と表示されます。

2 【1】基本 MS-DOS 領域を作成)を押して、【Enter】を押す
ドライブのチェックが始まります。
チェックが終わると「基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てま
すか(同時にその領域をアクティブにします) Y/N)」と表示されます。

基本MS-DOS領域を最大サイズの領域にするかどうかでこのあとの手順が違
います。それぞれ該当する部分をお読みください。

- ・最大サイズの領域にする場合
次の「基本MS-DOS領域に最大サイズを割り当てる場合」に進んでください。
- ・最大ではないサイズを指定する
「サイズを指定して基本MS-DOS領域を作成する場合」に進んでください。

基本MS-DOS領域に最大サイズを割り当てる場合

1 【Y】になっていることを確認して、【Enter】を押す
ドライブのチェックが始まります。
チェックが終わると「ドライブのサイズが2,048MB以上あります。このドライブは
FAT32です。」と表示されます。

2 【Esc】を押す
「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください」と表示されます。

3 【Esc】を押す
「拡張MS-DOS領域が作成されていません。拡張MS-DOS領域を作成しま
すか?」と表示されたときは、【N】を1回押して「いいえ」を選んで【Enter】を押して
ください。

4 「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示された場合は、
【Enter】を押す
パソコンが再起動します。

これで基本MS-DOS領域の作成が完了しました。

p.129の「3 ドライブを初期化(フォーマット)する」に進んでください。

サイズを指定して基本MS-DOS領域を作成する場合

1 【N】を押して、【Enter】を押す
ドライブのチェックが始まります。
チェックが終わると「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力し
てください。基本 MS-DOS 領域を作ります」と表示されます。

2 必要な空き容量(p.124)以上の数値を入力する

3 【Enter】を押す

「ドライブのサイズが2,048MB以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示されます。

4 【Esc】を押します。

自動的にFAT32に設定されます。



メモ

FAT32にする場合は、『もっと知りたいパソコン』のPART1の「ハードディスク」の「FAT32ファイルシステムを使用するときの注意」をご覧ください。内容をよく確認しておいてください。

「基本 MS-DOS 領域を作成しました」と表示されます。

5 【Esc】を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

6 【2】アクティブな領域を設定 を押し、【Enter】を押す

「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されます。

7 【1】を押して、【Enter】を押す

「領域1がアクティブになりました」と表示されます。

8 【Esc】を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

拡張MS-DOS領域を作成する

1 【1】MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成 を押し、【Enter】を押す

2 【2】拡張 MS-DOS 領域を作成 を押し、【Enter】を押す

ドライブのチェックが始まります。

「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合で(%)入力してください。拡張MS-DOS 領域を作ります」と表示されます。

3 最大サイズが表示されていることを確認して、【Enter】を押す

ドライブのチェックが始まります。

「拡張 MS-DOS 領域を作成しました」と表示されます。

4 【Esc】を押す

ドライブのチェックが始まります。

「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。

論理MS-DOSドライブを割り当てる

1 論理MS-DOSドライブに最大サイズを割り当てないときは、数字を入力して【Enter】を押す

そのままの状態でも【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当てられます。

- ・指定したサイズが2,048Mバイト以上の場合

「ドライブのサイズが2,048MB以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示されます。

【Esc】を押します。

自動的にFAT32に設定されます。

- ・指定したサイズが512Mバイト以上2,047Mバイト以下の場合

「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示されます。

FAT16にする場合は【Y】を押して【Enter】を押します。

FAT32にする場合は【N】を押して【Enter】を押します。

- ・指定したサイズが33Mバイト以上511Mバイト以下の場合

「このドライブはFAT16が標準設定になっています。FAT32に変更しますか(Y/N)?」と表示されます。

【N】を押して【Enter】を押します(自動的にFAT16に設定されます)。

- ・指定したサイズが32Mバイト以下の場合

「このドライブはFAT16です。FAT32には小さすぎます。」と表示されます。

【Esc】を押します。

自動的にFAT16に設定されます。



メモ

割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っているときは、続けて「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。最大サイズを割り当てない場合は、数値を入力して【Enter】を押してください。そのままの状態でも【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当てられます。

- #### 2 拡張MS-DOS領域の残りがなくなるまで、上記の手順をくりかえして、すべての拡張MS-DOS領域を論理MS-DOSドライブに割り当てる
- すべての領域が割り当てられると、「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています」と表示されます。

3【Esc】を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。



メモ

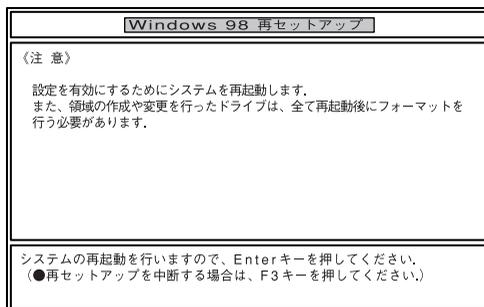
FDISKオプションの画面の「4.領域情報を表示」で作成した領域を確認することができます。

4【Esc】を押す

「変更を有効にするにはコンピュータを再起動してください」と表示されます。

5【Esc】を押す

「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されます。



チェック

ここでは「システムインストールディスク(起動用)」はフロッピーディスクドライブから取り出さないでください。

6【Enter】を押す

パソコンが自動的に再起動します。

自動的に再起動しない場合は、電源スイッチで電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れます。機種によって、再セットアップの注意事項を説明する画面が表示されることがあります。内容をよく読んで、【Enter】を押してください。Windows 98 再セットアップの画面が表示されます。

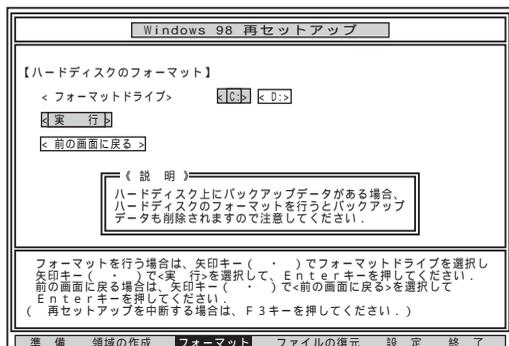
これで領域が作成されました。

次の「3ドライブを初期化(フォーマット)する」に進んでください。

3 ドライブを初期化(フォーマット)する

新しく確保した領域を、次の手順で初期化(フォーマット)します。

- 1 【C:】を1回押して「ハードディスクのフォーマット」が黄色になったら、【Enter】を押す
次の画面が表示されます。



作成したドライブ数によって<フォーマットドライブ>の表示は異なります。

- 2 「C:」と「実行」が黄色になっていることを確認して【Enter】を押す
「注意!ドライブC:のハードディスクのデータは全てなくなります。フォーマットしますか(Y/N)?」と表示されます。
- 3 【Y】を押して、【Enter】を押す
フォーマットがはじまります。ドライブのサイズにもよりますが、5~20分ほどかかります。
フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。
- 4 ボリュームラベル(ドライブの名前)が必要なときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】を押す
ボリュームラベルが必要ない場合は、そのまま【Enter】を押してください。



メモ

ボリュームラベルは、ドライブの名前です。半角文字で11文字まで、全角文字で5文字まで入力できます。ボリュームラベルは、「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されます。あとからボリュームラベルをつけたり、名前を変更するには、「マイコンピュータ」ウィンドウでドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選び、「全般」タブで名前を入力、変更します。

「Windows 98 再セットアップ」の画面に戻ります。

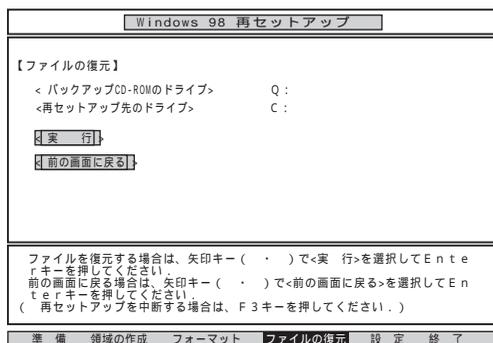
- 5 新しく領域を確保したドライブはすべて、手順1～4をくりかえして、フォーマットする(手順2のドライブ名は、【 】を押して選んでください)
ドライブを5つ以上作成(Gドライブ以上作成)した場合は、これ以降のドライブは手順1の画面には表示されず、ここではフォーマットできません。
G以降のドライブについては、アプリケーションの再セットアップ終了後に「ハードディスクを5つ以上に分割した場合」(p.132 をご覧のうえ、フォーマットしてください)。

 チェック

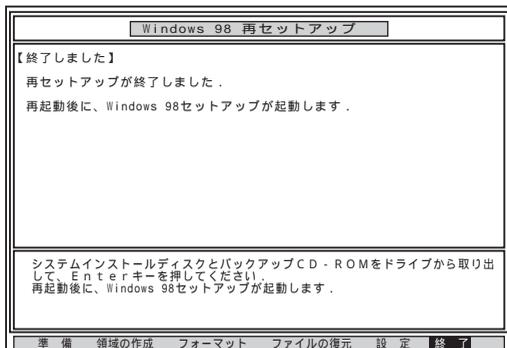
- ・領域を削除しなかったドライブはフォーマットしないでください。フォーマットするとドライブ内のすべてのデータが削除されます。
- ・「システムインストールディスク(起動用)」はフロッピーディスクドライブから取り出さないでください。

4 システムを再セットアップする

- 1 「Windows 98 再セットアップ」の画面で【 】を数回押して「ファイルの復元」が黄色になったら、【Enter】を押す



- 2 「実行」が黄色になっていることを確認して【Enter】を押す
システムの再セットアップがはじまります。途中でフロッピーディスクやCD-ROM
を入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがってフロッピーディスクや
CD-ROMを入れ替えてください。
システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



- 3 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す
LaVie Mの場合は、フロッピーディスクを取り出したあと、外付けのフロッピーディスクドライブを取り外してください。

- 4 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

- 5 【Enter】を押す

Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」が表示されます。



メモ

機種によっては、再起動後にメッセージが表示されますが、故障ではありません。Windows 98のセットアップが完了すると表示されなくなります。

5 Windows 98の設定をする

p.98の手順にしたがってWindows 98の設定をしてください。

6 アプリケーションを再セットアップする

Office 2000モデルの場合は、p.101の手順にしたがって「Office 2000 Personal」を再セットアップしてください。

一太郎モデルの場合は、p.105の手順にしたがって「一太郎10パック」を再セットアップしてください。

7 ハードディスクを5つ以上に分割した場合

ドライブを5つ以上(Gドライブ以上)作成した場合は、Gドライブ以降のドライブを次の手順で初期化(フォーマット)してください。

- 1 パソコンの電源を入れる
Windows 98が起動します。
- 2 デスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3 フォーマットするドライブのアイコンを右クリックする
- 4 表示されたメニューで「フォーマット」をクリックする
「フォーマット」ウィンドウが表示されます。
- 5 「通常のフォーマット」をクリックする
- 6 「開始」ボタンをクリックする
フォーマットの確認画面が表示されます。
- 7 「OK」ボタンをクリックする
しばらくするとフォーマットが終了します。
- 8 「閉じる」ボタンをクリックする
スキャンディスクの実行を促す画面が表示されます。
- 9 「OK」ボタンをクリックする
スキャンディスクのヘルプが表示されます。
- 10 「フォーマット」の画面をクリックする
- 11 「閉じる」ボタンをクリックする
- 12 ヘルプの内容にしたがってスキャンディスクを実行する
フォーマットできなかったドライブがほかにもある場合は、手順3～12を繰り返してフォーマットしてください。

8 各種の設定をする

p.109の手順にしたがって設定をしてください。

P A R T

4

付録

アフターケアなどの保守サービスについて説明しています。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスのご相談は、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などで承っています。

詳しくは、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。



チェック

ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除しておいてください。

消耗品 / 消耗部品について

種類	該当する添付品 / 部品	代金
消耗品 (使用頻度や経過年数により消耗し、一般的に再生が不可能なもの)	バッテリーパック フロッピーディスク(媒体) CD-ROM / DVD-ROM (媒体)	保証期間内でも有料です。
消耗部品・有償交換部品 (使用頻度や経過年数により消耗 / 摩耗 / 劣化し、修理再生が不可能な部品)	液晶ディスプレイ	保証期間内でも有料の場合があります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

譲渡 / 廃棄について

このパソコンを譲渡するには

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件にしたがってください。また、譲渡を受けられたときには、所定の手続きにしたがって、「お客様登録(98OFFICIAL PASSメンバーへの登録)」を行ってください。

譲渡するお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)するときは、以下の条件を満たす必要があります。本機に添付される全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと。各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること。本機に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください。

チェック

- ・パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをお勧めします。
- ・ご登録されている製品を第三者に譲渡(売却)される場合は、98OFFICIAL PASS登録センター(TEL: 042-333-5516)までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

譲渡を受けるお客様へ

「お客様登録(98OFFICIAL PASSメンバーへの登録)」に必要な下記の事項を記入し、お手数ですが官製ハガキまたは封書でお送りください。ご連絡いただきましたお客様へは、適時、展示会、イベント、キャンペーン、セミナーなどのご案内や、ソフトメーカー様からの新作ソフトのご紹介等をお送りいたします。

チェック

- ・「98OFFICIAL PASSお客様登録申込書」が未使用で残っていても、「98OFFICIAL PASSお客様登録申込書」は使わないでください。
- ・デスクトップ画面の「NECオンラインお客様登録」や、インターネットによる「お客様登録」は行わないでください。

記載内容

本体型名および保証書番号(本機背面または本機底部に記載の型名および製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No. (いずれのソフトも同一)」

「Serial No.」がない場合は不要です。

以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号

あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7番1号

NEC 98OFFICIALPASS登録センター係行

このパソコンを廃棄するには

このパソコンを廃棄するときは地方自治体の条例にしたがって処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

索引

この本の索引

英数

CD-ROM	72, 73
CyberTrio-NX	28, 32
FAT16	118
FAT32	118
「Invalid HIBERNATION xxxx/file... RUN HDPREPEZ...」	49
「Invalid system disk Replace the disk,...」	47
LAN	78
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」	47
MS-DOSプロンプト	76
MS-DOSモード	76
NECパソコンインフォメーションセンター ...	23
「Non-System disk or disk error」	48
NXパッド	62
「Operating System not found」	48
「Please Insert Another Disk...」	48
READMEファイル	23
Safeモード	27
「Windows 98 CD-ROMラベルの付い たディスクを挿入して [OK] をクリックし てください。」	72
Windows 98起動ディスク	5, 30
「Windowsが正しく終了されなかったた め、ディスクドライブにエラーがある可 能性があります」	46
「Your hibernation file is either missing or corrupt,...」	49

あ行

アフターケア	134
アプリケーション	14, 74
ウイルス	11, 82

か行

解像度	44, 59
拡張MS-DOS領域	117, 122, 126
カスタム再セットアップ	110, 113, 116

キーボード	66
輝度	44
基本MS-DOS領域	117, 123, 124
休止状態(ハイバネーション)	52
強制的にWindowsを終了する	39
強制的に電源を切る	40
コントロールパネル	33
コンピュータウイルス	11, 82

さ行

再起動	35
再セットアップ	85
サウンド	68
サスペンド	51
サポートセンタ	2, 75
周辺機器	70
省電力機能	51
消耗品	134
消耗部品	134
譲渡	135
スキャンディスク	6, 24, 81
スタンバイ状態(サスペンド)	51
ストール	39
セットアップ	41

た行

追加情報	23
デバイスマネージャ	34
電源	41, 44
ドライバ	70
「ドライバが見つかりません」	72
トラブルチェックシート	167

な行

「入力されたパスワードが間違っていま す」	55
--------------------------------	----

は行

ハードディスク	117, 124
---------------	----------

廃棄方法	136
ハイバネーション	52
ハングアップ	39
パスワード	55
パソコンの情報	23, 24
バックアップ	7
バッテリー	57
バッテリー充電ランプ	57
標準再セットアップ	94
復帰(レジューム)	53
フリーズ	39
ヘルプ	19
補修用性能部品	134

ま行

マイクロソフトサポート技術情報	24
-----------------------	----

ら行

リソース	14
領域作成	124
領域削除	118
レジューム	53
ローカルエリアネットワーク	78
論理MS-DOSドライブ	122, 127

わ行

ワイヤレスモデムステーション	80, 81
ワンタッチスタートボタン	74

やりたいこと別総索引

やりたいことがどのマニュアルに記載されているかわからないときに、この索引で探してください。

凡例

1. ここではキーワードを数字、アルファベット、五十音順に並べています。
2. 和文は清音、濁音、半濁音の順に並べています。
3. 本文の基本構成は「キーワード」「目的別項目」「参照箇所」でまとめられています。
4. マニュアル名の後に(～モデル)と表記されている場合は、お使いのパソコンによって参照ページが異なります。本書巻頭のiiiページをご覧ください。お使いのパソコンのタイプを確認してください。なお、何も表記されていない場合は、全タイプ共通です。
5. 「サポートセンタ」を起動するには、次の方法があります。
 - ・ショットメニューの「サポートセンタ」をクリックする。
 - ・「スタート」ボタン「サポートセンタ」「サポートセンタ」の順にクリックする。
6. 「添付ソフトの使い方」を起動するには、次の方法があります。
 - ・「スタート」ボタン「サポートセンタ」「添付ソフトの使い方」の順にクリックする。
 - ・「サポートセンタ」の「添付ソフトの使い方」をクリックする。
7. 「パソコンのいろは」では、パソコンの基本的な操作を実際にパソコンで練習できます。次の方法で起動してください。
 - ・ランチ-NXの「スタディ&ヘルプ」-「パソコンのいろは」をクリックする。
 - ・「スタート」ボタン「プログラム」「パソコンのいろは」「パソコンのいろは」の順にクリックする。
8. ➡があるときは他の索引用語を参照してください。

数字・記号

10円メールマスター

10円メールマスターを使う

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「10円メールマスター」

2000年問題

➡ 西暦2000年問題

980FFICIAL PASS

980FFICIAL PASSに登録する

『お客様登録ガイド』

「サポートセンタ」-「サービス&サポート」-「980FFICIAL PASSメンバーへの登録」

『980FFICIAL PASSお客様登録申込書』

@nifty

➡ パソコン通信

@niftyでインターネットする

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「@niftyでインターネット」

A - Z

Acrobat Reader

PDFファイルを表示する

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「Acrobat Reader」

AOL

- AOLでインターネットする
- 「サポートセンタ」 「添付ソフトの使い方」 「AOL」

ATコマンド

- ATコマンドを使う
- 「スタート」ボタン 「サポートセンタ」 「ATコマンド一覧」

BIGLOBE

- BIGLOBEインターネット接続ツールで入会手続きや接続設定する
- 「サポートセンタ」 「添付ソフトの使い方」 「BIGLOBEインターネット接続ツール」
- BIGLOBEかんたん設定ナビで設定を変更する
- 「サポートセンタ」 「添付ソフトの使い方」 「BIGLOBEかんたん設定ナビ」
- 『使っておぼえるパソコンの基本』..... 145
- BIGLOBEスタートナビで設定する
- 「サポートセンタ」 「添付ソフトの使い方」 「BIGLOBEスタートナビ」
- 『使っておぼえるパソコンの基本』..... 144
- BIGLOBE電話で入会ナビで、簡単に入会する
- 「サポートセンタ」 「添付ソフトの使い方」 「BIGLOBE電話で入会ナビ」
- 『使っておぼえるパソコンの基本』..... 135
- BIGLOBEにオンラインサインアップする
- 『使っておぼえるパソコンの基本』..... 129
- BIGLOBEに入会したい
- 『使っておぼえるパソコンの基本』..... 126
- BIGLOBEに郵送またはFAXで入会する
- 『使っておぼえるパソコンの基本』..... 138
- BIGLOBEの正式パスワードを入力する
- 『使っておぼえるパソコンの基本』..... 139

BIOSセットアップメニュー

- BIOSセットアップメニューを設定する
- 『もっと知りたいパソコン』の「PART6 BIOSセットアップメニュー」

Bookshelf Basic

- CD-ROM辞書を使う
- 「サポートセンタ」 「添付ソフトの使い方」 「Bookshelf Basic」

CD-ROM

- CD-ROMを自動起動させない
- 「サポートセンタ」 「困ったときのQ&A」 「トラブル解決Q&A」 「CD/DVD-ROM」
- CD-ROMを使う
- 『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ」 「CD-ROMドライブ」 「DVD-ROMドライブ」

CD-R/RW

- CD-R/RWドライブを使う
- 『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ」 「CD-ROMドライブ」 「DVD-ROMドライブ」

CDプレイモード

CDプレイモードで音楽CDを再生する

『もっと知りたいパソコン』の「PART3 マルチメディア機能」の「音楽の再生 / 編集機能」(LaVie S)

CyberCoach-NX

CyberCoach-NXを起動する

「サポートセンター」添付ソフトの使い方」「CyberCoach-NX」

CyberCoach-NXを終了する

「サポートセンター」添付ソフトの使い方」「CyberCoach-NX」

パソコンの基本操作のレッスンをする

「サポートセンター」添付ソフトの使い方」「パソコンの使い方を学びたい、パソコンで学びたい」

「サポートセンター」パソコンを使いこなそう」練習!パソコンの基本」

「サポートセンター」添付ソフトの使い方」「CyberCoach-NX」

CyberTrio-NX

Windows 98の利用環境を変える

「サポートセンター」添付ソフトの使い方」「CyberTrio-NX」

『困ったときのQ&A』..... 32

CyberWarner-NX

Windows 98の動作を監視、保守する

「サポートセンター」添付ソフトの使い方」「CyberWarner-NX」

『困ったときのQ&A』..... 33

DION

DIONでインターネットする

「サポートセンター」添付ソフトの使い方」「DIONかんたんインターネット」

DirectCD

データを保存する

「サポートセンター」添付ソフトの使い方」「DirectCD」

DVD-ROM

DVD-ROMドライブを使う

『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「DVD-ROMドライブ」(LaVie S)

DVDプレーヤを使う

「サポートセンター」添付ソフトの使い方」「DVDプレーヤ」

Easy CD Creator

オリジナルCDを作る

「サポートセンター」添付ソフトの使い方」「Easy CD Creator」

Excel, Excel 2000

⇒ 表計算

Eメール

⇒ 電子メール

FAX

FAXを送る / 受ける
「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「FAX-NX」

FD

⇒ フロッピー - ディスク

Intellisync

赤外線データ転送
「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「Intellisync」

Internet Explorer

⇒ インターネット

IRQ

⇒ リソース

Jet-Audio Player

音楽データを再生する
『もっと知りたいパソコン』の「PART3 マルチメディア機能」の「音楽の再生 / 編集機能」

JUSTSYSTEM辞書ライブラリ

CD-ROM辞書を使いたい
「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「JUSTSYSTEM辞書ライブラリ」

MAC アドレス

MACアドレスの調べ方
『もっと知りたいパソコン』の「PART2 通信機能」の「LAN(ローカルエリアネットワーク)(LaVie C)」

MAGIC FLIGHT

キーボードの練習をする
「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「MAGIC FLIGHT」
「サポートセンタ」・「パソコンを使いこなそう」・「練習!パソコンの基本」・「キーボードの練習をする-MAGIC FLIGHT」

Microsoft Outlook

パソコンで情報管理をする
「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「Microsoft Outlook」

MS-DOS

MS-DOSモードを使う
『もっと知りたいパソコン』の「PART7 付録」の「Windows 98でMS-DOSモードを利用する」

NEWEBサインアップ

NEWEBサインアップでインターネットする
「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「NEWEBサインアップ」

NXパッド

NXパッドの使いかた

『使っておぼえるパソコンの基本』 124
『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「NXパッド」

NXパッドの設定を切り替える

『困ったときのQ&A』 62

ODN

ODNでインターネットする

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「ODN」

Outlook Express

⇒ 電子メール

Outlook Expressを使う

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「Outlook Express」

『使っておぼえるパソコンの基本』 31, 106

アドレス帳を使う

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「Outlook Express」

PCカード

PCカードを使う

『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」の「PCカード」

PHSインターフェイス

PHSを接続する

『もっと知りたいパソコン』の「PART2 通信機能」の「PHSインターフェイス」

PCポータル

デスクトップから最新情報にアクセスする

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「PCポータル」

PostPet

PostPetでメールを送受信する

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「PostPet」

Sasuke

ネットワーク上でスケジュール管理を行う

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「Sasuke」

Shuriken

簡単操作で電子メールする

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「Shuriken」

So-netサインアップ

So-netでインターネットする

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「So-netサインアップ」

ThumbsStudio

画像を一覧表示する

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「ThumbsStudio」

USB

USB対応機器を使う

『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」の「USB対応機器」

VideoStudio

映像を編集する

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「VideoStudio」

Virtual CD 2

仮想CD-ROMドライブを使う

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「Virtual CD 2」

VirusScan

⇒ ウイルス

Windows 2000 Professional

Windows 2000 Professionalを利用する

『もっと知りたいパソコン』の「PART7 付録」の「Windows 2000 Professionalを使う」

Windows 98

Windows 98 起動ディスクを作成する

『困ったときのQ&A』..... 5

Windows 98を起動できない

『困ったときのQ&A』..... 38, 44

Windows 98を再セットアップする

『困ったときのQ&A』..... 85

Windows 98を終了できない

『困ったときのQ&A』..... 39, 40

Windows Update

Windows Updateによるドライバの更新

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「その他」

Word、Word 2000

ワープロを使う、Wordを使う

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「Microsoft Word」

あ-お

アクセスポイント

アクセスポイントを変更する

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「ダイヤルアップネットワーク」

アクティブメニュー-NX

デスクトップからアプリケーションを起動する

『使っておぼえるパソコンの基本』 113

デスクトップの表示を設定する

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「アクティブメニュー-NX」

アドレス

電子メールアドレス

『使っておぼえるパソコンの基本』 127

電子メールアドレスを登録する

『使っておぼえるパソコンの基本』 110

ホームページのアドレス(URL)を登録する

『使っておぼえるパソコンの基本』 103

アドレス帳

⇒ Outlook Express

アフターケア

問い合わせ先を調べる

「サポートセンタ」-「サービス&サポート」

『NEC PC あんしんサポートガイド』

アプリケーション

アクセサリを削除する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「アプリケーション」

アプリケーションの追加と削除

「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「アプリケーションの追加と削除」

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「インストーラ-NX」

『もっと知りたいパソコン』の「PART5 アプリケーションの追加と削除」

アプリケーションを終了する

『使っておぼえるパソコンの基本』 114

アプリケーションを終了できない

『困ったときのQ&A』 39

アプリケーションを使う

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」

簡単にアプリケーションを起動する

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「アクティブメニュー-NX(ランチ-NX)」

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「アプリケーション」

「スタート」ボタンからアプリケーションを起動する

『使っておぼえるパソコンの基本』 113

ランチ-NXからアプリケーションを起動する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「アプリケーション」

『使っておぼえるパソコンの基本』 113

一太郎10

ワープロを使う、一太郎を使う

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「一太郎10」

印刷

⇒ プリンタ

インストーラ-NX

アプリケーションを追加、削除する

「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「インストーラ-NX」

『もっと知りたいパソコン』の「PART5 アプリケーションの追加と削除」の「アプリケーションの削除」

「削除したアプリケーションの再追加」

インターネット

⇒ BIGLOBE

⇒ アドレス

⇒ ホームページ

インターネットエクスプローラでインターネットする

「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「Internet Explorer」

『使っておぼえるパソコンの基本』 4, 101, 102

インターネットに接続できない

「サポートセンタ」・「困ったときのQ&A」・「トラブル解決Q&A」・「インターネット/通信」

インターネットで調べる

『使っておぼえるパソコンの基本』 9

インターネットでトラブル解決法を探す

『困ったときのQ&A』 23

インターネットに接続する

『はじめにお読みください』の「インターネットに接続する」

『使っておぼえるパソコンの基本』 4, 98

インターネットの接続を終わる

『使っておぼえるパソコンの基本』 8, 100

インターネットの設定をする

「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「インターネット設定切替ツール」・「ダイヤルアップネットワーク」・「インターネット接続ウィザード」・「テレフォニー」

インターネットの設定をバックアップする

「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「インターネット接続のバックアップ」

「インターネット無料体験」してみる

「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「インターネット無料体験」

『使っておぼえるパソコンの基本』 4

「インターネット無料体験」が終了したら

『使っておぼえるパソコンの基本』 12

「お気に入り」を使う

『使っておぼえるパソコンの基本』 103, 104

所在地情報を設定、変更する(テレフォニー)

「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「テレフォニー」

スタートページを変える

『使っておぼえるパソコンの基本』 103

ダイヤルアップネットワークで接続先を設定、変更する

「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「ダイヤルアップネットワーク」

通信環境を切り替える

『もっと知りたいパソコン』の「PART2 通信機能」の「モデム」	
パソコンを電話回線に接続する	
『はじめにお読みください』の「インターネットに接続する」	
『もっと知りたいパソコン』の「PART2 通信機能」の「モデム」	
「ワイヤレス通信機能」	
「PHSインターフェイス」	
「携帯 / PHSインターフェイス」	
見たいホームページを指定する	
『使っておぼえるパソコンの基本』	101
利用料金を調べる(いま、いくら? その2)	
「サポートセンター」	
「添付ソフトの使い方」	
「いま、いくら? その2」	

インターネット接続ウィザード

インターネット接続ウィザードで接続の設定をする	
「サポートセンター」	
「添付ソフトの使い方」	
「インターネット接続ウィザード」	
すでにプロバイダに入会済の場合の接続の設定をする	
「サポートセンター」	
「添付ソフトの使い方」	
「インターネット接続ウィザード」	

ウイルス

ウイルスを検査する(VirusScan)	
「サポートセンター」	
「添付ソフトの使い方」	
「VirusScan」	
「サポートセンター」	
「困ったときのQ&A」	
「トラブルの予防」	
「予防のためのツール」	
『困ったときのQ&A』	13
ウイルスを発見したら	
『困ったときのQ&A』	82
ウイルスを予防する	
『困ったときのQ&A』	11

ウィンドウ

ウィンドウを移動する	
『使っておぼえるパソコンの基本』	97
ウィンドウを大きくする	
『使っておぼえるパソコンの基本』	95
ウィンドウを切り替える	
『使っておぼえるパソコンの基本』	97
ウィンドウを最小化する	
『使っておぼえるパソコンの基本』	95
ウィンドウを最大化する	
『使っておぼえるパソコンの基本』	95
ウィンドウをスクロールする	
『使っておぼえるパソコンの基本』	96

映像

映像を再生する、編集する	
『もっと知りたいパソコン』の「PART3 マルチメディア機能」の「映像の再生 / 編集機能」	
(LaVie S、LaVie C)	

液晶ディスプレイ

⇒ ディスプレイ

駅すばあと

交通費や経路を確認したい
 「サポートセンター」-「添付ソフトの使い方」-「駅すばあと」

お手入れ

パソコンのお手入れをする
 『もっと知りたいパソコン』の「PART7 付録」の「パソコンのお手入れ」

音

音を大きくする、小さくする
 『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「サウンド機能」
 音質を最適にする
 「サポートセンター」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「音」

音楽

オリジナルCDを作る
 『もっと知りたいパソコン』の「PART3 マルチメディア機能」の「音楽の再生 / 編集機能」(LaVie C)
 オリジナルMDを作る
 『もっと知りたいパソコン』の「PART3 マルチメディア機能」の「音楽の再生 / 編集機能」

音声

音声でパソコンを使う
 『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「音声入力機能」(LaVie S, LaVie C)

かこ

会員証

BIGLOBE会員証が届いたら
 『使っておぼえるパソコンの基本』 139

解像度

画面の設定を変える
 「サポートセンター」-「添付ソフトの使い方」-「画面の設定」
 表示解像度を変える
 『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「液晶ディスプレイ」

家計簿

家計簿をつける(てきば家計簿マム2Plus)
 「サポートセンター」-「添付ソフトの使い方」-「てきば家計簿マム2Plus」

画像

画像を一覧表示する(ThumbsStudio)
 「サポートセンター」-「添付ソフトの使い方」-「ThumbsStudio」
 画像を加工する(花子10)
 「サポートセンター」-「添付ソフトの使い方」-「花子10」
 画像を加工する(ペイント)

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「ペイント」
画像を縮小表示する
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「ファイル/フォルダ」

壁紙

デスクトップの壁紙を変える
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「画面」
フォルダの壁紙を変える
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「ファイル/フォルダ」

画面

- ⇒ 解像度
- ⇒ ディスプレイ

キーボード

キーの名称と役割
『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「キーボード」
キーボードのショートカットキーを知りたい
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「文字入力/キーボード」
キーボードの練習をする(MAGIC FLIGHT)
「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「練習!パソコンの基本」-「キーボードの練習をする-MAGIC FLIGHT」
「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「MAGIC FLIGHT」
キーボードを設定する
『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「キーボード」
キーボードを使って文字を入力する
⇒ 文字を入力する
ホットキー機能を使う
『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「キーボード」

起動

Safeモードでパソコンを起動する
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「電源のオン/オフ」
『困ったときのQ&A』..... 27
Windows 98 起動ディスクからパソコンを起動する
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「電源のオン/オフ」
『困ったときのQ&A』..... 30
Windows 98を起動できない
『困ったときのQ&A』..... 38, 44
「スタート」ボタンからアプリケーションを起動する
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 113
パソコンが起動できない
『困ったときのQ&A』..... 38, 44
ランチ-NXからアプリケーションを起動する
「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「アクティブメニュー-NX(ランチ-NX)」
「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「アプリケーション」
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 113

クリーニング

⇒お手入れ

携帯電話

携帯電話を接続する

『もっと知りたいパソコン』の「PART2 通信機能」の「携帯 / PHSインターフェイス」

携帯電話を使いこなす

「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「携快電話2001」・「携帯連携 / i」

『もっと知りたいパソコン』の「PART2 通信機能」の「携帯 / PHSインターフェイス」

ケーブル接続

ケーブル接続でデータを転送する

「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「ケーブル接続」

検索

ファイルを探す

「サポートセンタ」・「困ったときのQ&A」・「トラブル解決Q&A」・「ファイル / フォルダ」

ホームページを探す

『使っておぼえるパソコンの基本』 9

ホームページを探す(コペルニックライト)

「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「コペルニックライト」

コピー

ファイルをコピーする

『使っておぼえるパソコンの基本』 121

文字をコピーする

『使っておぼえるパソコンの基本』 93

コペルニックライト

ホームページを検索する

「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「コペルニックライト」

コントロールパネル

コントロールパネルを開く

『困ったときのQ&A』 33

さ-そ

サービス / サポート

⇒アフターケア

再セットアップ

Cドライブのみを再セットアップする

『困ったときのQ&A』 113

購入時の状態に戻す、標準再セットアップをする

『困ったときのQ&A』 94

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする 『困ったときのQ&A』	116
ハードディスクを1パーティションにして再セットアップする 『困ったときのQ&A』	110

サウンド機能

⇒音

魚八景

魚八景を見る
「サポートセンター」-「添付ソフトの使い方」-「魚八景」

サポートセンター

サポートセンターを見る 『はじめにお読みください』の「サポートセンター 電子マニュアル」を使いこなそう 『困ったときのQ&A』	2
サポートセンターの使いかたを調べる 「サポートセンター」-「サポートセンターについて」	

三四郎9

⇒表計算

システムファイルチェッカー

システムファイルを検査、修復する 「サポートセンター」-「添付ソフトの使い方」-「システムファイルチェッカー」 『困ったときのQ&A』	29
---	----

周辺機器

周辺機器を取り付ける
『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」
ドライバの更新
「サポートセンター」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「その他」

終了

Windowsを終了できない 『困ったときのQ&A』	39, 40
アプリケーションを終了する 『使っておぼえるパソコンの基本』	114
アプリケーションを終了できない 『困ったときのQ&A』	39
「インターネット無料体験」が終了したら 『使っておぼえるパソコンの基本』	12
インターネットを終了する 『使っておぼえるパソコンの基本』	8

ショートカット

キーボードのショートカットキーを知りたい
「サポートセンター」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「文字入力/キーボード」

省電力機能

省電力機能について

『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「省電力機能」

シリアルコネクタ

シリアルコネクタを使いたい

『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」の「その他の機器を使う」

自動メール受信ユーティリティ

自動メール受信ユーティリティについて

「サポートセンタ」 「添付ソフトの使い方」 「自動メール受信ユーティリティ」

スキャンディスク

ハードディスクを検査、修復する

「サポートセンタ」 「添付ソフトの使い方」 「スキャンディスク」

「サポートセンタ」 「困ったときのQ&A」 「トラブルの予防」 「予防のためのツール」 「スキャンディスク」

『困ったときのQ&A』..... 6

「スタート」ボタン

「スタート」ボタンからアプリケーションを起動する

『使っておぼえるパソコンの基本』..... 113

清掃・掃除

⇒お手入れ

西暦2000年問題

西暦2000年問題について知りたい

「サポートセンタ」 「困ったときのQ&A」 「トラブル解決Q&A」 「その他」

赤外線通信

赤外線通信ポートを使う

『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「ファイル転送機能 (LaVie M)

データを転送する

「サポートセンタ」 「添付ソフトの使い方」 「赤外線転送」

セキュリティ機能

セキュリティ機能について

『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「セキュリティ機能」

接続(増設)

周辺機器を接続(増設)する

『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」

プリンタを接続(増設)する

『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」の「プリンタ」

メモリを接続(増設)する

『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」の「メモリ」

増設

⇒ 接続

増設RAM ボード

⇒ メモリ

ソフト

⇒ アプリケーション

た-と

ダイヤルアップネットワーク

インターネットのアクセスポイントを変更したい

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「ダイヤルアップネットワーク」

データ

⇒ ファイル、保存、コピー

ディスククリーンアップ

ハードディスクの空き容量を増やす

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「ディスククリーンアップ」

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「ディスククリーンアップ」

『困ったときのQ&A』..... 6

ディスプレイ

アイコンや文字の大きさを変える(解像度を変える)

『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「液晶ディスプレイ」

色数を変える

『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「液晶ディスプレイ」

ディスプレイを接続する

『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」の「外部ディスプレイを使う」

ディスプレイを調節する

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「画面」

『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「液晶ディスプレイ」

てきばき家計簿マム2Plus

家計簿をつける

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「てきばき家計簿マム2Plus」

デスクトップ

ショットメニューを使う

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「アクティブメニューNX」

デスクトレイを使う

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「アクティブメニューNX」

デスクトップの一部を拡大表示する

- 「サポートセンター」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「画面」
デスクトップのデザインを変える(デスクトップテーマ)
- 「サポートセンター」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「画面」
背景(壁紙)を変える
- 「サポートセンター」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「画面」

デバイスマネージャ

- デバイスマネージャを表示する
- 『困ったときのQ&A』..... 34

デフラグ

- ハードディスクのデータを整理させる
- 「サポートセンター」-「添付ソフトの使い方」-「デフラグ」
- 「サポートセンター」-「困ったときのQ&A」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「デフラグ」
- 『困ったときのQ&A』..... 6

テレビに表示する

- 表示を切り替える
- 『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」の「外部ディスプレイを使う」

テレフォニー

- インターネットの所在地情報の確認をする
- 「サポートセンター」-「添付ソフトの使い方」-「テレフォニー」

電源

- 強制的に電源を切る
- 『困ったときのQ&A』..... 40
- すぐに電源が入るようにする
- ⇒省電力機能
- 電源コードを接続する
- 『はじめにお読みください』の「接続しよう」の「ACアダプタを取り付ける」
- パソコンの電源を入れる
- 『はじめにお読みください』の「電源の入れかた」
- パソコンの電源を切る
- 『はじめにお読みください』の「電源の切りかた」
- 『困ったときのQ&A』..... 40

電子メール

- 10円メールマスターを使う
- 「サポートセンター」-「添付ソフトの使い方」-「10円メールマスター」
- Outlook Expressを使う
- 『使っておぼえるパソコンの基本』..... 106
- 「サポートセンター」-「添付ソフトの使い方」-「Outlook Express」
- 受け取った電子メールに返事を出す
- 『使っておぼえるパソコンの基本』..... 42
- 受け取った電子メールを読む
- 『使っておぼえるパソコンの基本』..... 43

うまく電子メールが送受信できない	
「サポートセンタ」・「困ったときのQ&A」・「トラブル解決Q&A」・「電子メール」	
うまくメールを自動受信できない	
「サポートセンタ」・「困ったときのQ&A」・「トラブル解決Q&A」・「電子メール」	
同じメールを複数の人に送る	
『使っておぼえるパソコンの基本』	50
電子メールを受け取る	
『使っておぼえるパソコンの基本』	42
電子メールを送る	
『使っておぼえるパソコンの基本』	39
電子メールを書く	
『使っておぼえるパソコンの基本』	36
電子メールを整理する	
『使っておぼえるパソコンの基本』	108
電子メールをはじめる	
『使っておぼえるパソコンの基本』	32
届いたメールの添付ファイルを開く	
『使っておぼえるパソコンの基本』	112
メールに添付ファイルを付けて送信する	
『使っておぼえるパソコンの基本』	111
メールを自動受信する	
「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「自動メール受信ユーティリティ」	
『使っておぼえるパソコンの基本』	52

電卓

計算する	
「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「電卓」	

盗難防止

盗難防止用ロック	
『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「セキュリティ機能」	

ドライバ

ドライバについて	
『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」の「周辺機器を接続する前に」	
ドライバの更新	
「サポートセンタ」・「困ったときのQ&A」・「トラブル解決Q&A」・「その他」	

ドライブ

⇒ハードディスク

ドラネットおためしメニュー

ドラえもん楽しく勉強する	
「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「ドラネットおためしメニュー」	

な-の

入力

⇒文字を入力する

は-ほ

ハードディスク

- ハードディスクの空き容量を増やす、整理する
『困ったときのQ&A』..... 6
- ハードディスクを点検したい、修復する
『困ったときのQ&A』..... 6
- ハードディスクをトラブルから防ぐ
『困ったときのQ&A』..... 7
- ハードディスクをフォーマットする
『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「ハードディスク」

花子10

写真や絵を加工する
「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「花子10」

パスワード

- インターネットのパスワードが届いたら
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 139
- インターネットのパスワードの入力がうまくいかない
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 29
- ユーザパスワードやスーパーバイザパスワードを設定する
『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「セキュリティ機能」
- パスワードを入力しても起動しない
『困ったときのQ&A』..... 55
- パスワードを忘れてしまった
『困ったときのQ&A』..... 55

パソコン

- パソコンが起動できない
『困ったときのQ&A』..... 38, 44
- パソコンのお手入れをする
『もっと知りたいパソコン』の「PART7 付録」の「パソコンのお手入れ」
- パソコンの各部の名称
『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「本体の各部の名称」
- パソコンの情報を見る
「サポートセンタ」-「パソコンの情報」
『困ったときのQ&A』..... 23, 24
- パソコンの使い方を学ぶ(パソコン大学一年生、CyberCoach-NX、MAGIC FLIGHT、パソコンのいろは)
「サポートセンタ」-「パソコンを使いこなそう」-「練習!パソコンの基本」

「サポートセンター」「添付ソフトの使い方」「パソコン大学一年生」「CyberCoach-NX」「MAGIC FLIGHT」「パソコンのいろは」	
『はじめにお読みください』の「パソコンの基本操作を学ぶ」	
パソコンの動作を監視したい(CyberWarner-NX)	
「サポートセンター」「添付ソフトの使い方」「CyberWarner-NX」	
『困ったときのQ&A』	33
フタ(液晶ディスプレイ)の開けかた	
『はじめにお読みください』の「Windowsのセットアップをしよう」の「電源を入れる」	
パソコンを購入時の状態にもどしたい	
『困ったときのQ&A』	94
パソコンを再セットアップする	
『困ったときのQ&A』	85
パソコンをトラブルから防ぐ	
「サポートセンター」「困ったときのQ&A」「トラブルの予防」	
『困ったときのQ&A』	5
まちがってデータを削除しないようにしたい	
『困ったときのQ&A』	32

パソコン大学一年生

パソコンの使い方を学ぶ

「サポートセンター」「添付ソフトの使い方」「パソコン大学一年生」

パソコンのいろは

「パソコンのいろは」を使いたい

『はじめにお読みください』の「パソコンの基本操作を学ぶ」

バックアップ

⇒保存

データのバックアップを取る

「サポートセンター」「添付ソフトの使い方」「バックアップ-NX」

「サポートセンター」「困ったときのQ&A」「トラブルの予防」「予防のためのツール」

『困ったときのQ&A』

バックアップ-NX

大切なデータをバックアップして保存する

「サポートセンター」「添付ソフトの使い方」「バックアップ-NX」

「サポートセンター」「困ったときのQ&A」「トラブルの予防」「予防のためのツール」

『困ったときのQ&A』

バッテリーパック

バッテリー駆動時間を調べる

『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「バッテリー」

バッテリーパックを交換する

『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「バッテリー」

バッテリーパックの残量を確認する

『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「バッテリー」

バッテリーを充電する

『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「バッテリー」 バッテリーパックを取り付ける	
『はじめにお読みください』の「接続しよう」の「バッテリーパックを取り付ける」	
『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「バッテリー」 バッテリーリフレッシュをする	
『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「バッテリー」 バッテリーを充電できない	
『困ったときのQ&A』.....	57

日付と時刻

日付と時刻を合わせる	
「サポートセンター」 「困ったときのQ&A」 「トラブル解決Q&A」 「よくある質問」	
『困ったときのQ&A』.....	82

表計算

表やグラフを作る	
「サポートセンター」 「添付ソフトの使い方」 「Microsoft Excel」 「三四郎9」	

表示ランプ

ランプの名前と役割を調べる	
『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「表示ランプ」	

ファイル

上書き保存する・ファイルの内容を変更して保存する	
『使っておぼえるパソコンの基本』.....	64, 119
新規保存する・別のファイルとして保存する	
『使っておぼえるパソコンの基本』.....	64, 119
届いたメールの添付ファイルを開く	
『使っておぼえるパソコンの基本』.....	112
ファイルをコピーする	
『使っておぼえるパソコンの基本』.....	121
ファイルを探す	
「サポートセンター」 「困ったときのQ&A」 「トラブル解決Q&A」 「ファイル/フォルダ」	
ファイルを整理する	
『使っておぼえるパソコンの基本』.....	120
ファイルを転送する	
『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「ファイル転送機能」	
複数のフォルダやファイルの容量の合計を見る	
「サポートセンター」 「困ったときのQ&A」 「トラブル解決Q&A」 「ファイル/フォルダ」	
メールに添付ファイルを付けて送信する	
「サポートセンター」 「困ったときのQ&A」 「トラブル解決Q&A」 「電子メール」	
『使っておぼえるパソコンの基本』.....	111

フォルダ

新しいフォルダを作る	
『使っておぼえるパソコンの基本』.....	120
フォルダに壁紙をつける	

「サポートセンタ」-「困ったときのQ&A」-「トラブル解決Q&A」-「ファイル/フォルダ」 フォルダの名前を変更する 『使っておぼえるパソコンの基本』	71
---	----

筆王

年賀状やはがき、住所録をつくる 「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「筆王」	
---	--

プリンタ

プリンタを接続する 『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」の「プリンタ」	
---	--

プレーヤ-NX

音楽CD/ビデオCD/フォトCDを再生する 「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「プレーヤ-NX」	
--	--

フロッピーディスク

Windows 98 起動ディスクを作成する 『困ったときのQ&A』	5
フロッピーディスクを使う 『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「フロッピーディスクドライブ」	

プロバイダ

契約済や利用中のプロバイダの情報を設定する 「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「インターネット接続ウィザード」	
契約済や利用中のプロバイダの情報を変更する 「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「ダイヤルネットワーク」-「インターネット設定切替ツール」	

文書

文書を印刷する ⇒ プリンタ	
文書を作る 『使っておぼえるパソコンの基本』	56

ヘッドホン

ヘッドホンを使う 『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」の「その他の機器を使う」	
---	--

ヘルプ

ヘルプを見る 『困ったときのQ&A』	19
-----------------------	----

ホームページ

英語のホームページを見る(翻訳アダプタII CROSSROAD) 「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「翻訳アダプタII CROSSROAD」	
スタートページを変える 『使っておぼえるパソコンの基本』	103

ホームページでトラブル解決法を探す 『困ったときのQ&A』	23
ホームページを「お気に入り」に登録する 『使っておぼえるパソコンの基本』	103
ホームページを探す(コペルニックライト) 「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「コペルニックライト」	
ホームページを探す(サーチエンジン、検索サービス) 『使っておぼえるパソコンの基本』	9
ホームページを整理して保存する(ホームページスクラップブックEX) 「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「ホームページスクラップブックEX」	
ホームページを翻訳する(翻訳アダプタII CROSSROAD) 「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「翻訳アダプタII CROSSROAD」	
ホームページを見る 『使っておぼえるパソコンの基本』	4, 98

保存

⇒ フロッピーディスク

⇒ ハードディスク

上書き保存する・ファイルの内容を変更して保存する

『使っておぼえるパソコンの基本』	64, 119
------------------	---------

新規保存する・別のファイルとして保存する

『使っておぼえるパソコンの基本』	64, 119
------------------	---------

作ったデータを保存する

『使っておぼえるパソコンの基本』	64, 119
------------------	---------

翻訳アダプタ CROSSROAD

英文ホームページを見る

「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「翻訳アダプタ CROSSROAD」	
--	--

ま-も

マイクロホン

マイクロホンを使う

『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」の「その他の機器を使う」	
---	--

マスターネットサインアップツール

マスターネットでインターネットする

「サポートセンタ」・「添付ソフトの使い方」・「マスターネットサインアップツール」	
--	--

マニュアル

内容を調べる

『はじめにお読みください』の「マニュアルの読みかた」	
----------------------------	--

利用法を調べる

「サポートセンタ」・「パソコンを使いこなそう」・「マニュアルの利用法」	
-------------------------------------	--

メール

⇒ 電子メール

メモ帳

ワープロを使う、ちょっとした文章を入力する
「サポートセンタ」、「添付ソフトの使い方」、「メモ帳」

メモリ

メモリを増やす
『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」の「メモリ」

メンテナンスウィザード

システムツールを定期的に行う
「サポートセンタ」、「困ったときのQ&A」、「トラブルの予防」、「予防のためのツール」、「メンテナンスウィザード」
「サポートセンタ」、「添付ソフトの使い方」、「メンテナンスウィザード」
『困ったときのQ&A』..... 7

文字を入力する

英字を入力する
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 89

同音語を見る
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 88

カタカナを入力する
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 87

漢字を入力する
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 88

キーボードの使い方を覚たい
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 85

記号を入力する
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 90

数字を入力する
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 89

ひらがなを入力する
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 87

文章を消す
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 92

文字コード表や記号パレットなどから入力する
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 91

ローマ字入力とかな入力を切り替える
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 86

モデム

モデムを使う
『はじめにお読みください』の「インターネットに接続する」
『もっと知りたいパソコン』の「PART2 通信機能」の「モデム」

や-よ

ユーザー登録

- お客様登録を行う
『お客様登録ガイド』
『はじめにお読みください』の「お客様登録を行う」

郵便番号7桁

- 郵便番号7桁辞書を使う
「サポートセンター」「困ったときのQ&A」「トラブル解決Q&A」「文字入力/キーボード」

用語集

- パソコン用語を調べる
「サポートセンター」「用語集」アイコン

ら-ろ

ランチ-NX

- ランチ-NXからアプリケーションを起動する
「サポートセンター」「困ったときのQ&A」「トラブル解決Q&A」「アプリケーション」
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 113
- ランチ-NXの画面について
『はじめにお読みください』の「デスクトップの画面」
- ランチ-NXの設定を変える
「サポートセンター」「添付ソフトの使い方」「アクティブメニューNX(ランチ-NX)」

リソース

- リソースの割り当てを変更する
『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」の「周辺機器を接続する前に」
- リソースを確保する
『困ったときのQ&A』..... 14

利用環境

- ⇒CyberTrio-NX

ローマ字

- ローマ字入力する
『使っておぼえるパソコンの基本』..... 86

わ

ワードパッド

- ワープロを使う
「サポートセンター」「添付ソフトの使い方」「ワードパッド」

ワイヤレスフォン

パソコンを電話として使う

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「ワイヤレスフォン」

『もっと知りたいパソコン』の「PART2 通信機能」の「ワイヤレス通信機能」

ワイヤレスモデムステーション

ワイヤレスモデムステーションを使う

『はじめにお読みください』の「インターネットに接続する」

『もっと知りたいパソコン』の「PART2 通信機能」の「ワイヤレス通信機能」

割り込みレベル

⇒リソース

ワンタッチスタートボタン

ワンタッチスタートボタンの設定をする

「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」-「ワンタッチスタートボタンの設定」

『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「ワンタッチスタートボタン」

ワンタッチスタートボタンを使う

『もっと知りたいパソコン』の「PART1 このパソコンの基本機能」の「ワンタッチスタートボタン」

トラブルチェックシート

お問い合わせの前に

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。

このシートに記入してからお問い合わせしていただくと、よりの確で迅速なお答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

トラブルチェックシート1 あなたのパソコンの構成

ハードウェア(パソコンの情報を調べるには、「サポートセンタ」「パソコンの情報」をクリックしてください。)

本体	
型名	
製造番号(パソコンの底部に記載されています)	
メモリの容量	MB(メガバイト)
メモリの容量を調べるには、マイコンピュータのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。「MBのRAM」という表示の「」がメモリの容量です。	
ハードディスクの容量	GB(ギガバイト)
ハードディスクの空き領域	MB(メガバイト)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには、マイコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックしてください。使用容量や空き領域が表示されます。	
周辺機器 品名・型名(メーカー名)	
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
PCカード	
その他の周辺機器	

ソフトウェア

OSのバージョンと発売メーカー	
Windows 98	Windows 2000(バージョン)
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション	

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容

どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

(例:ワードパッドで入力したり印刷したりすると、突然止まってしまう。)

画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

(例:「このプログラムは不正な処理を行ったので強制終了されます。終了しない場合は、プログラムの製造元に連絡してください。」と頻繁に表示される。)

そのトラブルはどんなときに起きましたか？

パソコンを起動するたびに起きる

そのアプリケーションを起動するたびに起きる

特定の操作を行うと起きる

はじめて起きた

(例:複数のソフトウェアを同時に使っているとき)

その他に気づいたことがあれば書いてください。

(例:エラーメッセージが出ている状態で電源スイッチを操作し、何回か電源を切った。)

「サポートセンタ」を活用しよう

「サポートセンタ」は、添付アプリケーションの操作方法を知りたいときや、パソコンを使って困ったときなどに、どうしたらよいかを画面上で見ることができる電子マニュアルです。

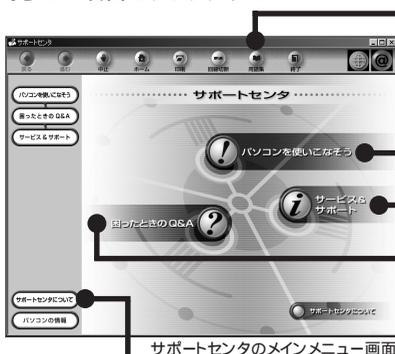
1 デスクトップ上の「サポートセンタ」をクリックする



サポートセンタ ここをクリックする

▼ サポートセンタのメインメニュー画面が表示されます。

2 見たい項目をクリックする



用語集
パソコン関連の
用語を説明して
います。

サポートセンタのメインメニュー画面

サポートセンタについて
サポートセンタの内容と使いかたにつ
いて説明します。

困ったときのQ&A

- ・トラブル解決Q&A
トラブルの解決法をQ&A
方式で説明します。
- ・トラブルの予防
トラブルを予防するソフトの
使いかたを説明します。
- ・インターネットトラブルシューティング
インターネットに接続する際に起こるトラブルの解決法
を説明します。



パソコンを使いこなそう

- ・添付ソフトの使い方
このパソコンに添付されているソフト
の使いかたの説明です。



- ・練習!パソコンの基本
このパソコンの使いかたを練習で
きるソフトを起動します。
- ・アプリケーションの追加と削除
各ソフトの追加と削除の方法を説
明します。
- ・マニュアルの利用法
このパソコンに添付されているマ
ニュアルを紹介します。
- ・ハードウェア情報
ハードウェアに関する情報を載せて
います。

サービス&サポート

- ・アプリケーションのサービス&
サポート窓口
- ・NECのサービス&サポート
窓口
- ・98OFFICIAL PASSメン
バーへの登録

このマニュアルは再生紙
(古紙率:表紙50%、本文100%)
を使用しています。

困ったときのQ&A

LaVie



2版 2000年7月

NEC

P

808-875488-532-B

PC98-NX SERIES

LaVie



* 8 0 8 8 7 5 4 8 8 5 3 2 B *